

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	一般教養 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 訓読み・送り仮名①</li> <li>2 訓読み・送り仮名②</li> <li>3 熟語①</li> <li>4 熟語②</li> <li>5 熟語③</li> <li>6 異字同訓・同音異義</li> <li>7 誤字訂正①</li> <li>8 誤字訂正②・類義語</li> <li>9 反対語</li> <li>10 漢字の意味・使い方①</li> <li>11 漢字の意味・使い方②</li> <li>12 項目別模擬試験①</li> <li>13 項目別模擬試験②</li> <li>14 直前模擬試験①</li> <li>15 直前模擬試験②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電卓の使い方、端数の取り扱い 2 電卓演習① 3 電卓演習② 4 電卓演習③ 5 電卓演習④ 6 電卓演習⑤ 7 電卓演習⑥ 8 電卓演習⑦ 9 電卓演習⑧ 10 電卓演習⑨ 11 電卓演習⑩ 12 電卓演習⑪ 13 電卓演習⑫ 14 電卓演習⑬ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション概論	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	自己分析、自己PRの作成を通じた対人コミュニケーション能力を身につける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	自己分析、自己PRの完成及び発表	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己PRとは
	2	自己分析の方法・注意点
	3~5	自己分析作業
	6	自己PRの作り方
	7~11	自己PRの作成作業
	12~13	自己PR修正作業
	14~15	自己PR発表
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザイン I
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	社会で活躍できる人材育成をテーマに、基本的なビジネスマナーの習得、幅広い分野で役に立つコミュニケーションスキルの習得など、面接試験に必要な知識を身につける。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	民間企業にて営業及び採用の実務経験を持つ教員による基礎演習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 面接の基本</li> <li>2 入退室の仕方</li> <li>3 スーツの着こなし、身嗜み確認</li> <li>4 自己PR作成①</li> <li>5 自己PR作成②</li> <li>6 自己PR作成③</li> <li>7 面接質問項目①</li> <li>8 面接質問項目②</li> <li>9 面接質問項目③</li> <li>10 企業研究①</li> <li>11 企業研究②</li> <li>12 模擬面接練習①</li> <li>13 模擬面接練習②</li> <li>14 模擬面接練習③</li> <li>15 模擬面接試験</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 応用漢字の訓読み・送り仮名①</li> <li>2 応用漢字の訓読み・送り仮名②</li> <li>3 応用漢字の熟語①</li> <li>4 応用漢字の熟語②</li> <li>5 応用漢字の熟語③</li> <li>6 応用漢字の異字同訓・同音異義</li> <li>7 応用漢字の誤字訂正①</li> <li>8 応用漢字の誤字訂正②・類義語</li> <li>9 応用漢字の反対語</li> <li>10 応用漢字の意味・使い方①</li> <li>11 応用漢字の意味・使い方②</li> <li>12 応用漢字項目別模擬試験①</li> <li>13 応用漢字項目別模擬試験②</li> <li>14 応用漢字直前模擬試験①</li> <li>15 応用漢字直前模擬試験②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	応用電卓演習①
	2	応用電卓演習②
	3	応用電卓演習③
	4	応用電卓演習④
	5	応用電卓演習⑤
	6	応用電卓演習⑥
	7	応用電卓演習⑦
	8	応用電卓演習⑧
	9	応用電卓演習⑨
	10	応用電卓演習⑩
	11	応用電卓演習⑪
	12	応用電卓演習⑫
	13	応用電卓演習⑬
	14	応用電卓演習⑭
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	簿記入門 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記の基本原則の理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 簿記の目的(基礎編)</li> <li>2 簿記一巡(基礎編)</li> <li>3 商品売買 I (基礎編)</li> <li>4 商品売買 II (基礎編)</li> <li>5 決算整理(基礎編)</li> <li>6 精算表(基礎編)</li> <li>7 現金および預金(基礎編)</li> <li>8 手形(基礎編)</li> <li>9 有形固定資産の決算整理(基礎編)</li> <li>10 その他の債権および債務(基礎編)</li> <li>11 その他の勘定および訂正仕訳(基礎編)</li> <li>12 有形固定資産の決算整理(基礎編)</li> <li>13 費用および収益の決算整理(基礎編)</li> <li>14 株式会社の純資産(基礎編)</li> <li>15 英米式決算法(基礎編)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	簿記初級 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	簿記の基本原則および企業の日常業務における実践的な簿記の知識を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解し、業務に利活用することができる
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 簿記の基本原則(基礎概念)</li> <li>2 簿記の基本原則(取引①)</li> <li>3 簿記の基本原則(取引②)</li> <li>4 簿記の基本原則(勘定①)</li> <li>5 簿記の基本原則(勘定②)</li> <li>6 簿記の基本原則(帳簿①)</li> <li>7 簿記の基本原則(帳簿②)</li> <li>8 簿記の基本原則(証ひょうと伝票①)</li> <li>9 簿記の基本原則(証ひょうと伝票②)</li> <li>10 期中取引の処理(現金預金①)</li> <li>11 期中取引の処理(現金預金②)</li> <li>12 期中取引の処理(売掛金と買掛金)</li> <li>13 期中取引の処理(その他の債権と債務①)</li> <li>14 期中取引の処理(その他の債権と債務②)</li> <li>15 期中取引の処理(手形①)</li> <li>16 期中取引の処理(手形②)</li> <li>17 期中取引の処理(商品①)</li> <li>18 期中取引の処理(商品②)</li> <li>19 期中取引の処理(固定資産①)</li> <li>20 期中取引の処理(固定資産②)</li> <li>21 期中取引の処理(純資産)</li> <li>22 期中取引の処理(収益と費用①)</li> <li>23 期中取引の処理(収益と費用②)</li> <li>24 期中取引の処理(税金①)</li> <li>25 期中取引の処理(税金②)</li> <li>26 月次の集計①</li> <li>27 月次の集計②</li> <li>28 月次の集計③</li> <li>29 月次の集計④</li> <li>30 月次の集計⑤</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	簿記初級Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	簿記の基本原理と合わせて企業の日常業務及び月次の集計業務における実践的な簿記の知識を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解し、業務に利活用することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 簿記初級総まとめ①</li> <li>2 簿記初級総まとめ②</li> <li>3 簿記初級総まとめ③</li> <li>4 簿記初級総まとめ④</li> <li>5 簿記初級総まとめ⑤</li> <li>6 簿記初級総まとめ⑥</li> <li>7 簿記初級総まとめ⑦</li> <li>8 簿記初級総まとめ⑧</li> <li>9 簿記初級総まとめ⑨</li> <li>10 簿記初級総まとめ⑩</li> <li>11 簿記初級試験対策①</li> <li>12 簿記初級試験対策②</li> <li>13 簿記初級試験対策③</li> <li>14 簿記初級試験対策④</li> <li>15 簿記初級試験対策⑤</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	原価計算初級 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	簿記の学習の有無を問わず原価計算の基本を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	原価計算の基本用語や原価と利益の関係を分析・理解することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 原価計算の基礎概念①</li> <li>2 原価計算の基礎概念②</li> <li>3 原価計算の基礎概念③</li> <li>4 原価計算の基礎概念④</li> <li>5 原価計算の基礎概念⑤</li> <li>6 原価計算の基礎概念⑥</li> <li>7 原価計算の基礎概念⑦</li> <li>8 原価計算の基礎概念⑧</li> <li>9 原価計算の基礎概念⑨</li> <li>10 原価計算の基礎概念⑩</li> <li>11 利益の計画と統制①</li> <li>12 利益の計画と統制②</li> <li>13 利益の計画と統制③</li> <li>14 利益の計画と統制④</li> <li>15 利益の計画と統制⑤</li> <li>16 利益の計画と統制⑥</li> <li>17 利益の計画と統制⑦</li> <li>18 利益の計画と統制⑧</li> <li>19 利益の計画と統制⑨</li> <li>20 利益の計画と統制⑩</li> <li>21 製品別(サービス別)期間損益計算①</li> <li>22 製品別(サービス別)期間損益計算②</li> <li>23 製品別(サービス別)期間損益計算③</li> <li>24 製品別(サービス別)期間損益計算④</li> <li>25 製品別(サービス別)期間損益計算⑤</li> <li>26 製品別(サービス別)期間損益計算⑥</li> <li>27 製品別(サービス別)期間損益計算⑦</li> <li>28 製品別(サービス別)期間損益計算⑧</li> <li>29 製品別(サービス別)期間損益計算⑨</li> <li>30 製品別(サービス別)期間損益計算⑩</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	原価計算初級Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	原価計算の基本原理および企業の日常業務における実践的な原価計算の知識を
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	原価計算の基本用語や原価と利益の関係を分析・理解し、業務に利活用することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 原価計算初級総まとめ① 2 原価計算初級総まとめ② 3 原価計算初級総まとめ③ 4 原価計算初級総まとめ④ 5 原価計算初級総まとめ⑤ 6 原価計算初級総まとめ⑥ 7 原価計算初級総まとめ⑦ 8 原価計算初級総まとめ⑧ 9 原価計算初級総まとめ⑨ 10 原価計算初級総まとめ⑩ 11 原価計算初級試験対策① 12 原価計算初級試験対策② 13 原価計算初級試験対策③ 14 原価計算初級試験対策④ 15 原価計算初級試験対策⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級商業簿記基礎 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 簿記一巡の手続きと財務諸表(基礎編)</li> <li>2 現金預金(基礎編)</li> <li>3 債権・債務(基礎編)</li> <li>4 棚卸資産(基礎編)</li> <li>5 有価証券①(基礎編)</li> <li>6 有価証券②(基礎編)</li> <li>7 固定資産①(基礎編)</li> <li>8 固定資産②(基礎編)</li> <li>9 固定資産③(基礎編)</li> <li>10 固定資産④(基礎編)</li> <li>11 債務保証(基礎編)</li> <li>12 引当金(基礎編)</li> <li>13 収益と費用(基礎編)</li> <li>14 為替換算会計(基礎編)</li> <li>15 株式会社の純資産(基礎編)</li> <li>16 企業結合(基礎編)</li> <li>17 確認テスト(第1回)</li> <li>18 税金①(基礎編)</li> <li>19 税金②(基礎編)</li> <li>20 伝票と帳簿(基礎編)</li> <li>21 決算①(基礎編)</li> <li>22 決算②(基礎編)</li> <li>23 本支店会計①(基礎編)</li> <li>24 本支店会計②(基礎編)</li> <li>25 連結会計①(基礎編)</li> <li>26 連結会計②(基礎編)</li> <li>27 連結会計③(基礎編)</li> <li>28 連結会計④(基礎編)</li> <li>29 連結会計⑤(基礎編)</li> <li>30 確認テスト(第2回)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級工業簿記基礎 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 工業簿記の基礎(基礎編)</li> <li>2 個別原価計算における工業簿記の記帳体系(基礎編)</li> <li>3 材料費会計(基礎編)</li> <li>4 労務費会計(基礎編)</li> <li>5 経費会計(基礎編)</li> <li>6 製造間接費会計(基礎編)</li> <li>7 製造間接費差異の原因別分析(基礎編)</li> <li>8 単純個別原価計算(基礎編)</li> <li>9 工企業の財務諸表(基礎編)</li> <li>10 確認テスト(第1回)</li> <li>11 部門別計算①(基礎編)</li> <li>12 部門別計算②(基礎編)</li> <li>13 総合原価計算における工業簿記の記帳体系(基礎編)</li> <li>14 単純総合原価計算(基礎編)</li> <li>15 工程別総合原価計算(基礎編)</li> <li>16 組別総合原価計算(基礎編)</li> <li>17 等級別総合原価計算(基礎編)</li> <li>18 減損および仕損(基礎編)</li> <li>19 標準原価計算①(基礎編)</li> <li>20 標準原価計算②(基礎編)</li> <li>21 標準原価計算③(基礎編)</li> <li>22 CVP分析①(基礎編)</li> <li>23 CVP分析②(基礎編)</li> <li>24 直接原価計算(基礎編)</li> <li>25 工業簿記総まとめ①(基礎編)</li> <li>26 工業簿記総まとめ②(基礎編)</li> <li>27 工業簿記総まとめ③(基礎編)</li> <li>28 工業簿記総まとめ④(基礎編)</li> <li>29 工業簿記総まとめ⑤(基礎編)</li> <li>30 確認テスト(第2回)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級簿記総合 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	90時間 (3単位)
授業コマ数	45コマ (1コマ90分)
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、 本店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記総まとめ①(基礎編) 2 商業簿記総まとめ②(基礎編) 3 商業簿記総まとめ③(基礎編) 4 商業簿記総まとめ④(基礎編) 5 商業簿記総まとめ⑤(基礎編) 6 商業簿記総まとめ⑥(基礎編) 7 商業簿記総まとめ⑦(基礎編) 8 商業簿記総まとめ⑧(基礎編) 9 商業簿記総まとめ⑨(基礎編) 10 商業簿記総まとめ⑩(基礎編) 11 商業簿記総まとめ⑪(基礎編) 12 商業簿記総まとめ⑫(基礎編) 13 工業簿記・原価計算総まとめ①(基礎編) 14 工業簿記・原価計算総まとめ②(基礎編) 15 工業簿記・原価計算総まとめ③(基礎編) 16 工業簿記・原価計算総まとめ④(基礎編) 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤(基礎編) 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥(基礎編) 19 総合問題対策①(商業簿記と工業簿記_基礎編) 20 総合問題対策②(商業簿記と工業簿記_基礎編) 21 総合問題対策③(商業簿記と工業簿記_基礎編) 22 総合問題対策④(商業簿記と工業簿記_基礎編) 23 総合問題対策⑤(商業簿記と工業簿記_基礎編) 24 総合問題対策⑥(商業簿記と工業簿記_基礎編) 25 総合問題対策⑦(商業簿記と工業簿記_基礎編) 26 総合問題対策⑧(商業簿記と工業簿記_基礎編) 27 総合問題対策⑨(商業簿記と工業簿記_基礎編) 28 総合問題演習①(テスト形式_基礎編) 29 総合問題演習①(テスト形式_基礎編) 30 総合問題演習①(テスト形式_基礎編) 31 総合問題演習②(テスト形式_基礎編) 32 総合問題演習②(テスト形式_基礎編) 33 総合問題演習②(テスト形式_基礎編) 34 総合問題演習③(テスト形式_基礎編) 35 総合問題演習③(テスト形式_基礎編) 36 総合問題演習③(テスト形式_基礎編) 37 総合問題演習④(テスト形式_基礎編) 38 総合問題演習④(テスト形式_基礎編) 39 総合問題演習④(テスト形式_基礎編) 40 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編) 41 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編) 42 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編) 43 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編) 44 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編) 45 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級会计学速習基礎
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	会計基準および適用指針など実務に直結する会計の基礎について短時間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計知識の習得および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 財務諸表、有価証券(速習編)</li> <li>2 デリバティブ取引・ヘッジ会計等、有形固定資産(速習編)</li> <li>3 割引現在価値(速習編)</li> <li>4 リース取引(速習編)</li> <li>5 研究開発費とソフトウェア、固定資産の減損(速習編)</li> <li>6 繰延資産、社債(速習編)</li> <li>7 引当金(速習編)</li> <li>8 退職給付(速習編)</li> <li>9 資産除去債務(速習編)</li> <li>10 純資産(速習編)</li> <li>11 新株予約権と新株予約権付社債、ストック・オプション(速習編)</li> <li>12 税効果会計①(課税所得、税効果会計の適用)(速習編)</li> <li>13 税効果会計②(期間差異、評価差額、財務諸表上の表示)(速習編)</li> <li>14 外貨建取引①(総論、外貨建取引の会計処理)(速習編)</li> <li>15 外貨建取引②(外貨建有価証券、為替予約等の会計処理)(速習編)</li> <li>16 商品売買等①(総論、原価率等、売価還元法、試用販売)(速習編)</li> <li>17 商品売買等②(委託販売、割賦販売、未着品販売など)(速習編)</li> <li>18 工事契約(速習編)</li> <li>19 本支店会計(速習編)</li> <li>20 連結財務諸表総論、資本連結①(財務諸表作成)(速習編)</li> <li>21 資本連結②(段階取得、子会社株式の取得・売却)、成果連結(速習編)</li> <li>22 持分法、連結税効果会計(速習編)</li> <li>23 包括利益、在外子会社(速習編)</li> <li>24 企業結合(速習編)</li> <li>25 事業分離(速習編)</li> <li>26 キャッシュフロー計算書①(営業活動によるキャッシュフロー)(速習編)</li> <li>27 キャッシュフロー計算書②(投資・財務活動によるキャッシュフロー)(速習編)</li> <li>28 連結キャッシュフロー(速習編)</li> <li>29 会計上の変更および誤謬の訂正</li> <li>30 確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級原価計算速習基礎
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容について短期間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 総論、費目別計算(速習編)</li> <li>2 個別原価計算(速習編)</li> <li>3 部門別計算(速習編)</li> <li>4 総合原価計算①(単純総合原価計算)(速習編)</li> <li>5 総合原価計算②(追加原材料)(速習編)</li> <li>6 総合原価計算③(工程別総合原価計算、組別総合原価計算)(速習編)</li> <li>7 総合原価計算④(等級別総合原価計算、連産品、副産物)(速習編)</li> <li>8 標準原価計算①(総論)(速習編)</li> <li>9 標準原価計算②(仕損・減損の処理)(速習編)</li> <li>10 標準原価計算③(工程別標準原価計算)(速習編)</li> <li>11 短期利益計画(速習編)</li> <li>12 直接原価計算(速習編)</li> <li>13 意思決定会計①(総論、業務的意思決定①)(速習編)</li> <li>14 意思決定会計②(業務的意思決定②)(速習編)</li> <li>15 意思決定会計③(構造的意意思決定①)(速習編)</li> <li>16 意思決定会計④(構造的意意思決定②)(速習編)</li> <li>17 戦略的原価計算①(LCC・QC)(速習編)</li> <li>18 戦略的原価計算②(原価企画・ABC)(速習編)</li> <li>19 個別原価計算・部門別計算のまとめ①(速習編)</li> <li>20 個別原価計算・部門別計算のまとめ②(速習編)</li> <li>21 総合原価計算のまとめ①(速習編)</li> <li>22 総合原価計算のまとめ②(速習編)</li> <li>23 標準原価計算のまとめ①(速習編)</li> <li>24 標準原価計算のまとめ②(速習編)</li> <li>25 直接原価計算・短期利益計画のまとめ(速習編)</li> <li>26 短期利益計画・予算管理のまとめ、意思決定会計のまとめ①(速習編)</li> <li>27 意思決定会計のまとめ②(速習編)</li> <li>28 戦略的原価計算のまとめ(速習編)</li> <li>29 事業部制(速習編)</li> <li>30 確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級簿記速習総合
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択履修必須
授業方法	演習
授業時間	90時間(3単位)
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	大企業を前提とした会計制度を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	より深い会計制度の知識習得および問題演習を通じて計算技術を習得することを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 商業簿記・会計学総まとめ①(速習編)</li> <li>2 商業簿記・会計学総まとめ②(速習編)</li> <li>3 商業簿記・会計学総まとめ③(速習編)</li> <li>4 工業簿記・原価計算総まとめ①(速習編)</li> <li>5 工業簿記・原価計算総まとめ②(速習編)</li> <li>6 工業簿記・原価計算総まとめ③(速習編)</li> <li>7 商業簿記・会計学総まとめ④(速習編)</li> <li>8 商業簿記・会計学総まとめ⑤(速習編)</li> <li>9 商業簿記・会計学総まとめ⑥(速習編)</li> <li>10 工業簿記・原価計算総まとめ④(速習編)</li> <li>11 工業簿記・原価計算総まとめ⑤(速習編)</li> <li>12 工業簿記・原価計算総まとめ⑥(速習編)</li> <li>13 商業簿記・会計学総まとめ⑦(速習編)</li> <li>14 商業簿記・会計学総まとめ⑧(速習編)</li> <li>15 商業簿記・会計学総まとめ⑨(速習編)</li> <li>16 工業簿記・原価計算総まとめ⑦(速習編)</li> <li>17 工業簿記・原価計算総まとめ⑧(速習編)</li> <li>18 工業簿記・原価計算総まとめ⑨(速習編)</li> <li>19 商業簿記・会計学総まとめ⑩(速習編)</li> <li>20 商業簿記・会計学総まとめ⑪(速習編)</li> <li>21 商業簿記・会計学総まとめ⑫(速習編)</li> <li>22 工業簿記・原価計算総まとめ⑩(速習編)</li> <li>23 工業簿記・原価計算総まとめ⑪(速習編)</li> <li>24 工業簿記・原価計算総まとめ⑫(速習編)</li> <li>25 総合問題対策①(商業簿記と工業簿記速習編)</li> <li>26 総合問題対策②(商業簿記と工業簿記速習編)</li> <li>27 総合問題対策③(商業簿記と工業簿記速習編)</li> <li>28 総合問題演習①(テスト形式基礎編)</li> <li>29 総合問題演習①(テスト形式基礎編)</li> <li>30 総合問題演習①(テスト形式基礎編)</li> <li>31 総合問題演習②(テスト形式基礎編)</li> <li>32 総合問題演習②(テスト形式基礎編)</li> <li>33 総合問題演習②(テスト形式基礎編)</li> <li>34 総合問題演習③(テスト形式基礎編)</li> <li>35 総合問題演習③(テスト形式基礎編)</li> <li>36 総合問題演習③(テスト形式基礎編)</li> <li>37 総合問題演習④(テスト形式基礎編)</li> <li>38 総合問題演習④(テスト形式基礎編)</li> <li>39 総合問題演習④(テスト形式基礎編)</li> <li>40 総合問題演習⑤(テスト形式基礎編)</li> <li>41 総合問題演習⑤(テスト形式基礎編)</li> <li>42 総合問題演習⑥(テスト形式基礎編)</li> <li>43 総合問題演習⑥(テスト形式基礎編)</li> <li>44 総合問題演習⑦(テスト形式基礎編)</li> <li>45 総合問題演習⑦(テスト形式基礎編)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	3級商業簿記基礎
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	90時間(3単位)
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則、簿記の基本原則を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 簿記の目的</li> <li>2 簿記一巡</li> <li>3 株式会社の資本①(意義、資本、発行)</li> <li>4 株式会社の資本②(剰余金の配当)</li> <li>5 商品売買①(商品売買、3分法、売掛金・買掛金)</li> <li>6 商品売買②(返品、分記法)</li> <li>7 商品売買③(仕入諸掛・販売諸掛、前受金・前払金、受取商品券)</li> <li>8 決算①(決算)</li> <li>9 決算②(決算整理)</li> <li>10 決算③(繰越商品および仕入の決算整理)</li> <li>11 決算④(決算整理後残高試算表)</li> <li>12 決算⑤(精算表)</li> <li>13 現金および預金①(現金、普通預金、当座預金)</li> <li>14 現金および預金②(複数口座の管理、当座借越)</li> <li>15 手形および電子記録債権・債務</li> <li>16 受取手形および売掛金の決算整理</li> <li>17 有形固定資産</li> <li>18 現金過不足および現金、貯蔵品の決算整理</li> <li>19 その他の債権および債務①(債権・債務、未収入金・未払金)</li> <li>20 その他の債権および債務②(クレジット売掛金、手形貸付金・借入金)</li> <li>21 その他の債権および債務③(仮払金・仮受金、差入保証金)</li> <li>22 その他の勘定および訂正仕訳</li> <li>23 その他の収益および費用</li> <li>24 費用および収益の決算整理</li> <li>25 税金</li> <li>26 消費税および法人税等の決算整理</li> <li>27 訂正仕訳</li> <li>28 財務諸表の作成①(損益計算書①)</li> <li>29 財務諸表の作成②(損益計算書②)</li> <li>30 財務諸表の作成③(貸借対照表①)</li> <li>31 財務諸表の作成④(貸借対照表②)</li> <li>32 主要簿と補助簿</li> <li>33 現金出納帳および当座預金出納帳</li> <li>34 小口現金出納帳</li> <li>35 仕入帳と売上帳</li> <li>36 売掛金元帳と買掛金元帳</li> <li>37 商品有高帳</li> <li>38 手形記入帳</li> <li>39 固定資産台帳</li> <li>40 試算表の作成</li> <li>41 伝票会計①</li> <li>42 伝票会計②</li> <li>43 確認テスト(第1回)</li> <li>44 確認テスト(第2回)</li> <li>45 確認テスト(第3回)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	3級商業簿記総合
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	120時間(4単位)
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記総まとめ①(基礎編) 2 商業簿記総まとめ②(基礎編) 3 商業簿記総まとめ③(基礎編) 4 商業簿記総まとめ④(基礎編) 5 商業簿記総まとめ⑤(基礎編) 6 商業簿記総まとめ⑥(基礎編) 7 商業簿記総まとめ⑦(基礎編) 8 商業簿記総まとめ⑧(基礎編) 9 商業簿記総まとめ⑨(基礎編) 10 商業簿記総まとめ⑩(基礎編) 11 商業簿記総まとめ⑪(基礎編) 12 商業簿記総まとめ⑫(基礎編) 13 商業簿記総まとめ⑬(基礎編) 14 商業簿記総まとめ⑭(基礎編) 15 商業簿記総まとめ⑮(基礎編) 16 商業簿記総まとめ①(応用編) 17 商業簿記総まとめ②(応用編) 18 商業簿記総まとめ③(応用編) 19 商業簿記総まとめ④(応用編) 20 商業簿記総まとめ⑤(応用編) 21 商業簿記総まとめ⑥(応用編) 22 商業簿記総まとめ⑦(応用編) 23 商業簿記総まとめ⑧(応用編) 24 商業簿記総まとめ⑨(応用編) 25 商業簿記総まとめ⑩(応用編) 26 商業簿記総まとめ⑪(応用編) 27 商業簿記総まとめ⑫(応用編) 28 商業簿記総まとめ⑬(応用編) 29 商業簿記総まとめ⑭(応用編) 30 商業簿記総まとめ⑮(応用編) 31 総合問題対策① 32 総合問題対策② 33 総合問題対策③ 34 総合問題対策④ 35 総合問題対策⑤ 36 総合問題対策⑥ 37 総合問題対策⑦ 38 総合問題対策⑧ 39 総合問題対策⑨ 40 総合問題対策⑩ 41 総合問題対策⑪ 42 総合問題対策⑫ 43 総合問題対策⑬ 44 総合問題対策⑭ 45 総合問題対策⑮ 46 総合問題演習① 47 総合問題演習② 48 総合問題演習③ 49 総合問題演習④ 50 総合問題演習⑤ 51 総合問題演習⑥ 52 総合問題演習⑦ 53 総合問題演習⑧ 54 総合問題演習⑨ 55 総合問題演習⑩ 56 総合問題演習⑪ 57 総合問題演習⑫ 58 総合問題演習⑬ 59 総合問題演習⑭ 60 総合問題演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級会計学入門 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	90時間(3単位)
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 財務諸表(入門編)</li> <li>2 有価証券(入門編)</li> <li>3 デリバティブ取引・ヘッジ会計(入門編)</li> <li>4 有形固定資産(入門編)</li> <li>5 割引現在価値(入門編)</li> <li>6 リース取引①(入門編)</li> <li>7 リース取引②(入門編)</li> <li>8 固定資産の減損(入門編)</li> <li>9 研究開発費とソフトウェア(入門編)</li> <li>10 繰延資産(入門編)</li> <li>11 社債(入門編)</li> <li>12 引当金①(入門編)</li> <li>13 引当金②(入門編)</li> <li>14 退職給付①(入門編)</li> <li>15 退職給付②(入門編)</li> <li>16 資産除去債務(入門編)</li> <li>17 純資産(入門編)</li> <li>18 新株予約権と新株予約権付社債(入門編)</li> <li>19 ストック・オプション(入門編)</li> <li>20 税効果会計①(入門編)</li> <li>21 税効果会計②(入門編)</li> <li>22 外貨建取引①(入門編)</li> <li>23 外貨建取引②(入門編)</li> <li>24 商品売買等①(入門編)</li> <li>25 商品売買等②(入門編)</li> <li>26 商品売買等③(入門編)</li> <li>27 工事契約(入門編)</li> <li>28 本支店会計①(入門編)</li> <li>29 本支店会計②(入門編)</li> <li>30 連結財務諸表総論(入門編)</li> <li>31 資本連結(入門編)</li> <li>32 成果連結(入門編)</li> <li>33 持分法(入門編)</li> <li>34 連結税効果会計(入門編)</li> <li>35 包括利益(入門編)</li> <li>36 在外子会社(入門編)</li> <li>37 企業結合(入門編)</li> <li>38 事業分離①(入門編)</li> <li>39 事業分離②(入門編)</li> <li>40 キャッシュフロー計算書①(入門編)</li> <li>41 キャッシュフロー計算書②(入門編)</li> <li>42 キャッシュフロー計算書③(入門編)</li> <li>43 連結キャッシュフロー計算書①(入門編)</li> <li>44 連結キャッシュフロー計算書②(入門編)</li> <li>45 連結キャッシュフロー計算書③(入門編)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級原価計算入門 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	90時間(3単位)
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 工業簿記と原価計算(入門編) 2 費目別計算①(入門編) 3 費目別計算②(入門編) 4 部門別計算①(入門編) 5 部門別計算②(入門編) 6 部門別計算③(入門編) 7 個別原価計算①(入門編) 8 個別原価計算②(入門編) 9 個別原価計算③(入門編) 10 総合原価計算①(入門編) 11 総合原価計算②(入門編) 12 総合原価計算③(入門編) 13 総合原価計算④(入門編) 14 標準原価計算①(入門編) 15 標準原価計算②(入門編) 16 標準原価計算③(入門編) 17 標準原価計算④(入門編) 18 標準原価計算⑤(入門編) 19 標準原価計算⑥(入門編) 20 直接原価計算(入門編) 21 短期利益計画①(入門編) 22 短期利益計画②(入門編) 23 予算管理①(入門編) 24 予算管理②(入門編) 25 予算管理③(入門編) 26 意思決定会計①(入門編) 27 意思決定会計②(入門編) 28 意思決定会計③(入門編) 29 意思決定会計④(入門編) 30 意思決定会計⑤(入門編) 31 意思決定会計⑥(入門編) 32 意思決定会計⑦(入門編) 33 意思決定会計⑧(入門編) 34 工業簿記と原価計算まとめ①(入門編) 35 工業簿記と原価計算まとめ②(入門編) 36 工業簿記と原価計算まとめ③(入門編) 37 工業簿記と原価計算まとめ④(入門編) 38 工業簿記と原価計算まとめ⑤(入門編) 39 工業簿記と原価計算まとめ⑥(入門編) 40 工業簿記と原価計算まとめ⑦(入門編) 41 工業簿記と原価計算まとめ⑧(入門編) 42 工業簿記と原価計算まとめ⑨(入門編) 43 工業簿記と原価計算まとめ⑩(入門編) 44 工業簿記と原価計算まとめ⑪(入門編) 45 工業簿記と原価計算まとめ⑫(入門編)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級簿記速習演習
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	大企業を前提とした会計制度を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	より深い会計制度の知識習得および問題演習を通じて計算技術を習得することを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 商業簿記・会計学総まとめ①(応用速習編)</li> <li>2 商業簿記・会計学総まとめ②(応用速習編)</li> <li>3 商業簿記・会計学総まとめ③(応用速習編)</li> <li>4 工業簿記・原価計算総まとめ①(応用速習編)</li> <li>5 工業簿記・原価計算総まとめ②(応用速習編)</li> <li>6 工業簿記・原価計算総まとめ③(応用速習編)</li> <li>7 商業簿記・会計学総まとめ④(応用速習編)</li> <li>8 商業簿記・会計学総まとめ⑤(応用速習編)</li> <li>9 商業簿記・会計学総まとめ⑥(応用速習編)</li> <li>10 工業簿記・原価計算総まとめ④(応用速習編)</li> <li>11 工業簿記・原価計算総まとめ⑤(応用速習編)</li> <li>12 工業簿記・原価計算総まとめ⑥(応用速習編)</li> <li>13 商業簿記・会計学総まとめ⑦(応用速習編)</li> <li>14 商業簿記・会計学総まとめ⑧(応用速習編)</li> <li>15 商業簿記・会計学総まとめ⑨(応用速習編)</li> <li>16 工業簿記・原価計算総まとめ⑦(応用速習編)</li> <li>17 工業簿記・原価計算総まとめ⑧(応用速習編)</li> <li>18 工業簿記・原価計算総まとめ⑨(応用速習編)</li> <li>19 商業簿記・会計学総まとめ⑩(応用速習編)</li> <li>20 商業簿記・会計学総まとめ⑪(応用速習編)</li> <li>21 商業簿記・会計学総まとめ⑫(応用速習編)</li> <li>22 工業簿記・原価計算総まとめ⑩(応用速習編)</li> <li>23 工業簿記・原価計算総まとめ⑪(応用速習編)</li> <li>24 工業簿記・原価計算総まとめ⑫(応用速習編)</li> <li>25 総合問題対策①(商業簿記と工業簿記_応用速習編)</li> <li>26 総合問題対策②(商業簿記と工業簿記_応用速習編)</li> <li>27 総合問題対策③(商業簿記と工業簿記_応用速習編)</li> <li>28 総合問題演習①(テスト形式_応用編)</li> <li>29 総合問題演習②(テスト形式_応用編)</li> <li>30 総合問題演習③(テスト形式_応用編)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	全経簿記上級総合 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	120時間(4単位)
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)
授業概要	大企業を前提とした会計制度、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 商業簿記・会計学総まとめ①(全経速習編)</li> <li>2 商業簿記・会計学総まとめ②(全経速習編)</li> <li>3 商業簿記・会計学総まとめ③(全経速習編)</li> <li>4 工業簿記・原価計算総まとめ①(全経速習編)</li> <li>5 工業簿記・原価計算総まとめ②(全経速習編)</li> <li>6 工業簿記・原価計算総まとめ③(全経速習編)</li> <li>7 商業簿記・会計学総まとめ④(全経速習編)</li> <li>8 商業簿記・会計学総まとめ⑤(全経速習編)</li> <li>9 商業簿記・会計学総まとめ⑥(全経速習編)</li> <li>10 工業簿記・原価計算総まとめ④(全経速習編)</li> <li>11 工業簿記・原価計算総まとめ⑤(全経速習編)</li> <li>12 工業簿記・原価計算総まとめ⑥(全経速習編)</li> <li>13 商業簿記・会計学総まとめ⑦(全経速習編)</li> <li>14 商業簿記・会計学総まとめ⑧(全経速習編)</li> <li>15 商業簿記・会計学総まとめ⑨(全経速習編)</li> <li>16 工業簿記・原価計算総まとめ⑦(全経速習編)</li> <li>17 工業簿記・原価計算総まとめ⑧(全経速習編)</li> <li>18 工業簿記・原価計算総まとめ⑨(全経速習編)</li> <li>19 商業簿記・会計学総まとめ⑩(全経速習編)</li> <li>20 商業簿記・会計学総まとめ⑪(全経速習編)</li> <li>21 商業簿記・会計学総まとめ⑫(全経速習編)</li> <li>22 工業簿記・原価計算総まとめ⑩(全経速習編)</li> <li>23 工業簿記・原価計算総まとめ⑪(全経速習編)</li> <li>24 工業簿記・原価計算総まとめ⑫(全経速習編)</li> <li>25 商業簿記・会計学総まとめ⑬(全経速習編)</li> <li>26 商業簿記・会計学総まとめ⑭(全経速習編)</li> <li>27 商業簿記・会計学総まとめ⑮(全経速習編)</li> <li>28 工業簿記・原価計算総まとめ⑬(全経速習編)</li> <li>29 工業簿記・原価計算総まとめ⑭(全経速習編)</li> <li>30 工業簿記・原価計算総まとめ⑮(全経速習編)</li> <li>31 総合問題対策①(全経速習編)</li> <li>32 総合問題対策②(全経速習編)</li> <li>33 総合問題対策③(全経速習編)</li> <li>34 総合問題対策④(全経速習編)</li> <li>35 総合問題対策⑤(全経速習編)</li> <li>36 総合問題対策⑥(全経速習編)</li> <li>37 総合問題対策⑦(全経速習編)</li> <li>38 総合問題対策⑧(全経速習編)</li> <li>39 総合問題対策⑨(全経速習編)</li> <li>40 総合問題対策⑩(全経速習編)</li> <li>41 総合問題対策⑪(全経速習編)</li> <li>42 総合問題対策⑫(全経速習編)</li> <li>43 総合問題対策⑬(全経速習編)</li> <li>44 総合問題対策⑭(全経速習編)</li> <li>45 総合問題対策⑮(全経速習編)</li> <li>46 総合問題演習①(テスト形式)</li> <li>47 総合問題演習①(テスト形式)</li> <li>48 総合問題演習①(テスト形式)</li> <li>49 総合問題演習②(テスト形式)</li> <li>50 総合問題演習②(テスト形式)</li> <li>51 総合問題演習②(テスト形式)</li> <li>52 総合問題演習③(テスト形式)</li> <li>53 総合問題演習③(テスト形式)</li> <li>54 総合問題演習③(テスト形式)</li> <li>55 総合問題演習④(テスト形式)</li> <li>56 総合問題演習④(テスト形式)</li> <li>57 総合問題演習④(テスト形式)</li> <li>58 総合問題演習⑤(テスト形式)</li> <li>59 総合問題演習⑤(テスト形式)</li> <li>60 総合問題演習⑤(テスト形式)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級会計学基礎 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の基礎について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 有価証券(基礎編)</li> <li>2 有形固定資産(基礎編)</li> <li>3 リース取引(基礎編)</li> <li>4 固定資産の減損(基礎編)</li> <li>5 退職給付(基礎編)</li> <li>6 純資産(基礎編)</li> <li>7 新株予約権と新株予約権付社債(基礎編)</li> <li>8 スtock・オプション(基礎編)</li> <li>9 税効果会計(基礎編)</li> <li>10 外貨建取引(基礎編)</li> <li>11 商品売買等(基礎編)</li> <li>12 資本連結(基礎編)</li> <li>13 連結税効果会計(基礎編)</li> <li>14 在外子会社、事業分離(基礎編)</li> <li>15 キャッシュフロー計算書、連結キャッシュフロー計算書(基礎編)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級原価計算基礎 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 個別原価計算(基礎編)</li> <li>2 部門別計算(基礎編)</li> <li>3 総合原価計算(基礎編)</li> <li>4 標準原価計算(基礎編)</li> <li>5 直接原価計算(基礎編)</li> <li>6 短期利益計画(基礎編)</li> <li>7 予算管理(基礎編)</li> <li>8 事業部制(基礎編)</li> <li>9 業務的意思決定①(基礎編)</li> <li>10 業務的意思決定②(基礎編)</li> <li>11 構造的意意思決定①(基礎編)</li> <li>12 構造的意意思決定②(基礎編)</li> <li>13 構造的意意思決定③(基礎編)</li> <li>14 戦略的原価計算①(基礎編)</li> <li>15 戦略的原価計算②(基礎編)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級会計学総合 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	90時間(3単位)
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記1級検定合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現金預金、債権の譲渡、デリバティブ取引、有価証券、リース取引</li> <li>2 貸倒引当金、ヘッジ会計、減損会計、社債、退職給付会計</li> <li>3 資産除去債務、セール・アンド・リースバック取引、ストック・オプション</li> <li>4 自己株式、為替予約、外貨建有価証券、圧縮記帳</li> <li>5 売価還元原価法、転換社債</li> <li>6 電子記録債権、特別目的会社、剰余金の配当、固定資産</li> <li>7 連結会計</li> <li>8 キャッシュフロー計算書、企業結合</li> <li>9 返品調整引当金、外貨建有価証券(減損)、ヘッジ会計</li> <li>10 本支店会計総合問題(在外支店)</li> <li>11 本支店会計総合問題(決算整理後合併残高試算表)</li> <li>12 決算整理後残高試算表作成(会計上の変更)</li> <li>13 決算整理後残高試算表作成(委託販売)</li> <li>14 損益計算書作成(各種財務諸表金額算定)</li> <li>15 損益計算書作成(財務諸表の注記に関する金額算定)</li> <li>16 連結損益計算書</li> <li>17 連結貸借対照表</li> <li>18 会計上の変更</li> <li>19 包括利益</li> <li>20 理論対策: 語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題①</li> <li>21 理論対策: 語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題②</li> <li>22 理論対策: 語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題③</li> <li>23 理論対策: 語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題④</li> <li>24 理論対策: 語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題⑤</li> <li>25 理論対策: 語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題⑥</li> <li>26 総合問題対策①(テスト形式の問題解説_基礎編)</li> <li>27 総合問題対策①(テスト形式の問題解説_基礎編)</li> <li>28 総合問題対策②(テスト形式の問題解説_基礎編)</li> <li>29 総合問題対策②(テスト形式の問題解説_基礎編)</li> <li>30 総合問題対策③(テスト形式の問題解説_基礎編)</li> <li>31 総合問題対策③(テスト形式の問題解説_基礎編)</li> <li>32 総合問題演習①(テスト形式_基礎編)</li> <li>33 総合問題演習①(テスト形式_基礎編)</li> <li>34 総合問題演習②(テスト形式_基礎編)</li> <li>35 総合問題演習②(テスト形式_基礎編)</li> <li>36 総合問題演習③(テスト形式_基礎編)</li> <li>37 総合問題演習③(テスト形式_基礎編)</li> <li>38 総合問題演習④(テスト形式_基礎編)</li> <li>39 総合問題演習④(テスト形式_基礎編)</li> <li>40 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編)</li> <li>41 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編)</li> <li>42 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編)</li> <li>43 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編)</li> <li>44 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編)</li> <li>45 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級原価計算総合 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	90時間(3単位)
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記1級検定合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実際単純個別原価計算</li> <li>2 部門別計算</li> <li>3 部門別個別原価計算</li> <li>4 実際工程別総合原価計算①</li> <li>5 実際工程別総合原価計算②</li> <li>6 連産品原価の計算および追加加工の意思決定</li> <li>7 標準総合原価計算(仕損費の処理)</li> <li>8 標準総合原価計算(配合差異・歩留差異)</li> <li>9 標準総合原価計算(原価差異の追加配賦)</li> <li>10 標準個別原価計算</li> <li>11 実際直接工程別総合原価計算</li> <li>12 実際直接部門別個別原価計算</li> <li>13 CVP分析</li> <li>14 直接標準総合原価計算(総合予算編成 四半期現金収支)</li> <li>15 直接標準総合原価計算(総合予算編成 資金調達)</li> <li>16 予算統制(予算財務諸表作成)</li> <li>17 直接標準原価計算(営業利益の差異分析)</li> <li>18 事業部の業績測定</li> <li>19 業務的意思決定(原価分解、最適セールスマックス、新規注文の引受可否)</li> <li>20 業務的意思決定(部品の自製か購入か、優劣分岐点分析、経済的発注量)</li> <li>21 構造的意決定(各種評価方法、取換投資、拡張投資)</li> <li>22 構造的意決定(差額キャッシュフローの計算)</li> <li>23 戦略的原価計算(損益・優劣分岐点、無限反復投資)</li> <li>24 戦略的原価計算(原価企画・原価維持・原価改善、品質原価計算)</li> <li>25 戦略的原価計算(ライフサイクルコスト、活動基準原価計算)</li> <li>26 総合問題対策①(テスト形式の問題解説_基礎編)</li> <li>27 総合問題対策①(テスト形式の問題解説_基礎編)</li> <li>28 総合問題対策②(テスト形式の問題解説_基礎編)</li> <li>29 総合問題対策②(テスト形式の問題解説_基礎編)</li> <li>30 総合問題対策③(テスト形式の問題解説_基礎編)</li> <li>31 総合問題対策③(テスト形式の問題解説_基礎編)</li> <li>32 総合問題演習①(テスト形式_基礎編)</li> <li>33 総合問題演習①(テスト形式_基礎編)</li> <li>34 総合問題演習②(テスト形式_基礎編)</li> <li>35 総合問題演習②(テスト形式_基礎編)</li> <li>36 総合問題演習③(テスト形式_基礎編)</li> <li>37 総合問題演習③(テスト形式_基礎編)</li> <li>38 総合問題演習④(テスト形式_基礎編)</li> <li>39 総合問題演習④(テスト形式_基礎編)</li> <li>40 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編)</li> <li>41 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編)</li> <li>42 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編)</li> <li>43 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編)</li> <li>44 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編)</li> <li>45 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	90時間(3単位)
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 総論</li> <li>2 簿記一巡の手続、財務諸表</li> <li>3 現金預金、銀行勘定調整表</li> <li>4 債権・債務</li> <li>5 棚卸資産</li> <li>6 有価証券①(有価証券の分類)</li> <li>7 有価証券②(売買目的有価証券、満期保有目的債券)</li> <li>8 有価証券③(子会社株式、関連会社株式)</li> <li>9 有価証券④(その他有価証券、端数利息)</li> <li>10 固定資産①(有形固定資産の取得、減価償却の方法、建設仮勘定)</li> <li>11 固定資産②(有形固定資産の割賦購入、修繕費および改良費)</li> <li>12 固定資産③(法人税法上の減価償却、圧縮記帳)</li> <li>13 固定資産④(有形固定資産の売却、買換え、除却、滅失)</li> <li>14 固定資産⑤(リース会計、無形固定資産)</li> <li>15 固定資産⑥(ソフトウェア、投資其他資産)</li> <li>16 債務保証</li> <li>17 引当金①(貸倒引当金)</li> <li>18 引当金②(貸倒引当金発生時の会計処理)</li> <li>19 引当金③(その他の引当金)</li> <li>20 収益と費用</li> <li>21 為替換算会計①(外貨建取引)</li> <li>22 為替換算会計②(為替予約)</li> <li>23 株式会社の純資産①(意義、純資産)</li> <li>24 株式会社の純資産②(株式の発行、剰余金の配当等)</li> <li>25 株式会社の純資産③(株主資本の係数の変動)</li> <li>26 企業結合</li> <li>27 税金①(消費税)</li> <li>28 税金②(法人税等)</li> <li>29 税金③(税効果会計)</li> <li>30 帳簿組織</li> <li>31 伝票会計</li> <li>32 決算①(決算整理、帳簿決算手続き)</li> <li>33 決算②(財務諸表、精算表)</li> <li>34 製造業を営む会社の決算処理</li> <li>35 本支店会計①(意義、目的、本支店間取引、支店相互間取引)</li> <li>36 本支店会計②(決算)</li> <li>37 連結会計①(財務諸表)</li> <li>38 連結会計②(支配獲得日の連結手続き)</li> <li>39 連結会計③(支配獲得後の連結手続き)</li> <li>40 連結会計④(連結会社相互間取引の相殺消去)</li> <li>41 連結会計⑤(未実現利益の控除)</li> <li>42 連結会計⑥(連結株主資本等変動計算書)</li> <li>43 連結会計⑦(連結第1年度、連結第2年度)</li> <li>44 確認テスト(第1回)</li> <li>45 確認テスト(第2回)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	90時間(3単位)
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 工業簿記の基礎</li> <li>2 工業簿記の記帳体系①(個別原価計算)</li> <li>3 工業簿記の記帳体系②(決算)</li> <li>4 材料費会計①(材料の購入、返品、消費、棚卸減耗)</li> <li>5 材料費会計②(予定消費価格による材料費の計算と記帳)</li> <li>6 労務費会計①(支払額の計算と記帳)</li> <li>7 労務費会計②(消費額の計算と記帳)</li> <li>8 労務費会計③(予定消費賃率による消費額の計算と記帳)</li> <li>9 経費会計</li> <li>10 製造間接費会計①(実際配賦と予定配賦)</li> <li>11 製造間接費会計②(差異の原因別分析)</li> <li>12 単純個別原価計算①(単純個別原価計算)</li> <li>13 単純個別原価計算②(仕損の処理)</li> <li>14 部門別計算①(部門別計算の手續きと記帳体系)</li> <li>15 部門別計算②(部門個別費と部門共通費)</li> <li>16 部門別計算③(補助部門費の配賦①)</li> <li>17 部門別計算④(補助部門費の配賦②)</li> <li>18 部門別計算⑤(仕掛品の計算)</li> <li>19 部門別計算⑥(差異の原因別分析)</li> <li>20 工企業の財務諸表①(製造原価報告書)</li> <li>21 工企業の財務諸表②(損益計算書、貸借対照表)</li> <li>22 工業簿記の記帳体系(総合原価計算)</li> <li>23 総合原価計算①(単純総合原価計算)</li> <li>24 総合原価計算②(月末仕掛品原価の評価)</li> <li>25 総合原価計算③(材料の投入形態)</li> <li>26 総合原価計算④(損益計算書の作成)</li> <li>27 総合原価計算⑤(減損の処理)</li> <li>28 総合原価計算⑥(仕損の処理)</li> <li>29 工程別総合原価計算①(月末仕掛品原価の計算)</li> <li>30 工程別総合原価計算②(半製品の処理)</li> <li>31 組別総合原価計算</li> <li>32 等級別総合原価計算①(完成品総合原価に等価係数を用いる方法)</li> <li>33 等級別総合原価計算②(当月製造費用に等価係数を用いる方法)</li> <li>34 標準原価計算①(月末仕掛品および完成品原価の計算)</li> <li>35 標準原価計算②(原価差異の計算)</li> <li>36 標準原価計算③(仕掛品勘定の記帳方法)</li> <li>37 標準原価計算④(直接材料費差異および直接労務費差異の原因別分析)</li> <li>38 標準原価計算⑤(製造間接費差異の原因別分析①)</li> <li>39 標準原価計算⑥(製造間接費差異の原因別分析②)</li> <li>40 原価・営業量・利益関係の分析</li> <li>41 直接原価計算①(直接原価計算)</li> <li>42 直接原価計算②(固定費調整)</li> <li>43 工場会計の独立</li> <li>44 確認テスト(第1回)</li> <li>45 確認テスト(第2回)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級商業簿記応用 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	商企業の会計処理に関する全体の関連性について体系的に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	日々の取引、決算整理に関する一連の流れおよび財務諸表の作成について、上場企業レベルの資料を作成することができることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現金預金</li> <li>2 債権・債務、棚卸資産</li> <li>3 有価証券</li> <li>4 固定資産①(応用編①)</li> <li>5 固定資産②(応用編②)</li> <li>6 固定資産③(応用編③)</li> <li>7 債務保証、引当金</li> <li>8 収益と費用、為替換算会計</li> <li>9 株式会社の純資産</li> <li>10 企業結合、税金</li> <li>11 決算</li> <li>12 本支店会計</li> <li>13 連結会計①(応用編①)</li> <li>14 連結会計②(応用編②)</li> <li>15 確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級工業簿記応用 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 工業簿記の記帳体系</li> <li>2 材料費会計</li> <li>3 労務費会計</li> <li>4 経費会計、製造間接費会計</li> <li>5 単純個別原価計算</li> <li>6 部門別計算①(応用編①)</li> <li>7 部門別計算②(応用編②)</li> <li>8 工企業の財務諸表、総合原価計算</li> <li>9 工程別総合原価計算</li> <li>10 組別総合原価計算、等級別総合原価計算</li> <li>11 標準原価計算①(応用編①)</li> <li>12 標準原価計算②(応用編②)</li> <li>13 原価・営業量・利益関係の分析</li> <li>14 直接原価計算</li> <li>15 確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級簿記総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	90時間(3単位)
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 商業簿記総まとめ①(中級編)</li> <li>2 商業簿記総まとめ②(中級編)</li> <li>3 商業簿記総まとめ③(中級編)</li> <li>4 商業簿記総まとめ④(中級編)</li> <li>5 商業簿記総まとめ⑤(中級編)</li> <li>6 商業簿記総まとめ⑥(中級編)</li> <li>7 商業簿記総まとめ⑦(中級編)</li> <li>8 商業簿記総まとめ⑧(中級編)</li> <li>9 商業簿記総まとめ⑨(中級編)</li> <li>10 商業簿記総まとめ⑩(中級編)</li> <li>11 商業簿記総まとめ⑪(中級編)</li> <li>12 商業簿記総まとめ⑫(中級編)</li> <li>13 工業簿記・原価計算総まとめ①(中級編)</li> <li>14 工業簿記・原価計算総まとめ②(中級編)</li> <li>15 工業簿記・原価計算総まとめ③(中級編)</li> <li>16 工業簿記・原価計算総まとめ④(中級編)</li> <li>17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤(中級編)</li> <li>18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥(中級編)</li> <li>19 総合問題対策①(商業簿記と工業簿記_中級編)</li> <li>20 総合問題対策②(商業簿記と工業簿記_中級編)</li> <li>21 総合問題対策③(商業簿記と工業簿記_中級編)</li> <li>22 総合問題対策④(商業簿記と工業簿記_中級編)</li> <li>23 総合問題対策⑤(商業簿記と工業簿記_中級編)</li> <li>24 総合問題対策⑥(商業簿記と工業簿記_中級編)</li> <li>25 総合問題対策⑦(商業簿記と工業簿記_中級編)</li> <li>26 総合問題対策⑧(商業簿記と工業簿記_中級編)</li> <li>27 総合問題対策⑨(商業簿記と工業簿記_中級編)</li> <li>28 総合問題演習①(テスト形式_中級編)</li> <li>29 総合問題演習①(テスト形式_中級編)</li> <li>30 総合問題演習①(テスト形式_中級編)</li> <li>31 総合問題演習②(テスト形式_中級編)</li> <li>32 総合問題演習②(テスト形式_中級編)</li> <li>33 総合問題演習②(テスト形式_中級編)</li> <li>34 総合問題演習③(テスト形式_中級編)</li> <li>35 総合問題演習③(テスト形式_中級編)</li> <li>36 総合問題演習③(テスト形式_中級編)</li> <li>37 総合問題演習④(テスト形式_中級編)</li> <li>38 総合問題演習④(テスト形式_中級編)</li> <li>39 総合問題演習④(テスト形式_中級編)</li> <li>40 総合問題演習⑤(テスト形式_中級編)</li> <li>41 総合問題演習⑤(テスト形式_中級編)</li> <li>42 総合問題演習⑥(テスト形式_中級編)</li> <li>43 総合問題演習⑥(テスト形式_中級編)</li> <li>44 総合問題演習⑦(テスト形式_中級編)</li> <li>45 総合問題演習⑦(テスト形式_中級編)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級簿記総合Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	90時間(3単位)
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級の応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記総まとめ①(応用編) 2 商業簿記総まとめ②(応用編) 3 商業簿記総まとめ③(応用編) 4 商業簿記総まとめ④(応用編) 5 商業簿記総まとめ⑤(応用編) 6 商業簿記総まとめ⑥(応用編) 7 商業簿記総まとめ⑦(応用編) 8 商業簿記総まとめ⑧(応用編) 9 商業簿記総まとめ⑨(応用編) 10 商業簿記総まとめ⑩(応用編) 11 商業簿記総まとめ⑪(応用編) 12 商業簿記総まとめ⑫(応用編) 13 工業簿記・原価計算総まとめ①(応用編) 14 工業簿記・原価計算総まとめ②(応用編) 15 工業簿記・原価計算総まとめ③(応用編) 16 工業簿記・原価計算総まとめ④(応用編) 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤(応用編) 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥(応用編) 19 総合問題対策①(商業簿記と工業簿記_応用編) 20 総合問題対策②(商業簿記と工業簿記_応用編) 21 総合問題対策③(商業簿記と工業簿記_応用編) 22 総合問題対策④(商業簿記と工業簿記_応用編) 23 総合問題対策⑤(商業簿記と工業簿記_応用編) 24 総合問題対策⑥(商業簿記と工業簿記_応用編) 25 総合問題対策⑦(商業簿記と工業簿記_応用編) 26 総合問題対策⑧(商業簿記と工業簿記_応用編) 27 総合問題対策⑨(商業簿記と工業簿記_応用編) 28 総合問題演習①(テスト形式_応用編) 29 総合問題演習①(テスト形式_応用編) 30 総合問題演習①(テスト形式_応用編) 31 総合問題演習②(テスト形式_応用編) 32 総合問題演習②(テスト形式_応用編) 33 総合問題演習②(テスト形式_応用編) 34 総合問題演習③(テスト形式_応用編) 35 総合問題演習③(テスト形式_応用編) 36 総合問題演習③(テスト形式_応用編) 37 総合問題演習④(テスト形式_応用編) 38 総合問題演習④(テスト形式_応用編) 39 総合問題演習④(テスト形式_応用編) 40 総合問題演習⑤(テスト形式_応用編) 41 総合問題演習⑤(テスト形式_応用編) 42 総合問題演習⑥(テスト形式_応用編) 43 総合問題演習⑥(テスト形式_応用編) 44 総合問題演習⑦(テスト形式_応用編) 45 総合問題演習⑦(テスト形式_応用編)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Excel基礎
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ワークシートやブックの作成と管理①</li> <li>2 ワークシートやブックの作成と管理②</li> <li>3 セルやセル範囲のデータの管理①</li> <li>4 セルやセル範囲のデータの管理②</li> <li>5 テーブルの作成①</li> <li>6 テーブルの作成②</li> <li>7 テーブルの作成③</li> <li>8 関数を使用してのデータ集計①</li> <li>9 関数を使用してのデータ集計②</li> <li>10 関数を使用してのデータ集計③</li> <li>11 関数を使用しての条件付き計算④</li> <li>12 関数を使用しての条件付き計算⑤</li> <li>13 関数を使用しての条件付き計算⑥</li> <li>14 関数を使用した文字列の整形や変更①</li> <li>15 関数を使用した文字列の整形や変更②</li> <li>16 関数を使用した文字列の整形や変更③</li> <li>17 グラフの作成①</li> <li>18 グラフの作成②</li> <li>19 グラフの作成③</li> <li>20 グラフの書式設定①</li> <li>21 グラフの書式設定②</li> <li>22 グラフの書式設定③</li> <li>23 グラフの書式設定④</li> <li>24 グラフの書式設定⑤</li> <li>25 オブジェクトの挿入や書式設定①</li> <li>26 オブジェクトの挿入や書式設定②</li> <li>27 オブジェクトの挿入や書式設定③</li> <li>28 オブジェクトの挿入や書式設定④</li> <li>29 オブジェクトの挿入や書式設定⑤</li> <li>30 オブジェクトの挿入や書式設定⑥</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ライフプランニング概論 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	健康保険や公的年金等に関する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 FPとライフプランニング</li> <li>2 教育・住宅取得資金計画</li> <li>3 社会保険①</li> <li>4 社会保険②</li> <li>5 公的年金制度の概要①</li> <li>6 公的年金制度の概要②</li> <li>7 老後の生活資金設計と公的年金①</li> <li>8 老後の生活資金設計と公的年金②</li> <li>9 公的年金における障害給付</li> <li>10 公的年金における遺族給付</li> <li>11 公的年金制度の共通事項</li> <li>12 企業年金・自営業者のための年金</li> <li>13 まとめ 総復習</li> <li>14 まとめ 総復習</li> <li>15 確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	リスク管理概論 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	保険制度に関する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保険制度全般</li> <li>2 生命保険の概略①</li> <li>3 生命保険の概略②</li> <li>4 生命保険商品の種類と内容①</li> <li>5 生命保険商品の種類と内容②</li> <li>6 損害保険の概略</li> <li>7 損害保険商品の種類と内容①</li> <li>8 損害保険商品の種類と内容②</li> <li>9 個人の契約に関する税金①</li> <li>10 個人の契約に関する税金②</li> <li>11 法人の契約に関する税金</li> <li>12 第三分野の保険・共済</li> <li>13 まとめ 総復習</li> <li>14 まとめ 総復習</li> <li>15 確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	金融資産運用設計概論 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	金融資産、経済等に関連する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 マーケット環境の理解①</li> <li>2 マーケット環境の理解②</li> <li>3 預貯金等</li> <li>4 債券①</li> <li>5 債券②</li> <li>6 株式①</li> <li>7 株式②</li> <li>8 投資信託①</li> <li>9 投資信託②</li> <li>10 金融派生商品、ポートフォリオ運用</li> <li>11 金融商品と税金、セーフティネット</li> <li>12 関連法規</li> <li>13 まとめ 総復習</li> <li>14 まとめ 総復習</li> <li>15 確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容																														
授業科目	タックスプランニング概論 I																														
実務家教員																															
学部・学科	ビジネス学科2年制																														
履修年次	1年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	選択																														
授業方法	講義及び演習																														
授業時間	30時間(1単位)																														
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)																														
授業概要	所得税を中心に専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ。																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>税金の分類と計算体系、所得税の仕組み</td></tr> <tr><td>2</td><td>各種所得の内容①</td></tr> <tr><td>3</td><td>各種所得の内容②</td></tr> <tr><td>4</td><td>各種所得の内容③</td></tr> <tr><td>5</td><td>各種所得の内容④</td></tr> <tr><td>6</td><td>各種所得の内容⑤</td></tr> <tr><td>7</td><td>課税標準の計算</td></tr> <tr><td>8</td><td>所得控除①</td></tr> <tr><td>9</td><td>所得控除②</td></tr> <tr><td>10</td><td>所得控除③</td></tr> <tr><td>11</td><td>税額控除</td></tr> <tr><td>12</td><td>確定申告、青色申告</td></tr> <tr><td>13</td><td>まとめ 総復習</td></tr> <tr><td>14</td><td>まとめ 総復習</td></tr> <tr><td>15</td><td>確認テスト</td></tr> </table>	1	税金の分類と計算体系、所得税の仕組み	2	各種所得の内容①	3	各種所得の内容②	4	各種所得の内容③	5	各種所得の内容④	6	各種所得の内容⑤	7	課税標準の計算	8	所得控除①	9	所得控除②	10	所得控除③	11	税額控除	12	確定申告、青色申告	13	まとめ 総復習	14	まとめ 総復習	15	確認テスト
1	税金の分類と計算体系、所得税の仕組み																														
2	各種所得の内容①																														
3	各種所得の内容②																														
4	各種所得の内容③																														
5	各種所得の内容④																														
6	各種所得の内容⑤																														
7	課税標準の計算																														
8	所得控除①																														
9	所得控除②																														
10	所得控除③																														
11	税額控除																														
12	確定申告、青色申告																														
13	まとめ 総復習																														
14	まとめ 総復習																														
15	確認テスト																														
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																														
備考																															

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	不動産運用設計概論 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	不動産に関連する法律や規制など専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語や法律を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 不動産の見方</li> <li>2 不動産の取引①</li> <li>3 不動産の取引②</li> <li>4 不動産の取引③</li> <li>5 不動産に関する法令上の制限①</li> <li>6 不動産に関する法令上の制限②</li> <li>7 不動産に関する法令上の制限③</li> <li>8 不動産に関する法令上の制限④</li> <li>9 不動産に係る税金①</li> <li>10 不動産に係る税金②</li> <li>11 不動産に係る税金③、不動産の有効活用の方法</li> <li>12 まとめ 総復習</li> <li>13 まとめ 総復習</li> <li>14 まとめ 総復習</li> <li>15 確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	相続・事業継承設計概論 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	相続・贈与等に関連する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 相続と法律①</li> <li>2 相続と法律②</li> <li>3 贈与と法律</li> <li>4 贈与と税金①</li> <li>5 贈与と税金②</li> <li>6 相続と税金①</li> <li>7 相続と税金②</li> <li>8 相続と税金③</li> <li>9 財産の評価(不動産)①</li> <li>10 財産の評価(不動産)②</li> <li>11 財産の評価(不動産)③</li> <li>12 財産の評価(金融資産)</li> <li>13 相続・事業承継対策</li> <li>14 まとめ 総復習</li> <li>15 確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	事務キャリアデザイン I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	事務職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	事務職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事務職に適したスーツの着こなし</li> <li>2 事務職に適した身だしなみ</li> <li>3 敬語の使い方</li> <li>4 事務職で良く聞かれる質疑応答①</li> <li>5 事務職で良く聞かれる質疑応答②</li> <li>6 筆記試験とは(一般常識試験)①</li> <li>7 筆記試験とは(一般常識試験)②</li> <li>8 筆記試験とは(適性検査試験)①</li> <li>9 筆記試験とは(適性検査試験)②</li> <li>10 作文の目的・形式と内容①</li> <li>11 作文の目的・形式と内容②</li> <li>12 作文の実践テクニック①</li> <li>13 作文の実践テクニック②</li> <li>14 作文の実践テクニック③</li> <li>15 作文の実践テクニック④</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	事務キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	事務職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	事務職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 仕事選びの基準</li> <li>2 求人票からの情報収集</li> <li>3 会社四季報、新聞からの情報収集①</li> <li>4 会社四季報、新聞からの情報収集②</li> <li>5 総合職と一般職</li> <li>6 事務職職種研究①</li> <li>7 事務職職種研究②</li> <li>8 事務職職種研究③</li> <li>9 事務職職種研究④</li> <li>10 事務職職種研究⑤</li> <li>11 事務職への志望理由①</li> <li>12 事務職への志望理由②</li> <li>13 事務職への志望理由③</li> <li>14 事務職への志望理由④</li> <li>15 事務職への志望理由⑤</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザイン I
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	販売・接客・企画職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	販売・接客・企画職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	民間企業にて営業・販売の実務経験を持つ教員による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 販売・接客・企画職に適したスーツの着こなし</li> <li>2 販売・接客・企画職に適した身だしなみ</li> <li>3 敬語の使い方</li> <li>4 販売・接客・企画職で良く聞かれる質疑応答①</li> <li>5 販売・接客・企画職で良く聞かれる質疑応答②</li> <li>6 筆記試験とは(一般常識試験)①</li> <li>7 筆記試験とは(一般常識試験)②</li> <li>8 筆記試験とは(適性検査試験)①</li> <li>9 筆記試験とは(適性検査試験)②</li> <li>10 作文の目的・形式と内容①</li> <li>11 作文の目的・形式と内容②</li> <li>12 作文の実践テクニック①</li> <li>13 作文の実践テクニック②</li> <li>14 作文の実践テクニック③</li> <li>15 作文の実践テクニック④</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅡ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	販売・接客・企画職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	販売・接客・企画職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	配布プリント・資料
特記	民間企業にて営業・販売の実務経験を持つ教員による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 仕事選びの基準</li> <li>2 求人票からの情報収集</li> <li>3 会社四季報、新聞からの情報収集①</li> <li>4 会社四季報、新聞からの情報収集②</li> <li>5 総合職と一般職</li> <li>6 販売・接客・企画職職種研究①</li> <li>7 販売・接客・企画職職種研究②</li> <li>8 販売・接客・企画職職種研究③</li> <li>9 販売・接客・企画職職種研究④</li> <li>10 販売・接客・企画職職種研究⑤</li> <li>11 販売・接客・企画職への志望理由①</li> <li>12 販売・接客・企画職への志望理由②</li> <li>13 販売・接客・企画職への志望理由③</li> <li>14 販売・接客・企画職への志望理由④</li> <li>15 販売・接客・企画職への志望理由⑤</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	言語知識(日本語) I		
実務家教員			
学部・学科	ビジネス学科2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	180時間(6単位)		
授業コマ数	90コマ(1コマ90分)		
授業概要	日本語の言語知識(文字、語彙、文法)を学び、コミュニケーション能力(読解、聴解)を養います。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	ビジネスに必要な日本語コミュニケーション能力の基礎が身に付いている。		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	コミュニケーション能力養成 自己紹介と本当の自分① 読む前に(会話・討論)・読んでみよう(大意を掴む)	
	2	コミュニケーション能力養成 自己紹介と本当の自分② 内容を確認しよう(詳細を掴む)	
	3	コミュニケーション能力養成 自己紹介と本当の自分③ 意見を述べよう(重要表現)	
	4	コミュニケーション能力養成 自己紹介と本当の自分④ 読んだあとで(発展学習)	
	5	コミュニケーション能力養成 自己紹介と本当の自分⑤ まとめ(文字・語彙練習)	
	6	コミュニケーション能力養成 若者の自己評価① 読む前に(会話・討論)・読んでみよう(大意を掴む)	
	7	コミュニケーション能力養成 若者の自己評価② 内容を確認しよう(詳細を掴む)	
	8	コミュニケーション能力養成 若者の自己評価③ 意見を述べよう(重要表現)	
	9	コミュニケーション能力養成 若者の自己評価④ 読んだあとで(発展学習)まとめ(文字・語彙練習)	
	10	コミュニケーション能力養成 若者の自己評価⑤ まとめ(文字・語彙練習)	
	11	コミュニケーション能力養成 ジェンダーを考える① 読む前に(会話・討論)・読んでみよう(大意を掴む)	
	12	コミュニケーション能力養成 ジェンダーを考える② 内容を確認しよう(詳細を掴む)	
	13	コミュニケーション能力養成 ジェンダーを考える③ 意見を述べよう(重要表現)	
	14	コミュニケーション能力養成 ジェンダーを考える④ 読んだあとで(発展学習)	
	15	コミュニケーション能力養成 ジェンダーを考える⑤ まとめ(文字・語彙練習)	
	16	コミュニケーション能力養成 ことばと文化① 読む前に(会話・討論)・読んでみよう(大意を掴む)	
	17	コミュニケーション能力養成 ことばと文化② 内容を確認しよう(詳細を掴む)	
	18	コミュニケーション能力養成 ことばと文化③ 意見を述べよう(重要表現)	
	19	コミュニケーション能力養成 ことばと文化④ 読んだあとで(発展学習)	
	20	コミュニケーション能力養成 ことばと文化⑤ まとめ(文字・語彙練習)	
	21	コミュニケーション能力養成 心と体のバランス① 読む前に(会話・討論)・読んでみよう(大意を掴む)	
	22	コミュニケーション能力養成 心と体のバランス② 内容を確認しよう(詳細を掴む)	
	23	コミュニケーション能力養成 心と体のバランス③ 意見を述べよう(重要表現)	
	24	コミュニケーション能力養成 心と体のバランス④ 読んだあとで(発展学習)	
	25	コミュニケーション能力養成 心と体のバランス⑤ まとめ(文字・語彙練習)	
	26	コミュニケーション能力養成 働くということ① 読む前に(会話・討論)・読んでみよう(大意を掴む)	
	27	コミュニケーション能力養成 働くということ② 内容を確認しよう(詳細を掴む)	
	28	コミュニケーション能力養成 働くということ③ 意見を述べよう(重要表現)	
	29	コミュニケーション能力養成 働くということ④ 読んだあとで(発展学習)	
	30	コミュニケーション能力養成 働くということ⑤ まとめ(文字・語彙練習)	
	31	文字・語彙・文法定例試験①	
	32	文字・語彙・文法定例試験②	
	33	文字・語彙・文法定例試験③	
	34	文字・語彙・文法定例試験④	
	35	文字・語彙・文法定例試験⑤	
	36	聴解 実戦練習(課題・ポイント・概要理解、発話発現、即時応答)①	
	37	聴解 実戦練習(課題・ポイント・概要理解、発話発現、即時応答)②	

	38	聴解 実戦練習(課題・ポイント・概要理解、発話発現、即時応答)③
	39	聴解 模擬試験①
	40	聴解 模擬試験②
	41	復習演習①
	42	復習演習②
	43	復習演習③
	44	復習演習④
	45	復習演習⑤
	46	文字・語彙・文法問題演習①
	47	文字・語彙・文法問題演習②
	48	文字・語彙・文法問題演習③
	49	文字・語彙・文法問題演習④
	50	文字・語彙・文法問題演習⑤
	51	文字・語彙・文法問題演習⑥
	52	文字・語彙・文法問題演習⑦
	53	文字・語彙・文法問題演習⑧
	54	文字・語彙・文法問題演習⑨
	55	文字・語彙・文法問題演習⑩
	56	文字・語彙・文法問題演習⑪
	57	文字・語彙・文法問題演習⑫
	58	文字・語彙・文法問題演習⑬
	59	文字・語彙・文法問題演習⑭
	60	文字・語彙・文法問題演習⑮
	61	文字・語彙・文法問題演習⑯
	62	文字・語彙・文法問題演習⑰
	63	文字・語彙・文法問題演習⑱
	64	文字・語彙・文法問題演習⑲
	65	文字・語彙・文法問題演習⑳
	66	文字・語彙・文法問題演習㉑
	67	文字・語彙・文法問題演習㉒
授業計画	68	文字・語彙・文法問題演習㉓
	69	文字・語彙・文法問題演習㉔
	70	文字・語彙・文法問題演習㉕
	71	文字・語彙・文法問題演習㉖
	72	文字・語彙・文法問題演習㉗
	73	文字・語彙・文法問題演習㉘
	74	文字・語彙・文法問題演習㉙
	75	文字・語彙・文法問題演習㉚
	76	模試と対策① 第1回文字・語彙・文法
	77	模試と対策① 第2回文字・語彙・文法
	78	模試と対策① 第1回聴解
	79	模試と対策① 第2回聴解
	80	模試と対策② 第1回文字・語彙・文法
	81	模試と対策② 第2回文字・語彙・文法
	82	模試と対策② 第1回聴解
	83	模試と対策② 第2回聴解
	84	模試と対策振り返り
	85	模試第1回 言語知識・読解
	86	模試第1回 聴解、言語知識解説
	87	模試第2回 言語知識・読解
	88	模試第2回 聴解、言語知識解説
	89	模試第3回 言語知識・読解
	90	模試第3回 聴解、言語知識解説
成績評価方法 (試験実施方法)		確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	言語知識(日本語)Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	180時間(6単位)
授業コマ数	90コマ(1コマ90分)
授業概要	日本語の言語知識(文字、語彙、文法)を学び、コミュニケーション能力(読解、聴解)を養います。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	ビジネスに必要な日本語コミュニケーション能力の基礎が身に付いている。
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 コミュニケーション能力養成 日本語の多様性① 読む前に(会話・討論)・読んでみよう(大意を掴む)
	2 コミュニケーション能力養成 日本語の多様性② 内容を確認しよう(詳細を掴む)
	3 コミュニケーション能力養成 日本語の多様性③ 意見を述べよう(重要表現)
	4 コミュニケーション能力養成 日本語の多様性④ 読んだあとで(発展学習)
	5 コミュニケーション能力養成 日本語の多様性⑤ まとめ(文字・語彙練習)
	6 コミュニケーション能力養成 環境のためにできること① 読む前に(会話・討論)・読んでみよう(大意を掴む)
	7 コミュニケーション能力養成 環境のためにできること② 内容を確認しよう(詳細を掴む)
	8 コミュニケーション能力養成 環境のためにできること③ 意見を述べよう(重要表現)
	9 コミュニケーション能力養成 環境のためにできること④ 読んだあとで(発展学習)
	10 コミュニケーション能力養成 環境のためにできること⑤ まとめ(文字・語彙練習)
	11 コミュニケーション能力養成 食の共同性① 読む前に(会話・討論)・読んでみよう(大意を掴む)
	12 コミュニケーション能力養成 食の共同性② 内容を確認しよう(詳細を掴む)
	13 コミュニケーション能力養成 食の共同性③ 意見を述べよう(重要表現)
	14 コミュニケーション能力養成 食の共同性④ 読んだあとで(発展学習)
	15 コミュニケーション能力養成 食の共同性⑤ まとめ(文字・語彙練習)
	16 コミュニケーション能力養成 笑いのちから① 読む前に(会話・討論)・読んでみよう(大意を掴む)
	17 コミュニケーション能力養成 笑いのちから② 内容を確認しよう(詳細を掴む)
	18 コミュニケーション能力養成 笑いのちから③ 意見を述べよう(重要表現)
	19 コミュニケーション能力養成 笑いのちから④ 読んだあとで(発展学習)
	20 コミュニケーション能力養成 笑いのちから⑤ まとめ(文字・語彙練習)
	21 文字・語彙・文法定例試験①
	22 文字・語彙・文法定例試験②
	23 文字・語彙・文法定例試験③
	24 文字・語彙・文法定例試験④
	25 文字・語彙・文法定例試験⑤
	26 聴解 実戦練習(課題・ポイント・概要理解、発話発現、即時応答)①
	27 聴解 実戦練習(課題・ポイント・概要理解、発話発現、即時応答)②
	28 聴解 実戦練習(課題・ポイント・概要理解、発話発現、即時応答)③
	29 聴解 模擬試験①
	30 聴解 模擬試験②
	31 復習演習①
	32 復習演習②
	33 復習演習③
	34 復習演習④
	35 復習演習⑤
	36 日本語総合力養成 第1課 しろ 〈初めての雪〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉
	37 日本語総合力養成 第1課 しろ 〈初めての雪〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉

	38	日本語総合力養成 第1課 する 〈初めての雪〉 5. 〈まとめましょう〉 6. 〈使いましょう〉
	39	日本語総合力養成 第1課 する 〈初めての雪〉 7. 〈話しましょう〉 8. 〈漢字を練習しましょう〉
	40	日本語総合力養成 第1課 する 〈初めての雪〉 復習
	41	日本語総合力養成 第2課 いたわる 〈春の一日〉 1. 〈新しい言葉〉 2. 〈一緒に考えましょう〉
	42	日本語総合力養成 第2課 いたわる 〈春の一日〉 3. 〈読みましょう〉 4. 〈答えましょう〉
	43	日本語総合力養成 第2課 いたわる 〈春の一日〉 5. 〈まとめましょう〉 6. 〈使いましょう〉
	44	日本語総合力養成 第2課 いたわる 〈春の一日〉 7. 〈話しましょう〉 8. 〈漢字を練習しましょう〉
	45	日本語総合力養成 第2課 いたわる 〈春の一日〉 復習
	46	文字・語彙・文法問題演習①
	47	文字・語彙・文法問題演習②
	48	文字・語彙・文法問題演習③
	49	文字・語彙・文法問題演習④
	50	文字・語彙・文法問題演習⑤
	51	文字・語彙・文法問題演習⑥
	52	文字・語彙・文法問題演習⑦
	53	文字・語彙・文法問題演習⑧
	54	文字・語彙・文法問題演習⑨
	55	文字・語彙・文法問題演習⑩
	56	文字・語彙・文法問題演習⑪
	57	文字・語彙・文法問題演習⑫
	58	文字・語彙・文法問題演習⑬
	59	文字・語彙・文法問題演習⑭
	60	文字・語彙・文法問題演習⑮
	61	文字・語彙・文法問題演習⑯
	62	文字・語彙・文法問題演習⑰
	63	文字・語彙・文法問題演習⑱
	64	文字・語彙・文法問題演習⑲
	65	文字・語彙・文法問題演習⑳
	66	文字・語彙・文法問題演習㉑
	67	文字・語彙・文法問題演習㉒
	68	文字・語彙・文法問題演習㉓
	69	文字・語彙・文法問題演習㉔
	70	文字・語彙・文法問題演習㉕
	71	文字・語彙・文法問題演習㉖
	72	文字・語彙・文法問題演習㉗
	73	文字・語彙・文法問題演習㉘
	74	文字・語彙・文法問題演習㉙
	75	文字・語彙・文法問題演習㉚
	76	模試と対策① 第1回文字・語彙・文法
	77	模試と対策① 第2回文字・語彙・文法
	78	模試と対策① 第1回聴解
	79	模試と対策① 第2回聴解
	80	模試と対策② 第1回文字・語彙・文法
	81	模試と対策② 第2回文字・語彙・文法
	82	模試と対策② 第1回聴解
	83	模試と対策② 第2回聴解
	84	模試と対策振り返り
	85	模試第1回 言語知識・読解
	86	模試第1回 聴解、言語知識解説
	87	模試第2回 言語知識・読解
	88	模試第2回 聴解、言語知識解説
	89	模試第3回 言語知識・読解
	90	模試第3回 聴解、言語知識解説
授業計画		
成績評価方法 (試験実施方法)		確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考		



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	旅行マーケット I
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）
授業概要	旅行マーケティングの基礎知識を学び、簡単な旅行プランを企画する
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	自分たちで旅行のプランを企画できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	旅行会社で営業の実務経験を持つ教員による演習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 マーケティングの基本</li> <li>2 観光マーケットとは2</li> <li>3 観光マーケットとは3</li> <li>4 旅行商品の構成要素1</li> <li>5 旅行商品の構成要素2</li> <li>6 ツアープランニングの基礎知識1</li> <li>7 ツアープランニングの基礎知識2</li> <li>8 ツアープランニングの基礎知識3</li> <li>9 首都圏の名所調査1</li> <li>10 首都圏の名所調査2</li> <li>11 首都圏の名所調査3</li> <li>12 ツアー企画1</li> <li>13 ツアー企画2</li> <li>14 ツアー企画3</li> <li>15 ツアー企画4</li> <li>16 ツアー企画5</li> <li>17 ツアー企画内容確認</li> <li>18 ツアー企画内容修正1</li> <li>19 ツアー企画内容修正2</li> <li>20 ツアー企画内容修正3</li> <li>21 ツアー企画内容再確認</li> <li>22 ツアー企画プレゼンテーション準備1</li> <li>23 ツアー企画プレゼンテーション準備2</li> <li>24 ツアー企画プレゼンテーション準備3</li> <li>25 ツアー企画プレゼンテーション準備4</li> <li>26 ツアー企画プレゼンテーション準備5</li> <li>27 ツアー企画プレゼンテーション</li> <li>28 現地下見</li> <li>29 当日のスケジュール、役割分担作成</li> <li>30 最終確認</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 企画内容確認およびプレゼンテーションの内容で評価する。
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	国内旅行基礎（業法）Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	国内旅行業務取扱管理者試験の旅行業法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	旅行業法が理解できる
教科書	教材・問題集
特記	旅行会社で営業の実務経験を持つ教員による講義
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 総則</li> <li>2 登録制度</li> <li>3 営業保証金制度</li> <li>4 旅行業務取扱管理者</li> <li>5 旅行業務取扱料金</li> <li>6 旅行業約款・標識</li> <li>7 取引条件の説明と書面の交付</li> <li>8 外務員・広告の表示・誇大広告の禁止</li> <li>9 旅程管理・受託契約</li> <li>10 旅行者代理業</li> <li>11 禁止行為・登録の取り消し等</li> <li>12 旅行サービス手配業</li> <li>13 旅行業協会（法定業務）</li> <li>14 旅行業協会（苦情解決業務）</li> <li>15 旅行業協会（弁済業務保証金制度）</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	国内旅行基礎(約款) I
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	国内旅行業務取扱管理者試験の旅行業約款について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	旅行業約款が理解できる
教科書	教材・問題集
特記	旅行会社で営業の実務経験を持つ教員による講義
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 総則</li> <li>2 契約の成立、契約書面、確定書面</li> <li>3 契約の変更</li> <li>4 旅行者の解除1</li> <li>5 旅行者の解除2</li> <li>6 手配旅行契約の解除権、旅行代金の払戻し</li> <li>7 団体・グループ、旅程管理</li> <li>8 責任</li> <li>9 旅程保証</li> <li>10 特別補償規定・旅行相談契約</li> <li>11 国内航空運送約款</li> <li>12 モデル宿泊約款</li> <li>13 JR旅客営業規則</li> <li>14 貸し切りバス約款</li> <li>15 フェリー標準運送約款</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	国内旅行基礎（地理）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	国内旅行業務取扱管理者試験の国内地理について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	国内の観光地理が理解できる
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 北海道</li> <li>2 東北地方</li> <li>3 関東地方</li> <li>4 甲信越地方</li> <li>5 北陸地方</li> <li>6 中部地方</li> <li>7 近畿地方</li> <li>8 中国・四国地方</li> <li>9 九州・沖縄地方</li> <li>10 日本の国立公園と世界遺産</li> <li>11 日本の代表的な温泉</li> <li>12 日本の自然景勝地1</li> <li>13 日本の自然景勝地2</li> <li>14 日本の代表的な建造物について</li> <li>15 日本の主要な観光地情報</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	国内旅行基礎（運賃）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	国内旅行業務取扱管理者試験の国内運賃・料金計算について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	国内の運賃・料金計算ができるようになる
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 JR運賃・料金計算1</li> <li>2 JR運賃・料金計算2</li> <li>3 運賃計算の基礎－連続運賃計算・特例</li> <li>4 割引運賃</li> <li>5 料金計算の基礎・特別急行料金</li> <li>6 グリーン料金-乗継割引</li> <li>7 通し計算-東海道・山陽新幹線</li> <li>8 料金計算の基礎・特別急行料金</li> <li>9 九州新幹線の料金-山形・秋田新幹線の料金</li> <li>10 国内航空運賃・料金計算1</li> <li>11 国内航空運賃・料金計算2</li> <li>12 宿泊料金計算</li> <li>13 貸切バス運賃・料金計算</li> <li>14 フェリー運賃・料金計算</li> <li>15 問題演習</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	国内旅行応用 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	国内旅行業務取扱管理者試験の問題演習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	国内旅行業務取扱管理者試験に合格できる知識を得る
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	1 本科統一模擬試験 2 過去問演習 H26 3 H29－公開模試 4 過去問演習 H26(2回転目) 5 H29－直前模試 6 H29－公開模試(2回転目) 7 過去問演習 H27 8 H29－直前模試(2回転目) 9 過去問演習 H27(2回転目) 10 過去問演習 H28 11 H29－直前模試(3回転目) 12 過去問演習 H28(2回転目) 13 H29－公開模試(3回転目) 14 過去問演習 H29 15 過去問演習 H30 16 H30－公開模試 17 過去問演習 H29(2回転目) 18 H30－公開模試(2回転目) 19 過去問演習 H27(3回転目) 20 過去問演習 H28(3回転目) 21 過去問演習 H29(3回転目) 22 地理対策 トレーニング問題集 23 過去問演習 H30(2回転目) 24 地理対策 トレーニング問題集 25 H30－公開模試(3回転目) 26 地理対策 トレーニング問題集 27 R1－公開模試 28 過去問演習 H28(4回転目) 29 過去問演習 H29(4回転目) 30 R1－公開模試(2回転目)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	総合旅行基礎（出入国法令）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	総合旅行基礎授業（10月から3月）
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	試験に向け出入国法令の知識を身につける
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 渡航手続</li> <li>2 旅券手続（旅券・新規発給申請）</li> <li>3 旅券手続（申請の変則・例外的扱い）</li> <li>4 旅券手続（その他の申請・受領）</li> <li>5 旅券手続の問題演習</li> <li>6 予防接種</li> <li>7 査証手続</li> <li>8 外貨手続</li> <li>9 外国人の日本出入国</li> <li>10 予防接種・査証手続・外貨手続・外国人の日本出入国の問題演習</li> <li>11 日本人の出入国手続（日本の出国手続き）</li> <li>12 日本人の出入国手続（外国での入出国手続き）</li> <li>13 日本人の出入国手続（日本の入国手続き）</li> <li>14 日本人の出入国手続（税関手続き）</li> <li>15 日本人の出入国手続問題演習</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	総合旅行基礎（実務）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	総合旅行基礎授業（10月から3月）
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	試験に向け実務の知識を身につける
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 海外旅行の基礎知識</li> <li>2 時差（～GMTへの換算）</li> <li>3 時差（2地点間の時差）</li> <li>4 時差（相手の現地時間）</li> <li>5 時差（2地点間の所要時間）</li> <li>6 航空（都市コード・空港コード）</li> <li>7 航空（OAG航空時刻表の見方）</li> <li>8 航空（MCTに適合する乗継便）</li> <li>9 鉄道</li> <li>10 バス・船舶</li> <li>11 ホテル・食事・その他</li> <li>12 海外旅行の形態・販売手法</li> <li>13 渡航手続・最終案内</li> <li>14 添乗業務</li> <li>15 海外旅行業界の概略</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	総合旅行基礎（運賃、地理）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	総合旅行基礎授業（10月から3月）
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	試験に向け運賃、地理の知識を身につける
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国際航空運賃（IATAと国際航空運賃）</li> <li>2 国際航空運賃（運賃計算の基本）</li> <li>3 国際航空運賃（運賃計算①）</li> <li>4 国際航空運賃（運賃計算②）</li> <li>5 国際航空運賃（キャリア運賃①）</li> <li>6 国際航空運賃（キャリア運賃②）</li> <li>7 海外観光地理（東アジア）</li> <li>8 海外観光地理（東南アジア）</li> <li>9 海外観光地理（西ヨーロッパ①）</li> <li>10 海外観光地理（西ヨーロッパ②）</li> <li>11 海外観光地理（東ヨーロッパ）</li> <li>12 海外観光地理（南北アメリカ①）</li> <li>13 海外観光地理（南北アメリカ②）</li> <li>14 海外観光地理（オセアニア）</li> <li>15 海外観光地理（アフリカ・中近東）</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	国内観光資源応用 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	国内地理検定対策	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	検定試験に向けて知識を深める	
教科書	教材・問題集	
特記		
授業計画	1	地方別講義①(北海道)
	2	問題演習(過去問Ⅰ 1巡目)
	3	地方別講義②(東北地方)
	4	問題演習(過去問Ⅱ 1巡目)
	5	地方別講義③(関東地方)
	6	問題演習(過去問Ⅲ 1巡目)
	7	地方別講義④(中部・北陸地方)
	8	問題演習(過去問Ⅳ 1巡目)
	9	地方別講義⑤(近畿地方)
	10	問題演習(過去問Ⅴ 1巡目)
	11	地方別講義⑥(中国・四国地方)
	12	問題演習(過去問Ⅵ 1巡目)
	13	地方別講義⑦(九州地方・沖縄)
	14	問題演習(過去問Ⅶ 1巡目)
	15	問題演習(過去問Ⅷ 1巡目)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	国内観光資源応Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	国内地理検定対策
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	検定試験に向けて知識を深める
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	1 資源別講義①(温泉) 2 問題演習(過去問Ⅰ 2巡目) 3 資源別講義②(半島・岬) 4 問題演習(過去問Ⅱ 2巡目) 5 資源別講義③(その他自然①) 6 問題演習(過去問Ⅲ 2巡目) 7 資源別講義④(その他自然②) 8 問題演習(過去問Ⅳ 2巡目) 9 資源別講義⑤(土産・特産物) 10 問題演習(過去問Ⅴ 2巡目) 11 資源別講義⑥(世界遺産・国立公園) 12 問題演習(過去問Ⅵ 2巡目) 13 資源別講義⑦(行事・祭り) 14 問題演習(過去問Ⅶ 2巡目) 15 問題演習(過去問Ⅷ 2巡目)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ツアープランニングI
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）
授業概要	ツアープランニングの方法を学ぶ
授業の進め方	基本的なことを講義したのち実際にツアーを企画する
達成目標	実際にツアープランニングができるようになる
教科書	必要に応じ、旅行パンフレット、時刻表を用いる
特記	旅行会社で営業の実務経験を持つ教員による演習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ツアープランニングとは何か</li> <li>2 旅行商品の構成要素とは</li> <li>3 旅行商品の料金体系</li> <li>4 ツアープランニングの基礎知識1</li> <li>5 ツアープランニングの基礎知識2</li> <li>6 ツアープランニングの基礎知識3</li> <li>7 ツアー候補地調査1</li> <li>8 ツアー候補地調査2</li> <li>9 ツアー候補地決定</li> <li>10 旅行費用調査</li> <li>11 企画書作成</li> <li>12 ツアープランニング演習1</li> <li>13 ツアープランニング演習2</li> <li>14 ツアープランニング演習3</li> <li>15 ツアープランニング演習4</li> <li>16 ツアープランニング演習5</li> <li>17 実地調査</li> <li>18 プレゼンテーション準備1</li> <li>19 プレゼンテーション準備2</li> <li>20 プレゼンテーション準備3</li> <li>21 プレゼンテーション準備4</li> <li>22 プレゼンテーション準備5</li> <li>23 プレゼンテーション準備6</li> <li>24 プレゼンテーション準備7</li> <li>25 プレゼンテーション準備8</li> <li>26 プレゼンテーション準備9</li> <li>27 プレゼンテーション準備10</li> <li>28 プレゼンテーションリハーサル</li> <li>29 プレゼンテーションリハーサル</li> <li>30 プレゼンテーション</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点40% 授業での取組み姿勢、習熟度を評価、発表60% プレゼンテーションでの評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	旅行講演 I
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	15時間（1単位）
授業コマ数	8コマ（1コマ90分）
授業概要	旅行観光業界の業務内容、業界の現在と今後
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	講演を聴講し意識を高め就職活動の糧とする
教科書	配布プリント・資料
特記	旅行会社で営業の実務経験を持つ教員による講義
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 旅行の仕入れとランドオペレーターの仕事</li> <li>2 ヨーロッパの現状について</li> <li>3 求める人物像、企業の取り組み①</li> <li>4 求める人物像、企業の取り組み②</li> <li>5 旅行観光業界、バス会社の業務</li> <li>6 求める人物像、企業の取り組み③</li> <li>7 添乗業務について（会社説明あり）</li> <li>8 今後の旅行業界について</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	旅行講演Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	旅行観光業界の業務内容、業界の現在と今後
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	講演を聴講し意識を高め就職活動の糧とする
教科書	配布プリント・資料
特記	旅行会社で営業の実務経験を持つ教員による演習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日本におけるツーリズム産業の現状と今後</li> <li>2 日本におけるツーリズム産業の現状と今後演習</li> <li>3 仕事紹介：カウンター接客（個人）</li> <li>4 カウンター接客（個人）演習</li> <li>5 仕事紹介：団体旅行営業（法人）</li> <li>6 団体旅行営業（法人）演習</li> <li>7 仕事紹介：添乗業務（国内）</li> <li>8 添乗業務（国内）演習</li> <li>9 仕事紹介：添乗業務（海外）</li> <li>10 添乗業務（海外）演習</li> <li>11 仕事紹介：旅行企画（ツアープラン）</li> <li>12 旅行企画（ツアープラン）演習</li> <li>13 業界に就職するために必要なこと</li> <li>14 業界に求められる人物像</li> <li>15 業界に就職するために必要なこと、人物像について演習</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	鉄道概論 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	15時間(1単位)	
授業コマ数	8コマ(1コマ90分)	
授業概要	鉄道業界知識	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	観光のマーケティング・マネジメントケースで学ぶ観光マーケティングの理論	
教科書	オリジナルレジュメ	
特記		
授業計画	1	マーケティング・マネジメント
	2	観光マーケットと購買行動
	3	競争の分析、観光商品のマネジメント
	4	観光産業におけるマーケティングマネジメント
	5	インバウンドのマーケティング
	6	観光まちづくりのマーケティング
	7	鉄道業界への就職対策①
	8	鉄道業界への就職対策②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ホテル実務 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	H検定B2級対策
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	検定に向けて知識を得る
教科書	協会指定テキスト・問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 世界の観光産業①欧州におけるホテルの発祥と歩み</li> <li>2 世界の観光産業②米国、アジアにおけるホテルの発展</li> <li>3 日本の観光産業①宿泊形態、黎明期について</li> <li>4 日本の観光産業②戦後復興、業界のグローバル化</li> <li>5 ホテルの基本①国際慣習、ホテル産業の分類</li> <li>6 ホテルの基本②ホテル英語</li> <li>7 宿泊部門①宿泊商品の特性、組織と業務役割</li> <li>8 宿泊部門②宿泊約款、利用規則の知識</li> <li>9 料飲部門①制約要件、料飲特性、組織と業務役割</li> <li>10 料飲部門②業種業態知識、食品衛生の知識</li> <li>11 宴会部門①宴会商品の特性、組織と業務の役割</li> <li>12 宴会部門②宴会種類、冠婚葬祭、施設設備備品の知識</li> <li>13 調理部門①調理部門の特性、制約要件、経費面特性</li> <li>14 調理部門②組織と業務役割(宴会調理含む)</li> <li>15 調理部門③西洋料理の知識、顧客志向、食品衛生</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ホテル実務Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	H検定B2級対策	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	検定試験合格	
教科書	協会指定テキスト・問題集	
特記		
授業計画	1	一章「ホテル基礎」集中講義、一章全般を範囲とした確認テスト
	2	二章「宿泊部門」集中講義、二章全般を範囲とした確認テスト
	3	三章「料飲部門」集中講義、三章全般を範囲とした確認テスト
	4	四章「宴会部門」集中講義、四章全般を範囲とした確認テスト
	5	五章「調理部門」集中講義、五章全般を範囲とした確認テスト
	6	過去問①演習、解説、足切りした章の問題演習
	7	過去問②演習、解説、足切りした章の問題演習
	8	過去問③演習、解説、足切りした章の問題演習
	9	過去問④演習、解説、足切りした章の問題演習
	10	過去問⑤演習、解説、足切りした章の問題演習
	11	過去問①演習、解説、問題集からシャッフル問題100問
	12	過去問②演習、解説、問題集からシャッフル問題100問
	13	過去問③演習、解説、問題集からシャッフル問題100問
	14	過去問④演習、解説、問題集からシャッフル問題100問
	15	過去問⑤演習、解説、問題集からシャッフル問題100問
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ホテル接客 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	表現力を上げるための講義・実技指導を行い、コミュニケーション能力を養う
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	立ち居振る舞いやコミュニケーション能力を養い、顧客対応力をアップする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<p>1 基本動作 接遇の心構え・第一印象 お辞儀トレーニング・表情トレーニング</p> <p>2 基本動作 挨拶・お辞儀・分離礼・椅子サービス・立ち方・歩き方</p> <p>3 会話力 コミュニケーション手段・目的、自己紹介を行う</p> <p>4 基本動作 入退室</p> <p>5 会話力 聴き方 コミュニケーションの目的・手段</p> <p>6 会話力 ボイストレーニング1 発声基礎①</p> <p>7 基本動作 電話かけ</p> <p>8 会話力 敬語基礎1 正しい日本語</p> <p>9 会話力 ボイストレーニング2 発声基礎②・敬語演習</p> <p>10 基本動作 サービスマナー お客様の前ではしてはいけないこと</p> <p>11 会話力 敬語基礎2 正しい日本語2 ※敬語テスト1</p> <p>12 会話力 ボイストレーニング3 発声基礎③・敬語演習</p> <p>13 基本動作 サービスマナー ドリンクサービスの基礎 ※敬語テスト2</p> <p>14 基本動作 お皿のサービス</p> <p>15 会話力 ボイストレーニング4 発声基礎④・敬語演習</p> <p>16 基本動作 メモ 会場内でのサービス ※敬語テスト3</p> <p>17 応用動作 館内案内マナー 基礎①</p> <p>18 会話力 ボイストレーニング5・5W2H ナンバリング</p> <p>19 基本動作 結婚式の1日・披露宴の流れを理解する ※敬語テスト4</p> <p>20 応用動作 館内案内マナー 基礎②</p> <p>21 会話力 ボイストレーニング6・AIDMA文章の作成</p> <p>22 応用動作 料飲サービス ※敬語テスト5</p> <p>23 応用動作 館内案内マナー 反復練習</p> <p>24 表現力 ボイストレーニング7・ナンバリング文章の応用</p> <p>25 テスト 料飲サービステスト</p> <p>26 応用動作 館内案内マナー 反復練習(次回テスト)</p> <p>27 表現力 ボイストレーニング8・ナンバリング文章の応用2</p> <p>28 応用動作 館内案内マナーテスト(複数チームに分けて実施)</p> <p>29 応用動作 館内案内マナーテスト(複数チームに分けて実施)</p> <p>30 表現力 ナンバリングを利用した文章作成テスト</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ホテル現場実習 I
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	2学期インターン
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	現場の知識を身につけ就職活動の糧にする
教科書	なし
特記	ホテルに勤務しているホテルスタッフから、宿泊及びサービス対応のポイント、注意点等を学ぶ
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ホテル受け入れ研修</li> <li>2 配属先基礎研修</li> <li>3 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）</li> <li>4 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）</li> <li>5 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）</li> <li>6 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）</li> <li>7 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）</li> <li>8 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）</li> <li>9 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）</li> <li>10 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）</li> <li>11 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）</li> <li>12 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）</li> <li>13 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）</li> <li>14 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）</li> <li>15 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	実習100% 実習先による評価シートの得点で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ホテル現場実習Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）
授業概要	2学期インターン
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	現場の知識を身につけ就職活動の糧にする
教科書	なし
特記	ホテルに勤務しているホテルスタッフから、宿泊及びサービス対応のポイント、注意点等を学ぶ
授業計画	1 ホテル受け入れ研修 2 配属先基礎研修 3 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 4 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 5 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 6 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 7 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 8 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 9 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 10 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 11 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 12 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 13 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 14 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 15 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 16 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 17 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 18 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 19 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 20 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 21 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 22 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 23 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 24 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 25 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 26 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 27 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 28 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 29 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門） 30 OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）
成績評価方法 (試験実施方法)	実習100% 実習先による評価シートの得点で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ホテル講演 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	15時間(1単位)
授業コマ数	8コマ(1コマ90分)
授業概要	外部企業による講演
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	講演を聴講し就職活動の糧とする
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ホテルのおもてなし</li> <li>2 ホテル講座</li> <li>3 テーブルマナー講座</li> <li>4 フロント部門業務について</li> <li>5 料飲部門について</li> <li>6 宿泊部門業務の仕事内容</li> <li>7 ホテル業界で求められる人物像</li> <li>8 会員制ホテルの特徴と今後</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	言語知識(英会話) I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	ネイティブスピーカーとの英会話レッスンで全員が発話しつつ授業を進めていく。
授業の進め方	各種資料とロールプレイングとディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	基本的な英会話ができるようになる
教科書	NEWヘッドウェイビギナーレベル
特記	
授業計画	1 Hello! (Introductions)① 2 Hello! (Introductions)② 3 Your World (Countries)① 4 Your World (Countries)② 5 All about you (Occupations)① 6 All about you (Occupations)② 7 Family and friends (Talking about people you know)① 8 Family and friends (Talking about people you know)② 9 Family and friends (Talking about people you know)③ 10 The way I live (Lifestyle and hobbies)① 11 The way I live (Lifestyle and hobbies)② 12 Every day (Routines)① 13 Every day (Routines)② 14 My favourites (Things you like)① 15 My favourites (Things you like)②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	言語知識(英会話)Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	ネイティブスピーカーとの英会話レッスンで全員が発話しつつ授業を進めていく。
授業の進め方	各種資料とロールプレイングとディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	基本的な英会話ができるようになる
教科書	NEWヘッドウェイビギナーレベル
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 My favourites (Things you like)</li> <li>2 Where I live (Your city and home)①</li> <li>3 Where I live (Your city and home)②</li> <li>4 Times past (Personal history)①</li> <li>5 Times past (Personal history)②</li> <li>6 We had a great time! (Recent past)①</li> <li>7 We had a great time! (Recent past)②</li> <li>8 We had a great time! (Recent past)③</li> <li>9 I can do that! (Ability)①</li> <li>10 I can do that! (Ability)②</li> <li>11 Please and thank you (Offers and responses)①</li> <li>12 Please and thank you (Offers and responses)②</li> <li>13 Please and thank you (Offers and responses)③</li> <li>14 Here and now (Current actions)</li> <li>15 It's time to go! (Farewells)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	英検総合対策 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	英検準二級(4月から9月)
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	1年次10月に受験する検定試験合格を目指す
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 Eiken Grade 5 - 2018 test 2 (handout)</li> <li>2 Eiken Grade 5 - 2018 test 2 (handout)</li> <li>3 Eiken Grade 4 - 2018 test 1 (handout)</li> <li>4 Eiken Grade 4 - 2018 test 1 (handout)</li> <li>5 Eiken Grade 3 - 2019 test 3 (handout)</li> <li>6 Eiken Grade 3 - 2019 test 3 (handout)</li> <li>7 Eiken Pre 2nd Grade 2020 textbooktest 2019-2</li> <li>8 Eiken Pre 2nd Grade 2020 textbooktest 2019-2</li> <li>9 Textbook - test 2019-2</li> <li>10 Textbook - test 2019-2</li> <li>11 Textbook - test 2019-2 interview cards (page 36-39)writing prompt (page 30)</li> <li>12 Textbook - test 2019-2 interview cards (page 36-39)writing prompt (page 30)</li> <li>13 Textbook - test 2019-1</li> <li>14 Textbook - test 2019-1</li> <li>15 Textbook - test 2019-1 interview cards (page 60-63)writing prompt (page 54)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	英検総合対策Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	英検準二級10月受験(10月から11月)	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	1年次10月に受験する検定試験合格を目指す	
教科書	教材・問題集	
特記		
授業計画	1	Textbook - test 2019-2 interview cards (page 36-39)writing prompt (page 30)
	2	Textbook - test 2019-1
	3	Textbook - test 2019-1 interview cards (page 60-63)writing prompt (page 54)
	4	Textbook - test 2018-3
	5	Textbook - test 2018-3 interview cards (page 84-87) writing prompt (page 78)
	6	Textbook - test 2018-3
	7	Textbook - test 2018-3 interview cards (page 84-87) writing prompt (page 78)
	8	Textbook - test 2017-2
	9	Textbook - test 2017-2
	10	Textbook - test 2018-2 interview cards (page 108-111)writing prompt (page 102)
	11	Textbook - test 2018-1
	12	Textbook - test 2018-1 interview cards (page 132-135)writing prompt (page 126)
	13	Textbook - test 2017-3
	14	Textbook - test 2017-3 interview cards (page 154-157)
	15	Final review and Q&A
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	英検総合対策Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	英検二級(1月から3月)
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	2年次に受験する検定試験合格を目指す
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 Eiken Grade 3 2019 test book review</li> <li>2 Eiken Grade 3 2019 test book review</li> <li>3 Eiken Grade pre 2 2019 test book review</li> <li>4 Eiken Grade pre 2 2019 test book review</li> <li>5 Eiken Grade 2 2019 test book introduction</li> <li>6 Eiken Grade 2 2019 test booktest 2018-2</li> <li>7 Textbook - test 2018-2 interview cards (page 38-41)writing prompt (page 32)</li> <li>8 Textbook - test 2018-1</li> <li>9 Textbook - test 2018-1</li> <li>10 Textbook - test 2018-1 interview cards (page 64-67)</li> <li>11 Textbook - test 2018-1 writing prompt (page 58)</li> <li>12 Textbook - test 2017-3</li> <li>13 Textbook - test 2017-3</li> <li>14 Textbook - test 2017-3 interview cards (page 80-93) writing prompt (page 84)</li> <li>15 Textbook - test 2017-2</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	観光英語I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	観光英語3級10月受験(基礎期)
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	1年次10月に受験する検定試験合格を目指す
教科書	協会指定テキスト・問題集
特記	観光英語検定試験 問題と解説3級(CD付)
授業計画	1 Unit1 Complete practice test questions 2 Unit1 go over answers and problem type 3 Unit1 Vocabulary check test 4 Unit2 Complete practice test questions 5 Unit2 go over answers and problem type 6 Unit2 Vocabulary check test 7 Unit3 Complete practice test questions 8 Unit3 go over answers and problem type 9 Unit3 Vocabulary check test 10 Unit4 Complete practice test questions 11 Unit4 go over answers and problem type 12 Unit4 Vocabulary check test 13 Unit5 Complete practice test questions 14 Unit5 go over answers and problem type 15 Unit5 Vocabulary check test 16 Unit6 Complete practice test questions 17 Unit6 go over answers and problem type 18 Unit6 Vocabulary check test 19 Unit7 Complete practice test questions 20 Unit7 go over answers and problem type 21 Unit7 Vocabulary check test 22 Unit8 Complete practice test questions 23 Unit8 go over answers and problem type 24 Unit8 Vocabulary check test 25 Unit9 Complete practice test questions 26 Unit9 go over answers and problem type 27 Unit9 Vocabulary check test 28 Unit10 Complete practice test questions 29 Unit10 go over answers and problem type 30 Unit10 Vocabulary check test
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	観光英語Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	観光英語3級10月受験(答練期)
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	1年次10月に受験する検定試験合格を目指す
教科書	協会指定テキスト・問題集
特記	観光英語検定試験 問題と解説3級(CD付)
授業計画	1 Test 23 - Reading Complete practice test questions 2 Test 23 - Reading discuss the answers and identify target language 3 Test 23 - Reading Vocabulary check test 4 Test 23 - Listening Complete practice test questions 5 Test 23 - Listening discuss the answers and identify target language 6 Test 23 - Listening Vocabulary check test 7 Test 24 - Reading Complete practice test questions 8 Test 24 - Reading discuss the answers and identify target language 9 Test 24 - Reading Vocabulary check test 10 Test 24 - Listening Complete practice test questions 11 Test 24 - Listening discuss the answers and identify target language 12 Test 24 - Listening Vocabulary check test 13 Test 25 - Reading Complete practice test questions 14 Test 25 - Reading discuss the answers and identify target language 15 Test 25 - Reading Vocabulary check test 16 Test 25 - Listening Complete practice test questions 17 Test 25 - Listening discuss the answers and identify target language 18 Test 25 - Listening Vocabulary check test 19 Test 23 - Reading Complete practice test questions 20 Test 23 - Listening discuss the answers and identify target language 21 Test 23 - Reading Vocabulary check test 22 Test 24 - Reading Complete practice test questions 23 Test 24 - Listening discuss the answers and identify target language 24 Test 24 - Reading Vocabulary check test 25 Test 25 - Reading Complete practice test questions 26 Test 25 - Listening discuss the answers and identify target language 27 Test 25 - Reading Vocabulary check test 28 Vocabulary check test 29 Review of topics - student and instructor choice 30 Review of topics - student and instructor choice
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	観光業界キャリアデザイン
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	就職対策(ES作成、面接練習)
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	就職に活用できる知識を身につけ、内定につなげる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 業界の現状① 2 業界の現状② 3 業界動機① 4 業界動機② 5 企業志望動機① 6 企業志望動機② 7 企業志望動機③ 8 企業志望動機④ 9 ES作成① 10 ES作成② 11 面接練習 12 面接練習 13 面接練習 14 面接練習 15 面接練習
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	マナー・プロトコール
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	マナー・プロトコールの基本的知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マナー・プロトコール検定3級合格を目指す
教科書	協会指定テキスト・問題集
特記	
授業計画	1 序章：マナー、エチケット、礼儀、作法の違い、マナーを学ぶ意義 2 1章：マナーの歴史、作法の成り立ち、西洋マナー、アジアマナー 3 2章：プロトコールの原則、席次例 4 2章：社交場のマナー、挨拶と紹介、外国人への贈り物 5 2章：国旗の扱い、礼拝場でのマナー、異文化コミュニケーション 6 3章：メラビアンの方則、礼装の基準 7 3章：贈答、手紙のマナー 8 4章：ビジネスマナー、名刺の扱い方 9 4章：電話対応、トラブル対応、来客対応 10 4章：ビジネス文書、押印、電子メール 11 5章：食事作法の基本、和食のマナー、和室の作法 12 5章：西洋料理のマナー、中国料理、各国の料理のマナー 13 7章：冠婚葬祭とは、日本の主な通過儀礼 14 8章：結婚の変遷、結婚式のマナー 15 9章：仏式の葬儀、神式の葬儀 16 9章：キリスト教式の葬儀、葬儀・告別式でのマナー 17 10章：1月から12月の行事 18 序章・1章の集中講義、序章・1章を範囲とした確認テスト 19 2章の集中講義、2章を範囲とした確認テスト 20 3章の集中講義、3章を範囲とした確認テスト 21 4章の集中講義、4章を範囲とした確認テスト 22 5章の集中講義、5章を範囲とした確認テスト 23 7章の集中講義、7章を範囲とした確認テスト 24 8章の集中講義、8章を範囲とした確認テスト 25 9章の集中講義、9章を範囲とした確認テスト 26 10章の集中講義、10章を範囲とした確認テスト 27 過去問演習①、苦手克服プリント 28 過去問演習②、苦手克服プリント 29 過去問演習③、苦手克服プリント 30 過去問演習④、苦手克服プリント
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売知識基礎	
実務家教員	○	
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	店舗にて販売の実務経験を持つ教員による基礎講義	
授業計画	1 販売員の役割① 2 販売員の役割② 3 販売員の役割③ 4 販売員の法廷知識① 5 販売員の法廷知識② 6 販売員の法廷知識③ 7 小売業の計数管理① 8 小売業の計数管理② 9 小売業の計数管理③ 10 店舗管理① 11 店舗管理② 12 店舗管理③ 13 店舗管理④ 14 店舗管理⑤ 15 店舗管理⑥ 16 流通における小売業① 17 流通における小売業② 18 流通における小売業③ 19 流通における小売業④ 20 流通における小売業⑤ 21 流通における小売業⑥ 22 組織形態別小売業① 23 組織形態別小売業② 24 組織形態別小売業③ 25 店舗形態別小売業① 26 店舗形態別小売業② 27 店舗形態別小売業③ 28 商業集積① 29 商業集積② 30 商業集積③	31 商業集積④ 32 商業集積⑤ 33 商業集積⑥ 34 小売業のマーケティング① 35 小売業のマーケティング② 36 小売業のマーケティング③ 37 小売業のマーケティング④ 38 小売業のマーケティング⑤ 39 小売業のマーケティング⑥ 40 顧客満足経営① 41 顧客満足経営② 42 顧客満足経営③ 43 顧客満足経営④ 44 顧客満足経営⑤ 45 顧客満足経営⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売知識応用	
実務家教員	○	
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	リテールマーケティング検定3級レベルの知識を理解し身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	店舗にて販売の実務経験を持つ教員による応用講義	
授業計画	1 証券の設定と出店① 2 証券の設定と出店② 3 証券の設定と出店③ 4 リージョナルプロモーション① 5 リージョナルプロモーション② 6 リージョナルプロモーション③ 7 顧客志向型売り場づくり① 8 顧客志向型売り場づくり② 9 顧客志向型売り場づくり③ 10 ストアオペレーション① 11 ストアオペレーション② 12 ストアオペレーション③ 13 ストアオペレーション④ 14 ストアオペレーション⑤ 15 ストアオペレーション⑥ 16 梱包技術① 17 梱包技術② 18 梱包技術③ 19 ディ스플레이① 20 ディ스플레이② 21 ディ스플레이③ 22 商品① 23 商品② 24 商品③ 25 マーチャンダイジング① 26 マーチャンダイジング② 27 マーチャンダイジング③ 28 マーチャンダイジング④ 29 マーチャンダイジング⑤ 30 マーチャンダイジング⑥	31 商品計画① 32 商品計画② 33 商品計画③ 34 販売計画及び仕入れ計画① 35 販売計画及び仕入れ計画② 36 販売計画及び仕入れ計画③ 37 価格設定① 38 価格設定② 39 価格設定③ 40 在庫管理① 41 在庫管理② 42 在庫管理③ 43 販売管理① 44 販売管理② 45 販売管理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ライフプランニング概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法(実技科目)を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育・住宅取得資金計画</li> <li>2 社会保険</li> <li>3 老後の生活資金設計と公的年金</li> <li>4 公的年金における障害給付・遺族給付</li> <li>5 公的年金制度の共通事項</li> <li>6 企業年金・自営業者のための年金</li> <li>7 項目別答練①</li> <li>8 項目別答練②</li> <li>9 項目別答練③</li> <li>10 直前模擬試験①</li> <li>11 直前模擬試験②</li> <li>12 直前模擬試験③</li> <li>13 直前模擬試験④</li> <li>14 直前模擬試験⑤</li> <li>15 直前模擬試験⑥</li> <li>16 教育・住宅取得資金計画(応用)</li> <li>17 社会保険(応用)①</li> <li>18 社会保険(応用)②</li> <li>19 老後の生活資金設計と公的年金(応用)①</li> <li>20 老後の生活資金設計と公的年金(応用)②</li> <li>21 公的年金における障害給付(応用)</li> <li>22 公的年金における遺族給付(応用)</li> <li>23 企業年金・自営業者のための年金(応用)</li> <li>24 ライフプランニングの考え方</li> <li>25 中小法人の資金計画・決算書の分析</li> <li>26 まとめ 総復習(応用)</li> <li>27 まとめ 総復習(応用)</li> <li>28 まとめ 総復習(応用)</li> <li>29 まとめ 総復習(応用)</li> <li>30 項目別模擬試験(応用)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	リスク管理概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法(実技科目)を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生命保険の概略</li> <li>2 生命保険商品の種類と内容</li> <li>3 損害保険商品の種類と内容</li> <li>4 個人の契約に関する税金</li> <li>5 法人の契約に関する税金</li> <li>6 第三分野の保険・共済</li> <li>7 項目別答練①</li> <li>8 項目別答練②</li> <li>9 項目別答練③</li> <li>10 直前模擬試験①</li> <li>11 直前模擬試験②</li> <li>12 直前模擬試験③</li> <li>13 直前模擬試験④</li> <li>14 直前模擬試験⑤</li> <li>15 直前模擬試験⑥</li> <li>16 生命保険の概略(応用)</li> <li>17 生命保険商品の種類と内容(応用)①</li> <li>18 生命保険商品の種類と内容(応用)②</li> <li>19 生命保険商品の種類と内容(応用)③</li> <li>20 損害保険商品の種類と内容(応用)①</li> <li>21 損害保険商品の種類と内容(応用)②</li> <li>22 個人の契約に関する税金(応用)①</li> <li>23 個人の契約に関する税金(応用)②</li> <li>24 法人の契約に関する税金(応用)</li> <li>25 第三分野の保険・共済(応用)</li> <li>26 まとめ 総復習(応用)</li> <li>27 まとめ 総復習(応用)</li> <li>28 まとめ 総復習(応用)</li> <li>29 まとめ 総復習(応用)</li> <li>30 項目別模擬試験(応用)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法(実技科目)を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 マーケット環境の理解</li> <li>2 預貯金等</li> <li>3 債券</li> <li>4 株式</li> <li>5 投資信託</li> <li>6 ポートフォリオ運用・セーフティネット・関連法規</li> <li>7 項目別答練①</li> <li>8 項目別答練②</li> <li>9 項目別答練③</li> <li>10 直前模擬試験①</li> <li>11 直前模擬試験②</li> <li>12 直前模擬試験③</li> <li>13 直前模擬試験④</li> <li>14 直前模擬試験⑤</li> <li>15 直前模擬試験⑥</li> <li>16 マーケット環境の理解(応用)</li> <li>17 預貯金等(応用)①</li> <li>18 預貯金等(応用)②、債券(応用)①</li> <li>19 債券(応用)②、株式(応用)①</li> <li>20 株式(応用)②</li> <li>21 投資信託(応用)①</li> <li>22 投資信託(応用)②</li> <li>23 金融派生商品(応用)、ポートフォリオ(応用)①</li> <li>24 ポートフォリオ(応用)②、金融商品と税金(応用)</li> <li>25 セーフティネット(応用)、関連法規(応用)</li> <li>26 まとめ 総復習(応用)</li> <li>27 まとめ 総復習(応用)</li> <li>28 まとめ 総復習(応用)</li> <li>29 まとめ 総復習(応用)</li> <li>30 項目別模擬試験(応用)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	タックスプランニング概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法(実技科目)を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各種所得の内容①</li> <li>2 各種所得の内容②</li> <li>3 課税標準の計算</li> <li>4 所得控除①</li> <li>5 所得控除②</li> <li>6 確定申告</li> <li>7 項目別答練①</li> <li>8 項目別答練②</li> <li>9 項目別答練③</li> <li>10 直前模擬試験①</li> <li>11 直前模擬試験②</li> <li>12 直前模擬試験③</li> <li>13 直前模擬試験④</li> <li>14 直前模擬試験⑤</li> <li>15 直前模擬試験⑥</li> <li>16 所得税の仕組み(応用)、各種所得の内容(応用)①</li> <li>17 各種所得の内容(応用)②、課税標準の計算(応用)</li> <li>18 所得控除(応用)①</li> <li>19 所得控除(応用)②</li> <li>20 税額控除(応用)</li> <li>21 確定申告(応用)</li> <li>22 法人税①</li> <li>23 法人税②</li> <li>24 法人税③</li> <li>25 消費税</li> <li>26 まとめ 総復習(応用)</li> <li>27 まとめ 総復習(応用)</li> <li>28 まとめ 総復習(応用)</li> <li>29 まとめ 総復習(応用)</li> <li>30 項目別模擬試験(応用)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	不動産運用設計概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法(実技科目)を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 不動産の見方</li> <li>2 不動産の取引①</li> <li>3 不動産の取引②</li> <li>4 不動産に関する法令上の制限①</li> <li>5 不動産に関する法令上の制限②</li> <li>6 不動産に係る税金</li> <li>7 不動産の有効活用</li> <li>8 項目別答練①</li> <li>9 項目別答練②</li> <li>10 直前模擬試験①</li> <li>11 直前模擬試験②</li> <li>12 直前模擬試験③</li> <li>13 直前模擬試験④</li> <li>14 直前模擬試験⑤</li> <li>15 直前模擬試験⑥</li> <li>16 不動産の見方(応用)</li> <li>17 不動産の取引(応用)①</li> <li>18 不動産の取引(応用)②</li> <li>19 不動産の取引(応用)③、不動産に関する法令上の制限(応用)①</li> <li>20 不動産に関する法令上の制限(応用)②</li> <li>21 不動産に係る税金(応用)①</li> <li>22 不動産に係る税金(応用)②</li> <li>23 不動産の有効活用(応用)</li> <li>24 まとめ 総復習(応用)</li> <li>25 まとめ 総復習(応用)</li> <li>26 まとめ 総復習(応用)</li> <li>27 まとめ 総復習(応用)</li> <li>28 まとめ 総復習(応用)</li> <li>29 まとめ 総復習(応用)</li> <li>30 項目別模擬試験(応用)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法(実技科目)を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 相続と法律 2 贈与と法律 3 贈与と税金 4 相続と税金 5 財産の評価(不動産) 6 財産の評価(金融資産) 7 相続・事業承継対策 8 項目別答練① 9 項目別答練② 10 直前模擬試験① 11 直前模擬試験② 12 直前模擬試験③ 13 直前模擬試験④ 14 直前模擬試験⑤ 15 直前模擬試験⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ライフプランニング概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	社会保険全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 項目別答練(応用)① 2 項目別答練(応用)② 3 項目別答練(応用)③ 4 直前模擬試験① 5 直前模擬試験② 6 直前模擬試験③ 7 直前模擬試験④ 8 直前模擬試験⑤ 9 直前模擬試験⑥ 10 直前模擬試験⑦ 11 直前模擬試験⑧ 12 直前模擬試験⑨ 13 直前模擬試験⑩ 14 直前模擬試験⑪ 15 直前模擬試験⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	リスク管理概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	保険全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 項目別答練(応用)① 2 項目別答練(応用)② 3 項目別答練(応用)③ 4 直前模擬試験① 5 直前模擬試験② 6 直前模擬試験③ 7 直前模擬試験④ 8 直前模擬試験⑤ 9 直前模擬試験⑥ 10 直前模擬試験⑦ 11 直前模擬試験⑧ 12 直前模擬試験⑨ 13 直前模擬試験⑩ 14 直前模擬試験⑪ 15 直前模擬試験⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	金融資産運用に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 項目別答練(応用)① 2 項目別答練(応用)② 3 項目別答練(応用)③ 4 直前模擬試験① 5 直前模擬試験② 6 直前模擬試験③ 7 直前模擬試験④ 8 直前模擬試験⑤ 9 直前模擬試験⑥ 10 直前模擬試験⑦ 11 直前模擬試験⑧ 12 直前模擬試験⑨ 13 直前模擬試験⑩ 14 直前模擬試験⑪ 15 直前模擬試験⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	タックスプランニング概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	税全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 項目別答練(応用)① 2 項目別答練(応用)② 3 項目別答練(応用)③ 4 直前模擬試験① 5 直前模擬試験② 6 直前模擬試験③ 7 直前模擬試験④ 8 直前模擬試験⑤ 9 直前模擬試験⑥ 10 直前模擬試験⑦ 11 直前模擬試験⑧ 12 直前模擬試験⑨ 13 直前模擬試験⑩ 14 直前模擬試験⑪ 15 直前模擬試験⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	不動産運用設計概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	不動産に関する法律や専門用語、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 項目別答練(応用)① 2 項目別答練(応用)② 3 項目別答練(応用)③ 4 直前模擬試験① 5 直前模擬試験② 6 直前模擬試験③ 7 直前模擬試験④ 8 直前模擬試験⑤ 9 直前模擬試験⑥ 10 直前模擬試験⑦ 11 直前模擬試験⑧ 12 直前模擬試験⑨ 13 直前模擬試験⑩ 14 直前模擬試験⑪ 15 直前模擬試験⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	相続・贈与等に関連する用語の理解、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 相続と法律(応用)、贈与と法律(応用)、贈与と税金(応用) 2 相続と税金(応用)、財産の評価(不動産)(応用) 3 財産の評価(金融資産)(応用)、相続・事業承継対策(応用) 4 直前模擬試験① 5 直前模擬試験② 6 直前模擬試験③ 7 直前模擬試験④ 8 直前模擬試験⑤ 9 直前模擬試験⑥ 10 直前模擬試験⑦ 11 直前模擬試験⑧ 12 直前模擬試験⑨ 13 直前模擬試験⑩ 14 直前模擬試験⑪ 15 直前模擬試験⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	金融市場政策論	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	金融の役割①
	2	金融の役割②
	3	金融の役割③
	4	各種金融市場①
	5	各種金融市場②
	6	各種金融市場③
	7	中央銀行の役割①
	8	中央銀行の役割②
	9	中央銀行の役割③
	10	中央銀行の役割④
	11	中央銀行の役割⑤
	12	中央銀行の役割⑥
	13	世界の中央銀行
	14	総まとめ
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	経営常識	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	国際社会に関する基礎用語
	2~3	国際社会に関する事例学習
	4	経済に関する基礎用語
	5	経済に関する事例学習
	6	労働環境に関する基礎用語
	7	労働環境に関する事例学習
	8	経営に関する基礎用語
	9~10	経営に関する事例学習
	11	IT社会に関する基礎用語
	12~13	IT社会に関する事例学習
	14	AIに関する基礎用語
	15	AIに関する事例学習
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	総合旅行演習(約款) I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	総合旅行受験対策(4月から7月)
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	試験に向け約款の知識を身につける
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	1 項目別講義①(募集型企画旅行Ⅰ) 2 項目別問題演習① 3 項目別講義②(募集型企画旅行Ⅱ) 4 項目別問題演習② 5 項目別講義③(受注型企画旅行) 6 項目別問題演習③ 7 項目別講義④(特別補償規程) 8 項目別問題演習④ 9 項目別講義⑤(手配旅行) 10 項目別問題演習⑤ 11 項目別講義⑥(旅行相談契約・渡航手続代行契約) 12 項目別問題演習⑥ 13 項目別講義⑦(航空約款) 14 項目別問題演習⑦ 15 過去問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	総合旅行演習（出入国法令）Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	総合旅行受験対策（4月から7月）
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	試験に向け出入国法令の知識を身につける
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	1 項目別演習①（旅券法Ⅰ） 2 項目別演習②（旅券法Ⅱ） 3 項目別演習③（旅券法Ⅲ） 4 項目別演習④（査証手続） 5 項目別演習⑤（外貨手続） 6 項目別演習⑥（外国人の日本出入国） 7 項目別演習⑦（日本の出国手続） 8 項目別演習⑧（検疫法） 9 項目別演習⑨（税関手続きⅠ） 10 項目別演習⑩（税関手続きⅡ） 11 過去問題演習① 12 過去問題演習② 13 過去問題演習③ 14 過去問題演習④ 15 過去問題演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	総合旅行演習（実務）Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	総合旅行受験対策（4月から7月）
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	試験に向け実務の知識を身につける
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	1 項目別演習①（時差計算Ⅰ） 2 項目別演習②（時差計算Ⅱ） 3 項目別演習③（時差計算Ⅲ） 4 項目別演習④（OAGⅠ） 5 項目別演習⑤（OAGⅡ） 6 項目別演習⑥（OAGⅢ） 7 項目別演習⑦（査証） 8 項目別演習⑧（都市コード） 9 項目別演習⑨（空港コード） 10 項目別演習⑩（その他） 11 過去問題演習① 12 過去問題演習② 13 過去問題演習③ 14 過去問題演習④ 15 過去問題演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	総合旅行演習（運賃、地理）Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	総合旅行受験対策（4月から7月）
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	試験に向け運賃、地理の知識を身につける
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 航空運賃項目別演習①（普通運賃）</li> <li>2 航空運賃項目別演習②（キャリア運賃Ⅰ）</li> <li>3 航空運賃項目別演習③（キャリア運賃Ⅱ）</li> <li>4 航空運賃項目別演習④（キャリア運賃Ⅲ）</li> <li>5 海外地理項目別演習①（アジア）</li> <li>6 海外地理項目別演習②（ヨーロッパⅠ）</li> <li>7 海外地理項目別演習③（ヨーロッパⅡ）</li> <li>8 海外地理項目別演習④（アメリカⅠ）</li> <li>9 海外地理項目別演習⑤（アメリカⅡ）</li> <li>10 海外地理項目別演習⑥（その他地域）</li> <li>11 過去問題演習①</li> <li>12 過去問題演習②</li> <li>13 過去問題演習③</li> <li>14 過去問題演習④</li> <li>15 過去問題演習⑤</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	総合旅行応用 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	総合旅行受験対策(9月)
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	試験に向け総合的な知識を深める
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	1 項目別答練①(出入国法令Ⅰ) 2 項目別答練②(実務Ⅰ) 3 項目別答練③(航空運賃Ⅰ) 4 項目別答練④(地理・英語Ⅰ) 5 項目別答練⑤(約款Ⅰ) 6 項目別答練⑥(出入国法令Ⅱ) 7 項目別答練⑦(実務Ⅱ) 8 項目別答練⑧(航空運賃Ⅱ) 9 項目別答練⑨(地理・英語Ⅱ) 10 項目別答練⑩(約款Ⅱ) 11 項目別答練⑪(出入国法令Ⅲ) 12 項目別答練⑫(実務Ⅲ) 13 項目別答練⑬(航空運賃Ⅲ) 14 項目別答練⑭(地理・英語Ⅲ) 15 項目別答練⑮(約款Ⅲ)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	総合旅行応用Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	総合旅行受験対策(10月)
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	試験に向け総合的な知識を深める
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	1 過去問題演習① 2 過去問題①解説 3 過去問題演習② 4 過去問題②解説 5 弱点補強講義① 6 弱点補強講義② 7 直前答練演習① 8 直前答練①解説 9 直前答練演習② 10 直前答練②解説 11 過去問題演習③ 12 予想問題演習① 13 過去問題演習④ 14 予想問題演習② 15 過去問題演習⑤ 16 予想問題演習③ 17 過去問題演習⑥ 18 予想問題演習④ 19 過去問題演習⑦ 20 予想問題演習⑤ 21 過去問題演習⑧ 22 予想問題演習⑥ 23 過去問題模擬試験① 24 予想問題模擬試験① 25 頻出問題チェック① 26 予想問題模擬試験② 27 頻出問題チェック② 28 予想問題模擬試験③ 29 頻出問題チェック③ 30 過去問題模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	総合旅行基礎（業法・国内実務）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	総合旅行受験者用
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	試験に向け総合的な知識を深める
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	1 旅行業法Ⅰ 2 旅行業法Ⅱ 3 旅行業法Ⅲ 4 項目別答練①（旅行業法） 5 国内実務Ⅰ（JR①） 6 国内実務Ⅱ（JR②） 7 国内実務Ⅲ（JR③） 8 国内実務Ⅳ（航空） 9 国内実Ⅴ（宿泊・バス・フェリー） 10 項目別答練②（国内実務） 11 過去問題演習① 12 過去問題演習② 13 過去問題演習③ 14 過去問題演習④ 15 過去問題演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	海外観光資源応用 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	海外地理検定対策
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	検定試験に向けて知識を深める
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	1 エリア別講義①(東アジア) 2 問題演習(過去問Ⅰ 1巡目) 3 エリア別講義②(東南アジア) 4 問題演習(過去問Ⅱ 1巡目) 5 エリア別講義③(ヨーロッパⅠ) 6 問題演習(過去問Ⅲ 1巡目) 7 エリア別講義④(ヨーロッパⅡ) 8 問題演習(過去問Ⅳ 1巡目) 9 エリア別講義⑤(アメリカⅠ) 10 問題演習(過去問Ⅴ 1巡目) 11 エリア別講義⑥(アメリカⅡ) 12 問題演習(過去問Ⅵ 1巡目) 13 エリア別講義⑦(オセアニア・その他) 14 問題演習(過去問Ⅶ 1巡目) 15 問題演習(過去問Ⅷ 1巡目)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	海外観光資源応用Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	海外地理検定対策	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	検定試験に向けて知識を深める	
教科書	教材・問題集	
特記		
授業計画	1	資源別講義①(世界遺産Ⅰ)
	2	問題演習(過去問Ⅰ 2巡目)
	3	資源別講義②(世界遺産Ⅱ)
	4	問題演習(過去問Ⅱ 2巡目)
	5	資源別講義③(自然Ⅰ)
	6	問題演習(過去問Ⅲ 2巡目)
	7	資源別講義④(自然Ⅱ)
	8	問題演習(過去問Ⅳ 2巡目)
	9	資源別講義⑤(土産・特産物)
	10	問題演習(過去問Ⅴ 2巡目)
	11	資源別講義⑥(国旗)
	12	問題演習(過去問Ⅵ 2巡目)
	13	資源別講義⑦(行事・祭り)
	14	問題演習(過去問Ⅶ 2巡目)
	15	問題演習(過去問Ⅷ 2巡目)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	トラベルマーケティング応用
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	旅行・鉄道・観光のマーケティングを理解し、ツアープランニングに活かす
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	旅行・鉄道・観光のマーケティングについて学ぶ
教科書	テキスト・レジュメ
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 マーケティング・マネジメント</li> <li>2 サービスによる価格創造のメカニズム</li> <li>3 観光マーケットと購買行動</li> <li>4 観光マーケティングの環境分析</li> <li>5 競争の分析、観光商品のマネジメント</li> <li>6 価格のマネジメント</li> <li>7 流通チャネルのマネジメント</li> <li>8 プロモーションのマネジメント</li> <li>9 インターネットのマーケティング</li> <li>10 観光産業におけるマーケティングマネジメント</li> <li>11 デスティネーションのマーケティング</li> <li>12 観光におけるデ・マーケティング</li> <li>13 インバウンドのマーケティング</li> <li>14 観光まちづくりのマーケティング</li> <li>15 レポート作成、発表</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	カウンタービジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	旅行会社のカウンターにおける知識、ビジネスマナーを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	旅行会社のカウンターで基本的な接客ができる
教科書	テキスト・レジュメ
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国内旅行の概要/カウンターでの主な取扱商品</li> <li>2 国内旅行カウンターでの仕事の流れ/お客様との旅行契約</li> <li>3 お客様をお迎えする前に/お客様の心理と担当者の心構え</li> <li>4 募集型企画旅行商品の体系と特徴/販売/契約の解除</li> <li>5 JR券の販売</li> <li>6 JR券の販売</li> <li>7 JR券の販売</li> <li>8 航空券の販売</li> <li>9 航空券の販売</li> <li>10 航空券の販売/私鉄券その他の販売</li> <li>11 宿泊施設の販売</li> <li>12 最終のご案内</li> <li>13 個人情報保護法/消費者契約法</li> <li>14 商品知識(日本の観光地の確認)</li> <li>15 商品知識(日本の観光地の確認)</li> <li>16 行程表の作成</li> <li>17 旅行会社での立居振舞(お客様のお迎え)</li> <li>18 旅行会社での対置振舞(敬語の使い方、名刺の渡し方)</li> <li>19 お客様との電話応対</li> <li>20 お客様との電話応対</li> <li>21 お客様との電話応対確認</li> <li>22 カウンター応対練習</li> <li>23 カウンター応対練習</li> <li>24 カウンター応対練習</li> <li>25 カウンター応対練習</li> <li>26 カウンター応対練習</li> <li>27 カウンター応対確認</li> <li>28 カウンター応対確認</li> <li>29 カウンタービジネスマナーまとめ</li> <li>30 カウンタービジネスマナーまとめ</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ツアープランニングIII
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）
授業概要	ツアープランニングの基本を学び、ツアーを企画する
授業の進め方	基本的な知識を講義したのち、グループでツアープランニングを行う
達成目標	自分たちでツアーを企画し、JATAのコンテストに応募する
教科書	必要に応じ、旅行パンフレット等を用いる
特記	旅行会社で営業の実務経験を持つ教員による演習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ツアープランニングの基礎知識1</li> <li>2 ツアープランニングの基礎知識2</li> <li>3 ツアープランニングの基礎知識3</li> <li>4 世界の観光名所1</li> <li>5 世界の観光名所2</li> <li>6 世界の観光名所3</li> <li>7 世界の観光名所4</li> <li>8 旅行会社のツアー研究1</li> <li>9 旅行会社のツアー研究2</li> <li>10 費用の検討および算出1</li> <li>11 費用の検討および算出2</li> <li>12 候補地決定</li> <li>13 候補地の調査1</li> <li>14 候補地の調査2</li> <li>15 候補地の調査3</li> <li>16 ツアープランの検討</li> <li>17 ツアープランの検討</li> <li>18 ツアープランの検討</li> <li>19 ツアープランの検討</li> <li>20 ツアープランの検討</li> <li>21 ツアープランニング</li> <li>22 ツアープランニング</li> <li>23 ツアープランニング</li> <li>24 ツアープランニング</li> <li>25 ツアープランニング</li> <li>26 プラン内容の確認</li> <li>27 企画書作成1</li> <li>28 企画書作成2</li> <li>29 企画書作成3</li> <li>30 全体発表</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ツアープランニング応用	
実務家教員	○	
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60コマ（1コマ90分）	
授業概要	ツアープランナーコース実習	
授業の進め方	実践な知識を講義したのち、グループでツアープランニングを行う	
達成目標	自分たちでツアーを企画し、卒業研究発表会をコンテスト形式で行う	
教科書	必要に応じ、旅行パンフレット等を用いる	
特記	旅行会社で営業の実務経験を持つ教員による演習	
授業計画	1 ツアープランニングの基礎知識1 2 ツアープランニングの基礎知識2 3 ツアープランニングの基礎知識3 4 ツアープランニングの基礎知識4 5 ツアープランニングの基礎知識5 6 旅行会社のツアー研究1 7 旅行会社のツアー研究2 8 旅行会社のツアー研究3 9 旅行会社のツアー研究4 10 旅行会社のツアー研究5 11 候補地の調査1 12 候補地の調査2 13 候補地の調査3 14 候補地の調査4 15 候補地の調査5 16 ツアープランの検討 17 ツアープランの検討 18 ツアープランの検討 19 ツアープランの検討 20 ツアープランの検討 21 ツアープランニング 22 ツアープランニング 23 ツアープランニング 24 ツアープランニング 25 ツアープランニング 26 ツアープランニング 27 ツアープランニング 28 ツアープランニング 29 ツアープランニング 30 ツアープランニング	31 ツアープランニング 32 ツアープランニング 33 ツアープランニング 34 ツアープランニング 35 ツアープランニング 36 企画書作成1 37 企画書作成2 38 企画書作成3 39 企画書作成4 40 企画書作成5 41 企画書作成6 42 企画書作成7 43 企画書作成8 44 企画書作成9 45 企画書作成10 46 プラン内容の確認 47 プラン内容の確認 48 プラン内容の確認 49 企画書修正1 50 企画書修正2 51 企画書修正3 52 プレゼン発表練習1 53 プレゼン発表練習2 54 プレゼン発表練習3 55 プレゼン発表練習4 56 プレゼン発表練習5 57 プレゼン発表練習6、当日の流れ確認 58 全体発表 59 全体発表 60 全体発表
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	鉄道マーケティング応用	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	旅行・鉄道・観光のマーケティングについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	旅行・鉄道・観光のマーケティングを理解し、ツアープランニングに活かすことができる	
教科書	テキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	マーケティング・マネジメント
	2	サービスによる価格創造のメカニズム
	3	観光マーケットと購買行動
	4	観光マーケティングの環境分析
	5	競争の分析、観光商品のマネジメント
	6	価格のマネジメント
	7	流通チャネルのマネジメント
	8	プロモーションのマネジメント
	9	インターネットのマーケティング
	10	観光産業におけるマーケティングマネジメント
	11	デスティネーションのマーケティング
	12	観光におけるデ・マーケティング
	13	インバウンドのマーケティング
	14	観光まちづくりのマーケティング
	15	レポート作成、発表
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	鉄道ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	旅行会社のカウンターにおける知識、ビジネスマナーを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	旅行会社のカウンターで基本的な接客ができる
教科書	テキスト・レジュメ
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国内旅行の概要／カウンターでの主な取扱商品</li> <li>2 国内旅行カウンターでの仕事の流れ／お客様との旅行契約</li> <li>3 お客様をお迎えする前に／お客様の心理と担当者の心構え</li> <li>4 募集型企画旅行商品の体系と特徴／販売／契約の解除</li> <li>5 JR券の販売</li> <li>6 JR券の販売</li> <li>7 JR券の販売</li> <li>8 航空券の販売</li> <li>9 航空券の販売</li> <li>10 航空券の販売／私鉄券その他の販売</li> <li>11 宿泊施設の販売</li> <li>12 最終のご案内</li> <li>13 個人情報保護法／消費者契約法</li> <li>14 商品知識(日本の観光地の確認)</li> <li>15 商品知識(日本の観光地の確認)</li> <li>16 行程表の作成</li> <li>17 旅行会社での立居振舞(お客様のお迎え)</li> <li>18 旅行会社での対置振舞(敬語の使い方、名刺の渡し方)</li> <li>19 お客様との電話応対</li> <li>20 お客様との電話応対</li> <li>21 お客様との電話応対確認</li> <li>22 カウンター応対練習</li> <li>23 カウンター応対練習</li> <li>24 カウンター応対練習</li> <li>25 カウンター応対練習</li> <li>26 カウンター応対練習</li> <li>27 カウンター応対確認</li> <li>28 カウンター応対確認</li> <li>29 カウンタービジネスマナーまとめ</li> <li>30 カウンタービジネスマナーまとめ</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ホテル実践I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	ホテル接客の基礎知識および接客技術の演習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	就職後にむけ実践的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ホテルの基本知識、業態による組織(接客に着目)</li> <li>2 実務者として必要な基本知識、国際的な習慣</li> <li>3 実務者として必要な基本知識、宗教戒律、ホスピタリティ</li> <li>4 ホテルの定義、特性、旅館業法</li> <li>5 接客用語、ホテル内での接客英会話</li> <li>6 業務役割(ドア) 国旗と社旗のルール、時事</li> <li>7 業務役割(ベル) ページング、バゲッジハンドリング</li> <li>8 業務役割(クローク、ハウス) 立ち居振る舞い、ベッドアメニティ知識</li> <li>9 業務役割(コンシェルジュ) 質問対応力、言葉遣い、英会話</li> <li>10 実技演習(ドア)</li> <li>11 実技演習(ベル)</li> <li>12 実技演習(クローク、ハウス)</li> <li>13 実技演習(コンシェルジュ)</li> <li>14 総合演習①お客様ご到着からチェックイン後、入室までロープレ</li> <li>15 総合演習②宿泊中を想定してのロープレ</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ホテル実践Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	料飲部門の基礎知識および料飲サービス技術の演習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	就職後にむけ実践的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ホテルの基本知識、料飲部門の組織</li> <li>2 実務者として必要な基本知識、国際的な習慣</li> <li>3 実務者として必要な基本知識、宗教戒律、ホスピタリティ</li> <li>4 接客用語、ホテル内での接客英会話</li> <li>5 料飲商品の特性、サービス、人的制約</li> <li>6 レストラン課の業務(食事提供)</li> <li>7 飲料課の業務(飲料提供)</li> <li>8 ホール設備の知識(ワゴン、サービスヤード等)</li> <li>9 什器備品の知識①(テーブルウェア、シルバーウェア等)</li> <li>10 什器備品の知識②(チャイナウェア、グラスウェア、リネン類)</li> <li>11 飲材①醸造酒、蒸留酒、混成酒、ノンアル</li> <li>12 飲材②ソムリエ、バーテンダー業務、カクテルの知識</li> <li>13 メニューの種類(常時提供、朝食、昼食、コース)</li> <li>14 洋食のテーブルサービス、中国料理のサービス、和食のサービス</li> <li>15 総合演習(入店から退店を想定してのロープレ)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ホテル実践Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	宿泊部門の基礎知識および客室、フロント業務の演習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	就職後にむけ実践的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ホテルの基本知識、業態による組織(宿泊に着目)</li> <li>2 実務者として必要な基本知識、国際的な習慣</li> <li>3 実務者として必要な基本知識、宗教戒律、ホスピタリティ</li> <li>4 ホテルの定義、特性、旅館業法</li> <li>5 接客用語、ホテル内での接客英会話</li> <li>6 宿泊商品の特性、量的人的制約</li> <li>7 客室の知識①ルームタイプの知識(シングルからスイートまで)</li> <li>8 客室の知識②客室の設備、器具、備品類</li> <li>9 客室の知識③バスルームの知識、お客様からの内線対応知識</li> <li>10 商品の種類(ヨーロッパプラン、コンチネンタルプラン等)</li> <li>11 チェックイン業務についての知識</li> <li>12 チェックアウト業務についての知識</li> <li>13 実技演習①(チェックイン)</li> <li>14 実技演習②(チェックアウト)</li> <li>15 総合演習(宿泊業務に関する一連の流れを行うものとする)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ホテル実践IV
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	ホテルの会計業務知識の基礎および演習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	就職後にむけ実践的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経理、会計部門の組織、経理課の業務、クレジット課の業務</li> <li>2 基本知識(財務会計、管理会計)</li> <li>3 損益計算書の基本的な見方</li> <li>4 減価償却と減価償却費</li> <li>5 ホテル業の収益会計と費用会計</li> <li>6 ホテル営業費用(人件費、経費、売上原価)</li> <li>7 予算管理の基本知識(営業収益予算、営業費用予算)</li> <li>8 ホテル業の経営分析(収益性分析、安全性分析)</li> <li>9 税の知識(会社が納める主な税金、宿泊税等)</li> <li>10 フロントキャッシャー実務、フロント会計システム</li> <li>11 レストランキャッシャー業務、レストラン会計システム</li> <li>12 宴会キャッシャー実務、宴会会計システム</li> <li>13 現金管理、売掛金管理</li> <li>14 実技演習①宿泊における収益計算</li> <li>15 実技演習②料飲における収益計算</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ホテル実務Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	ホテルの基本、宿泊部門の業務、料飲部門の業務について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	ホテル産業の概要、宿泊部門・料飲部門・宴会部門の業務の内容が理解できる
教科書	協会指定テキスト・問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 一章「ホテル基礎」集中講義、一章全般を範囲とした確認テスト</li> <li>2 二章「宿泊部門」集中講義、二章全般を範囲とした確認テスト</li> <li>3 三章「料飲部門」集中講義、三章全般を範囲とした確認テスト</li> <li>4 四章「宴会部門」集中講義、四章全般を範囲とした確認テスト</li> <li>5 五章「調理部門」集中講義、五章全般を範囲とした確認テスト</li> <li>6 マーケティング部門①組織と業務役割、売上予算作成業務</li> <li>7 マーケティング部門②マネジメント、宴会宿泊婚礼セールス</li> <li>8 総務人事部門①総務業務(オフィス管理、文書管理)、人事業務</li> <li>9 総務人事部門②庶務、法務、株主、労働基準法</li> <li>10 施設管理部門①ISO活動の取り組み、省エネとエネルギー管理</li> <li>11 施設管理部門②関係法令(建築基準法、大気汚染防止法等)</li> <li>12 仕入購買部門①業務役割、購買依頼～伝票集計</li> <li>13 仕入購買部門②衛生管理手法(HACCP)畜産物</li> <li>14 経理会計部門①経理、収納課、クレジット課業務</li> <li>15 経理会計部門②減価償却、損益計算書、予算管理基本知識</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ホテル実務IV
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	宴会部門、調理部門、マーケティング部門の業務について学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	ホテル実務IIIと合わせホテルの業務内容を理解し、ホテルビジネス実務検定B1級合格を目指す
教科書	協会指定テキスト・問題集
特記	
授業計画	1 一章「ホテル基礎」集中講義、二章「宿泊部門」集中講義 2 三章「料飲部門」集中講義、四章「宴会部門」集中講義 3 五章「宴会部門」集中講義、一章～五章確認テスト 4 六章「マーケティング部門」集中講義、六章全般を範囲とした確認テスト 5 七章「総務人事部門」集中講義、七章全般を範囲とした確認テスト 6 八章「施設管理部門」集中講義、八章全般を範囲とした確認テスト 7 九章「仕入購買部門」集中講義、九章全般を範囲とした確認テスト 8 十章「経理会計部門」集中講義、十章全般を範囲とした確認テスト 9 過去問①演習、解説、足切りした章の問題演習 10 過去問②演習、解説、足切りした章の問題演習 11 過去問③演習、解説、足切りした章の問題演習 12 過去問①演習、解説、足切りした章の問題演習 13 過去問②演習、解説、足切りした章の問題演習 14 過去問③演習、解説、足切りした章の問題演習 15 過去問からシャッフル問題200問、解説、問題集からシャッフル問題100問
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	宿泊プランニング
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	ホテルマーケティングの知識を基に、宿泊プランを考える
授業の進め方	適宜講義と企画内容のフィードバックを交え、グループごとにプランを考える
達成目標	グループごとにオリジナル宿泊プランを考え発表できる
教科書	教材
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 概要・趣旨の説明、企画ホテル名発表</li> <li>2 企画ホテルの施設確認、過去の宿泊プランの内容確認</li> <li>3 企画ホテルの過去の宿泊プランの内容確認と分析</li> <li>4 宿泊プランのターゲット分析</li> <li>5 宿泊プランのターゲット分析</li> <li>6 宿泊プランの原案作成、内容検討</li> <li>7 宿泊プランの原案作成、内容検討</li> <li>8 企画原案のプレゼンテーションとフィードバック</li> <li>9 企画の修正</li> <li>10 企画の修正</li> <li>11 企画の修正</li> <li>12 企画の修正</li> <li>13 修正案の確認</li> <li>14 宿泊プラン作成作業</li> <li>15 宿泊プラン作成作業</li> <li>16 宿泊プラン作成作業</li> <li>17 中間プレゼンテーション/修正点指摘</li> <li>18 価格設定のポイント</li> <li>19 宿泊プラン修正作業</li> <li>20 宿泊プラン修正作業</li> <li>21 中間プレゼンテーション/修正点指摘</li> <li>22 最終プレゼンテーションについて確認</li> <li>23 宿泊プラン完成作業</li> <li>24 宿泊プラン完成作業</li> <li>25 宿泊プラン完成作業</li> <li>26 宿泊プラン完成作業</li> <li>27 宿泊プラン完成作業</li> <li>28 プレゼンテーションリハーサル</li> <li>29 プレゼンテーション最終リハーサル</li> <li>30 宿泊プランプレゼンテーション</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する講評
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ホテルマーケティング応用
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	PCPホテルマーケティング
授業の進め方	テキストによる講義を中心に進める
達成目標	ホテルにおける会計の特徴を説明できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ホテル会計の特徴</li> <li>2 宿泊部門の売上管理/客室稼働率と客室単価</li> <li>3 レベニューマネジメントの実例</li> <li>4 料飲部門の売上管理と売上分析</li> <li>5 料飲原価管理</li> <li>6 ホテルの支出</li> <li>7 ホテルの仕入れ管理</li> <li>8 ホテルにおける資産管理</li> <li>9 ホテル会計統一制度とは</li> <li>10 ホテルにおける財務的な特徴</li> <li>11 部門別損益計算書 宿泊部門・料飲部門</li> <li>12 ホテル業の損益計算書1</li> <li>13 ホテル業態による利益率の違い</li> <li>14 経済環境による売上の変化</li> <li>15 ホテルにおける経営特性</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ホテルビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	ホテルスタッフとしてのビジネスマナーを学ぶ
授業の進め方	講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	ホテルスタッフとしてのお客様への対応ができるようになる
教科書	講師作成プリント
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ホスピタリティとマナー①</li> <li>2 ホスピタリティとマナー②</li> <li>3 ホテルスタッフの立居振舞①</li> <li>4 ホテルスタッフの立居振舞②</li> <li>5 ベルサービスの応対(クロークでの応対)①</li> <li>6 ベルサービスの応対(クロークでの応対)②</li> <li>7 ベルサービスの応対(空港リムジンバスの案内と予約受付)①</li> <li>8 ベルサービスの応対(空港リムジンバスの案内と予約受付)②</li> <li>9 ベルサービスの応対(空港リムジンバスの案内と予約受付)③</li> <li>10 ベルサービスの応対(空港リムジンバスの案内と予約受付)④</li> <li>11 フロント対応の流れ(チェックイン)①</li> <li>12 フロント対応の流れ(チェックイン)②</li> <li>13 フロント対応の流れ(チェックアウト)①</li> <li>14 フロント対応の流れ(チェックアウト)②</li> <li>15 コンシェルジュ業務①</li> <li>16 コンシェルジュ業務②</li> <li>17 外客接遇①</li> <li>18 外客接遇②</li> <li>19 海外からのお客様のリクエスト応対①</li> <li>20 海外からのお客様のリクエスト応対②</li> <li>21 レストランのサブライズサービス①</li> <li>22 レストランのサブライズサービス②</li> <li>23 結婚披露宴のサービスの流れ①</li> <li>24 結婚披露宴のサービスの流れ②</li> <li>25 宴会場での料理サービス方法①</li> <li>26 宴会場での料理サービス方法②</li> <li>27 リゾートホテルのサービス/旅館のサービス①</li> <li>28 リゾートホテルのサービス/旅館のサービス②</li> <li>29 ホテルの勤務形態①</li> <li>30 ホテルの勤務形態②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ホテルフロント実習
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	ホテルフロントコース実習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	就職後にむけ実践的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 確認①ホテルの基本知識、業態による組織(宿泊に着目)</li> <li>2 確認②実務者として必要な基本知識、国際的な習慣</li> <li>3 確認③実務者として必要な基本知識、宗教戒律、ホスピタリティ</li> <li>4 確認④ホテルの定義、特性、旅館業法</li> <li>5 確認⑤接客用語、ホテル内での接客英会話</li> <li>6 チェックイン事前確認の知識、顧客管理</li> <li>7 宿泊タイプの種類(ネット予約、当日予約、ウォークイン等)</li> <li>8 ルームアサインの知識(グレード、ルームタイプ復習を含む)</li> <li>9 客室の知識(バスルームの備品、ベッド種類、ドンディスカード等)</li> <li>10 チェックアウトの知識(宿泊カードの分類、デポ処理、顧客入力)</li> <li>11 フロント所作(立ち居振る舞い、接客用語、英会話、表情)</li> <li>12 実演練習①ホテル研究(1社をピックアップし次回の実演に向ける)</li> <li>13 実演練習②チェックイン業務</li> <li>14 実演練習③チェックアウト業務</li> <li>15 総合演習(チェックインからチェックアウトまで)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ホテル業務実習
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	ホテルコンシェルジュの学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	就職後にむけ実践的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 確認①ホテルの基本知識、業態による組織(宿泊に着目)</li> <li>2 確認②実務者として必要な基本知識、国際的な習慣</li> <li>3 確認③実務者として必要な基本知識、宗教戒律、ホスピタリティ</li> <li>4 確認④ホテルの定義、特性、旅館業法</li> <li>5 確認⑤接客用語、ホテル内での接客英会話①</li> <li>6 ホテル内での接客英会話②、日常英会話</li> <li>7 観光知識(就職希望する都市の観光知識を深める)</li> <li>8 航空料金、鉄道料金表の見方、路線図の見方、各予約制度</li> <li>9 介護の基本知識(歩行サポート、手話、点字等)</li> <li>10 座学確認テスト(時事、序列を含む観光知識や英語問題)</li> <li>11 実技演習①観光案内</li> <li>12 実技演習②あらゆる交通機関の案内</li> <li>13 実技演習③サポートを必要とするお客様の対応</li> <li>14 実技演習④ホテル内での接客英会話、日常英会話</li> <li>15 総合演習(実技演習①から④を課す)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	言語知識(英会話)Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	ネイティブスピーカーとの英会話レッスンで全員が発話しつつ授業を進めていく。
授業の進め方	各種資料とロールプレイングやディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	英会話でのおもてなしスキルの向上。
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 You and me (Introductions, personal information) 2 You and me (Introductions, personal information) 3 A good job! (Questions, jobs, and negatives) 4 A good job! (Questions, jobs, and negatives) 5 Work hard, play hard! (Hobbies) 6 Work hard, play hard! (Hobbies) 7 Somewhere to live (living arrangements) 8 Somewhere to live (living arrangements) 9 Units 1, 2, 3, 4 Review 10 Units 1, 2, 3, 4 Review 11 Super me! (Ability) 12 Super me! (Ability) 13 Life's ups and downs (Life stories) 14 Life's ups and downs (Life stories) 15 Dates to remember (Special occasions)
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	言語知識（英会話）IV
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	ネイティブスピーカーとの英会話レッスンで全員が発話しつつ授業を進めていく。
授業の進め方	各種資料とロールプレイングやディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	英会話でのおもてなしスキルの向上
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 Dates to remember (Special occasions)</li> <li>2 Eat in or out? (Food and restaurants)</li> <li>3 Eat in or out? (Food and restaurants)</li> <li>4 Units 5, 6, 7, 8 Review</li> <li>5 City living (Comparing)</li> <li>6 City living (Comparing)</li> <li>7 Where on earth are you? (Describing people)</li> <li>8 Where on earth are you? (Describing people)</li> <li>9 Going far (Weather and travel)</li> <li>10 Going far (Weather and travel)</li> <li>11 Never ever! (Experiences)</li> <li>12 Never ever! (Experiences)</li> <li>13 Units 9, 10, 11, 12 Review</li> <li>14 Units 9, 10, 11, 12 Review</li> <li>15 Book review, (team) quiz, topic discussion, test, etc</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	英検総合対策Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	英検二級・TOEIC(4月から9月)	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	2年次に受験する検定試験合格および高得点を旨す	
教科書	教材・問題集	
特記		
授業計画	1	Part 1 - first practice/analysis
	2	Part 1 - practice and check
	3	Part 1 - practice and check
	4	Part 2 - analysis
	5	Part 2 - analysis continued
	6	Part 2 - analysis continued
	7	Part 2 - practice and check
	8	Part 2 - practice and check
	9	Method booklet - part 10 (advice for Parts 3 and 4)Part 3 - first practice Part 3 - analysis
	10	Part 3 - analysis continued
	11	Part 3 - practice and check
	12	Part 4 - first practice
	13	Part 4 - analysis continued
	14	Part 4 - practice and check
	15	Part 4 - practice and check
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	英検総合対策V
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	TOEIC(10月から11月)
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	2年次に受験する試験で高得点を目指す
教科書	教材・問題集
特記	
授業計画	1 Part 5 - first practice/analysis 2 Part 5 - first practice/analysis continued 3 Part 5 - practice and check 4 Part 5 - practice and check 5 Part 6 - first practice/analysis 6 Part 6 - first practice/analysis continued 7 Mini Test Review Mini Test answers 8 Review Mini Test answers continued 9 Mini Test 10 Review Mini Test answers 11 Listening Comprehension Drills 12 Reading Comprehension Drills 13 Listening Comprehension Drills 14 Reading Comprehension Drills 15 Final review - teacher and student choice of topics
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	マナー・プロトコール応用
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	マナー・プロトコールの知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マナー・プロトコール検定2級合格を目指す
教科書	協会指定テキスト・問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 一章：マナーの歴史、作法の成り立ち、西洋マナー、アジアマナー</li> <li>2 二章：プロトコールの原則、席次例</li> <li>3 三章：国旗の扱い、礼拝場でのマナー、異文化コミュニケーション</li> <li>4 三章：メラビアンの方則、礼装の基準、贈答、手紙のマナー</li> <li>5 四章：ビジネスマナー、名刺の扱い方</li> <li>6 四章：電話対応、トラブル対応、来客対応</li> <li>7 五章：食事の作法、和食、和室</li> <li>8 五章：西洋料理、中国料理、各国の料理</li> <li>9 六章：お酒の種類、ワインの基本知識、お酒のマナー</li> <li>10 七章：冠婚葬祭、日本の通過儀礼</li> <li>11 八章：「婚」のしきたり、結婚の変遷</li> <li>12 九章：「葬」のしきたり、宗教別葬儀、法要、告別式</li> <li>13 十章：「祭」のしきたり(1月から6月)</li> <li>14 十章：「祭」のしきたり、(7月から12月)</li> <li>15 一章「マナーの歴史と意味」集中講義、一章全般を範囲とした確認テスト</li> <li>16 二章「国際人としてのプロトコール」集中講義、二章全般を範囲とした確認テスト</li> <li>17 三章「社会人に必要なマナー」集中講義、三章全般を範囲とした確認テスト</li> <li>18 四章「ビジネスシーンのマナー」集中講義、四章全般を範囲とした確認テスト</li> <li>19 五章「食事のマナー」集中講義、五章全般を範囲とした確認テスト</li> <li>20 六章「お酒のマナー」集中講義、六章全般を範囲とした確認テスト</li> <li>21 七章「冠のしきたり」集中講義、七章全般を範囲とした確認テスト</li> <li>22 八章「婚のしきたり」集中講義、八章全般を範囲とした確認テスト</li> <li>23 九章「葬のしきたり」集中講義、九章全般を範囲とした確認テスト</li> <li>24 十章「祭のしきたり」集中講義、十章全般を範囲とした確認テスト</li> <li>25 過去問①演習、解説、問題集からシャッフル問題100問</li> <li>26 過去問②演習、解説、問題集からシャッフル問題100問</li> <li>27 過去問③演習、解説、問題集からシャッフル問題100問</li> <li>28 過去問①演習、解説、問題集からシャッフル問題100問</li> <li>29 過去問②演習、解説、問題集からシャッフル問題100問</li> <li>30 過去問③演習、解説、問題集からシャッフル問題100問</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践自然科学 I 生物・地学
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	28時間
授業コマ数	14コマ(1コマ120分)
授業概要	生体から自然環境までの生物分野、地球の内部構造から宇宙までの地学分野を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な生物・地学の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生体の構造</li> <li>2 生体内の代謝</li> <li>3 生殖と発生</li> <li>4 遺伝と変異</li> <li>5 刺激の受容と反応</li> <li>6 内部環境の恒常性と調節</li> <li>7 生物の集団</li> <li>8 生物の進化と系統</li> <li>9 地球の姿と動く大地</li> <li>10 岩石</li> <li>11 大気と海洋①</li> <li>12 大気と海洋②</li> <li>13 太陽系と宇宙の構造①</li> <li>14 太陽系と宇宙の構造②、地球と人類</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経理キャリアデザイン I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	経理職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経理職に適したスーツの着こなし</li> <li>2 経理職に適した身だしなみ</li> <li>3 敬語の使い方</li> <li>4 経理職で良く聞かれる質疑応答①</li> <li>5 経理職で良く聞かれる質疑応答②</li> <li>6 筆記試験とは(一般常識試験)①</li> <li>7 筆記試験とは(一般常識試験)②</li> <li>8 筆記試験とは(適性検査試験)①</li> <li>9 筆記試験とは(適性検査試験)②</li> <li>10 作文の目的・形式と内容①</li> <li>11 作文の目的・形式と内容②</li> <li>12 作文の実践テクニック①</li> <li>13 作文の実践テクニック②</li> <li>14 作文の実践テクニック③</li> <li>15 作文の実践テクニック④</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経理キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	経理職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 仕事選びの基準</li> <li>2 求人票からの情報収集</li> <li>3 会社四季報、新聞からの情報収集①</li> <li>4 会社四季報、新聞からの情報収集②</li> <li>5 総合職と一般職</li> <li>6 経理職職種研究①</li> <li>7 経理職職種研究②</li> <li>8 経理職職種研究③</li> <li>9 経理職職種研究④</li> <li>10 経理職職種研究⑤</li> <li>11 経理職への志望理由①</li> <li>12 経理職への志望理由②</li> <li>13 経理職への志望理由③</li> <li>14 経理職への志望理由④</li> <li>15 経理職への志望理由⑤</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅢ	
実務家教員	○	
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	民間会社にて総務・秘書の実務経験を持つ教員による実習	
授業計画	1	挨拶の種類・笑顔、お辞儀
	2	正しい敬語の使い方
	3	状況に応じた言葉遣い
	4・5	演習
	6・7	効果測定
	8	対応の基本
	9	名刺交換
	10・11	演習
	12・13	総合演習
	14・15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅣ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 2 3 4~6 7 8~13 14・15	電話対応のマナー 電話の受け方の基本 電話の受け方～道案内～ 演習 電話のかけ方 演習 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインV	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 2 3~5 6~8 9 10~12 13 14・15	状況別の電話対応 状況別の対応方法 演習 電話対応練習① 伝言の受け方 演習 電話対応練習② 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	流通キャリアデザインⅢ	
実務家教員	○	
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	民間企業にて営業・販売の実務経験を持つ教員による実習	
授業計画	1	挨拶の種類・笑顔、お辞儀
	2	正しい敬語の使い方
	3	状況に応じた言葉遣い
	4・5	演習
	6・7	効果測定
	8	対応の基本
	9	名刺交換
	10・11	演習
	12・13	総合演習
	14・15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	流通キャリアデザインⅣ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	接客販売の心得
	2	お客様の心理理解
	3	接客用語
	4	状況別の店内接客
	5	状況別の店内接客
	6	演習
	7	演習
	8	電話対応での問い合わせ
	9	演習
	10	演習
	11	総合演習
	12	総合演習
	13	総合演習
	14	効果測定
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインV
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 営業職のマナー① 2 営業職のマナー② 3 訪問のマナー① 4 訪問のマナー② 5 演習 6 演習 7 商談の進め方① 8 商談の進め方② 9 演習 10 演習 11 総合演習 12 総合演習 13 総合演習 14 効果測定 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション実践
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 グループディスカッションとは</li> <li>2 グループディスカッションの役割</li> <li>3 抽象テーマ型グループディスカッション①</li> <li>4 抽象テーマ型グループディスカッション②</li> <li>5 抽象テーマ型グループディスカッション③</li> <li>6 課題解決型グループディスカッション①</li> <li>7 課題解決型グループディスカッション②</li> <li>8 課題解決型グループディスカッション③</li> <li>9 資料読み取り型グループディスカッション①</li> <li>10 資料読み取り型グループディスカッション②</li> <li>11 資料読み取り型グループディスカッション③</li> <li>12 フェルミ推定</li> <li>13 KJ法</li> <li>14 その他特殊型①</li> <li>15 その他特殊型②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1～3 学校と職場の違い 4～6 職場のマナー 7～9 仕事の進め方 10～12 報告、連絡、相談 13～15 挨拶 16～18 笑顔、お辞儀 19～21 敬語 22～24 応対の基本 25～27 電話応対 28～30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	接遇ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	接遇マナーとは
	2	接遇の心構え
	3	お茶の入れ方、出し方
	4	お見送り
	5	後片付け
	6~7	接遇の流れ
	8~13	演習
	14~15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	事務職ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	ビジネス電話対応、接遇に関する実践的な学習をする	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	電話対応、接遇に関する実践的な演習をし、習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	事務職の1日の流れ
	2~4	電話対応応用
	5~7	接遇の流れ
	8~13	演習(ロールプレイング)
	14~15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	給与計算実務
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義
授業の進め方	実務経験のある教員による講義と問題演習により、年末調整や所得税源泉徴収の知識を高める
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	民間企業で経理の実務経験を持つ教員による講義
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 所得税の基礎知識①</li> <li>2 所得税の基礎知識②</li> <li>3 所得税の基礎知識③</li> <li>4 年末調整のしかた①</li> <li>5 年末調整のしかた②</li> <li>6 年末調整のしかた③</li> <li>7 法定調書の流れ①</li> <li>8 法定調書の流れ②</li> <li>9 法定調書の流れ③</li> <li>10 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出①</li> <li>11 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出②</li> <li>12 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③</li> <li>13 労働保険の概要及び会計処理①</li> <li>14 労働保険の概要及び会計処理②</li> <li>15 労働保険の概要及び会計処理③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	財務会計	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間(3単位)	
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)	
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 外貨建会計① 2 外貨建会計② 3 外貨建会計③ 4 外貨建会計④ 5 リース取引① 6 リース取引② 7 リース取引③ 8 リース取引④ 9 キャッシュ・フロー計算書① 10 キャッシュ・フロー計算書② 11 キャッシュ・フロー計算書③ 12 キャッシュ・フロー計算書④ 13 キャッシュ・フロー計算書⑤ 14 キャッシュ・フロー計算書⑥ 15 税効果会計① 16 税効果会計② 17 税効果会計③ 18 税効果会計④ 19 税効果会計⑤ 20 税効果会計⑥ 21 退職給付会計① 22 退職給付会計② 23 退職給付会計③ 24 退職給付会計④ 25 退職給付会計⑤ 26 消費税法① 27 消費税法② 28 消費税法③ 29 消費税法④ 30 消費税法⑤	31 消費税法⑥ 32 消費税法⑦ 33 消費税法⑧ 34 消費税法⑨ 35 消費税法⑩ 36 法人税法① 37 法人税法② 38 法人税法③ 39 法人税法④ 40 法人税法⑤ 41 法人税法⑥ 42 法人税法⑦ 43 法人税法⑧ 44 法人税法⑨ 45 法人税法⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	販売仕入管理
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 売上事務の流れ</li> <li>2 納品書の作成と売上計上①</li> <li>3 納品書の作成と売上計上②</li> <li>4 請求書の作成と代金回収管理①</li> <li>5 請求書の作成と代金回収管理②</li> <li>6 請求書の作成と代金回収管理③</li> <li>7 複数の得意先との取引①</li> <li>8 複数の得意先との取引②</li> <li>9 複数の得意先との取引③</li> <li>10 仕入事務の流れ</li> <li>11 仕入管理の記帳①</li> <li>12 仕入管理の記帳②</li> <li>13 仕入代金の支払いと買掛金管理①</li> <li>14 仕入代金の支払いと買掛金管理②</li> <li>15 仕入代金の支払いと買掛金管理③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容																												
授業科目	時事																												
実務家教員																													
学部・学科	ビジネス学科2年制																												
履修年次	2年次																												
開講学期	後期																												
科目区分	選択																												
授業方法	講義																												
授業時間	30時間(1単位)																												
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)																												
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習																												
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る																												
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報収集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる																												
教科書	テキスト及び参考書																												
特記																													
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>用語知識①</td></tr> <tr><td>2</td><td>用語知識②</td></tr> <tr><td>3</td><td>用語知識③</td></tr> <tr><td>4</td><td>用語知識④</td></tr> <tr><td>6</td><td>考え方①</td></tr> <tr><td>7</td><td>考え方②</td></tr> <tr><td>8</td><td>考え方③</td></tr> <tr><td>9</td><td>考え方④</td></tr> <tr><td>10</td><td>発表①</td></tr> <tr><td>11</td><td>発表②</td></tr> <tr><td>12</td><td>発表③</td></tr> <tr><td>13</td><td>個人研究①</td></tr> <tr><td>14</td><td>個人研究②</td></tr> <tr><td>15</td><td>個人研究③</td></tr> </table>	1	用語知識①	2	用語知識②	3	用語知識③	4	用語知識④	6	考え方①	7	考え方②	8	考え方③	9	考え方④	10	発表①	11	発表②	12	発表③	13	個人研究①	14	個人研究②	15	個人研究③
1	用語知識①																												
2	用語知識②																												
3	用語知識③																												
4	用語知識④																												
6	考え方①																												
7	考え方②																												
8	考え方③																												
9	考え方④																												
10	発表①																												
11	発表②																												
12	発表③																												
13	個人研究①																												
14	個人研究②																												
15	個人研究③																												
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																												
備考																													

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	経理キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	挨拶の種類・笑顔、お辞儀
	2	正しい敬語の使い方
	3	状況に応じた言葉遣い
	4・5	演習
	6・7	効果測定
	8	対応の基本
	9	名刺交換
	10・11	演習
	12・13	総合演習
	14・15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅥ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	状況別オフィスワーク
	2	総合ロールプレイング
	3	総合ロールプレイング
	4	総合ロールプレイング
	5	総合ロールプレイング
	6	総合ロールプレイング
	7	総合ロールプレイング
	8	総合ロールプレイング
	9	総合ロールプレイング
	10	総合ロールプレイング
	11	総合ロールプレイング
	12	総合ロールプレイング
	13	効果測定
	14	効果測定
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	流通キャリアデザインVI	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	商品説明知識
	2	好感を持たれる商品説明
	3	演習
	4	演習
	5	クレームとは
	6	電話でのクレーム対応方法
	7	演習
	8	演習
	9	店内でのクレーム対応方法
	10	演習
	11	演習
	12	総合演習
	13	総合演習
	14	効果測定
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	言語知識（英会話基礎） I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択履修必須
授業方法	講義
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	外国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	基本的な英会話の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 英語基礎① 2 Self Introductions 3 Basic Conversation and Responses 4 英語基礎② 5 Everyday Conversation 6 Expressing Feelings 7 英語基礎③ 8 Emotions, Reactions, and Wh- Questions 9 Daily Life 10 英語基礎④ 11 Daily Life 2: Hospitality 12 Daily Life 3: Telephoning 13 英語基礎⑤ 14 Responding to Foreign Visitors 15 Review
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	言語知識(中国語) I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	中国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習のきっかけを作る。
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 中国語発音の基礎(1) 四つの声調・六つの基本母音・複合母音</li> <li>2 中国語発音の基礎(2) 21の子音・鼻音・声調変化</li> <li>3 中国語発音の基礎(3) 声調と変調・r化現象・発音のおさらい</li> <li>4 簡単な日常挨拶(1) 人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について</li> <li>5 簡単な日常挨拶(2) 基本的語順(是or動詞を述語とする場合)・丁寧語について</li> <li>6 数字を覚えよう 年,月,日,曜日の言い方・所属を表す「的」・疑問視「什么」</li> <li>7 数字の位用 「んは時」定「は日略される」並列の言い方・省点を表す「个」時刻と時間の表さる言い方・副詞「也」・疑問詞「何」様。</li> <li>8 存在・所有の表現 動詞「有」・否定「没有」・「什么」+名詞</li> <li>9 場所の表現 場所指示代名詞「这里」「那里」「哪里」・前置詞構造「在」</li> <li>10 買い物をする/値段を聞く&amp;値段交渉する 人民元の数え方・能願動詞「要」「能」「会」「可以」・語気助詞「了」</li> <li>11 乗り換えと両替 「必要・なければならない」を表す「要」・完了を表す「了」・動詞重ね型「看々」</li> <li>12 電話をする→「是～的」の構文・結果補語 約束する→ある経験を表す文型「動詞+过～」・まだ～していない「还没(有)～」</li> <li>13 確認する→もうすぐ～「要～了」・前置詞「从」「离」・選択疑問文「～、还是～」</li> <li>14 お客さんの出迎え&amp;歓迎会 連体修飾語としての動詞、動詞構造、主述構造・程度補語「得」</li> <li>15 別れを告げる&amp;総復習 仮説を表す「～的话」, 「要是～就～」・これまで習ってきた内容を総復習する</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	言語知識(韓国語) I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	韓国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	1. 読み書きができる。 2. 以下の簡単な会話ができる ①挨拶&自己紹介 ②買い物でのやりとり ③店での注文 ④道などを尋ねる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション; 韓国語に関する豆知識 基本母音</li> <li>2 基本子音①説明&amp;子音「K」 復習と会話</li> <li>3 小テスト 基本子音①-「N」 &amp; 「I」 &amp; 「K」 基本子音②-「M」 &amp; 「P」 &amp; 「S」</li> <li>4 復習と会話 基本子音④-「J」 &amp; 「H」 +まとめ</li> <li>5 小テスト 激音①-「Ch」 &amp; 「Kh」 復習と会話</li> <li>6 激音②-「Th」 &amp; 「Ph」 +まとめ 濃音①-「KK」 &amp; 「TT」 &amp; 「PP」</li> <li>7 小テスト 復習と会話 濃音②-「SS」 &amp; 「JJ」 +まとめ</li> <li>8 パッチム① [P20の説明、P23N] 復習と会話</li> <li>9 小テスト パッチム② [P20K、P21B] パッチム③ [P22M、P21NG]</li> <li>10 復習と会話 パッチム④ [P23L、P22T] +まとめ</li> <li>11 小テスト 合成母音① [P25&amp;26の説明] 復習と会話</li> <li>12 合成母音② [P27、28] &lt;1課&gt;私は日本人です。</li> <li>13 小テスト 宿題チェック &lt;1課&gt;私は日本人です。</li> <li>14 まとめ &lt;1課&gt;宿題チェック/総復習</li> <li>15 最終到達度確認テスト</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	マーケティング概要
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択履修必須
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	マーケティングの必要性和目的を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1~2 顧客満足 3~4 マーケティングの必要性 5~6 情報収集と分析 7~8 流通チャネル 9~10 プロモーション 11~12 財務知識 13~15 事例研究
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	マーケティング基礎
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択履修必須
授業方法	講義
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1~2 店舗データの理解 3~4 マーケティングの流れ 5~6 売上構成分析 7~8 来店客分析 9~10 商品分析 11~12 費用分析 13~14 課題抽出 15~16 アンケート調査分析 17~20 企画作成 21~22 様々なマーケティング 23~30 プレ卒業研究
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売職ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間(3単位)	
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)	
授業概要	接客に関する実践的な学習をする	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1 接客販売、営業マナーとは① 2 接客販売、営業マナーとは② 3 接客販売、営業マナーとは③ 4 接客販売の心得① 5 接客販売の心得② 6 接客販売の心得③ 7 お客様の心理① 8 お客様の心理② 9 お客様の心理③ 10 店内接客の基本① 11 店内接客の基本② 12 店内接客の基本③ 13 演習① 14 演習② 15 演習③ 16 営業の心得① 17 営業の心得② 18 営業の心得③ 19 営業の心得④ 20 訪問の流れ① 21 訪問の流れ② 22 訪問の流れ③ 23 訪問の流れ④ 24 演習① 25 演習② 26 演習③ 27 商談の進め方① 28 商談の進め方② 29 商談の進め方③ 30 商談の進め方④	31 商品説明① 32 商品説明② 33 商品説明③ 34 商品説明④ 35 商品説明⑤ 36 演習① 37 演習② 38 演習③ 39 演習④ 40 総合演習① 41 総合演習② 42 総合演習③ 43 効果測定① 44 効果測定② 45 効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	プレゼンテーション	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	企画から発表までの一連の流れ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	プレゼンテーションとは何か
	2	プレゼンテーションの種類
	3	企画
	~	情報収集
		シナリオ作成
	13	コンテンツ作成
	14	話し方
	15	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	卒業研究					
実務家教員						
学部・学科						
履修年次	2年次					
開講学期	後期					
科目区分	選択					
授業方法	実習					
授業時間	180時間(6単位)					
授業コマ数	90コマ(1コマ90分)					
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する					
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る					
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する					
教科書	テキスト及び参考書					
特記						
授業計画	1	オリエンテーション①	31	店舗見学③	61	立案仮説(調査・検証⑧)
	2	オリエンテーション②	32	店舗見学(分析①)	62	発表・企画案作成①
	3	オリエンテーション③	33	店舗見学(分析②)	63	発表・企画案作成②
	4	オリエンテーション④	34	店舗見学(分析③)	64	発表・企画案作成③
	5	業界情報収集①	35	店舗見学(分析④)	65	発表・企画案作成④
	6	業界情報収集②	36	店舗見学(分析⑤)	66	発表・企画案作成⑤
	7	業界情報収集③	37	店舗見学(分析⑥)	67	発表・企画案作成⑥
	8	業界情報収集④	38	店舗見学(分析⑦)	68	発表・企画案作成⑦
	9	業界情報収集⑤	39	店舗見学(分析⑧)	69	発表・企画案作成⑧
	10	業界情報収集⑥	40	店舗見学(分析⑨)	70	研究結果中間発表①
	11	業界情報収集⑦	41	店舗見学(分析⑩)	71	研究結果中間発表②
	12	業界情報収集⑧	42	店舗見学(課題抽出①)	72	研究結果中間発表③
	13	業界分析①	43	店舗見学(課題抽出②)	73	研究結果中間発表④
	14	業界分析②	44	店舗見学(課題抽出③)	74	研究結果中間発表⑤
	15	業界分析③	45	店舗見学(課題抽出④)	75	研究結果中間発表⑥
	16	業界分析④	46	店舗見学(課題抽出⑤)	76	企画案再検証①
	17	業界分析⑤	47	店舗見学(課題抽出⑥)	77	企画案再検証②
	18	業界分析⑥	48	店舗見学(課題抽出⑦)	78	企画案再検証③
	19	業界分析⑦	49	店舗見学(課題抽出⑧)	79	企画案再検証④
	20	業界分析⑧	50	店舗見学(仮説立案①)	80	企画案再検証⑤
	21	業界分析⑨	51	店舗見学(仮説立案②)	81	企画案再検証⑥
	22	業界分析⑩	52	店舗見学(仮説立案③)	82	研究結果最終発表①
	23	業界分析⑪	53	店舗見学(仮説立案④)	83	研究結果最終発表②
	24	業界分析⑫	54	立案仮説(調査・検証①)	84	研究結果最終発表③
	25	業界分析⑬	55	立案仮説(調査・検証②)	85	研究結果最終発表④
	26	業界分析⑭	56	立案仮説(調査・検証③)	86	研究結果最終発表⑤
	27	業界分析⑮	57	立案仮説(調査・検証④)	87	代表者コンテスト①
	28	業界分析⑯	58	立案仮説(調査・検証⑤)	88	代表者コンテスト②
	29	店舗見学①	59	立案仮説(調査・検証⑥)	89	代表者コンテスト③
	30	店舗見学②	60	立案仮説(調査・検証⑦)	90	代表者コンテスト④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況					
備考						

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容																																																																										
授業科目	言語知識(日本語)Ⅲ																																																																										
実務家教員																																																																											
学部・学科	ビジネス学科2年制																																																																										
履修年次	2年次																																																																										
開講学期	前期																																																																										
科目区分	選択																																																																										
授業方法	講義及び演習																																																																										
授業時間	180時間(6単位)																																																																										
授業コマ数	90コマ(1コマ90分)																																																																										
授業概要	日本語の言語知識(文字、語彙、文法)を学び、コミュニケーション能力(読解、聴解)を養います。																																																																										
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																																																																										
達成目標	ビジネスに必要な日本語コミュニケーション能力が幅広く身に付いている。																																																																										
教科書	テキスト及び参考書																																																																										
特記																																																																											
授業計画	<table border="1"> <tbody> <tr><td>1</td><td>日本語総合力養成 第3課 ならう〈そば屋の先生〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉</td></tr> <tr><td>2</td><td>日本語総合力養成 第3課 ならう〈そば屋の先生〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉</td></tr> <tr><td>3</td><td>日本語総合力養成 第3課 ならう〈そば屋の先生〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉</td></tr> <tr><td>4</td><td>日本語総合力養成 第3課 ならう〈そば屋の先生〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉</td></tr> <tr><td>5</td><td>日本語総合力養成 第3課 ならう〈そば屋の先生〉復習</td></tr> <tr><td>6</td><td>日本語総合力養成 第4課 よみとる〈記事の裏側〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉</td></tr> <tr><td>7</td><td>日本語総合力養成 第4課 よみとる〈記事の裏側〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉</td></tr> <tr><td>8</td><td>日本語総合力養成 第4課 よみとる〈記事の裏側〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉</td></tr> <tr><td>9</td><td>日本語総合力養成 第4課 よみとる〈記事の裏側〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉</td></tr> <tr><td>10</td><td>日本語総合力養成 第4課 よみとる〈記事の裏側〉復習</td></tr> <tr><td>11</td><td>日本語総合力養成 第5課 さばく〈裁判員のもやもや〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉</td></tr> <tr><td>12</td><td>日本語総合力養成 第5課 さばく〈裁判員のもやもや〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉</td></tr> <tr><td>13</td><td>日本語総合力養成 第5課 さばく〈裁判員のもやもや〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉</td></tr> <tr><td>14</td><td>日本語総合力養成 第5課 さばく〈裁判員のもやもや〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉</td></tr> <tr><td>15</td><td>日本語総合力養成 第5課 さばく〈裁判員のもやもや〉復習</td></tr> <tr><td>16</td><td>日本語総合力養成 第6課 うやまう〈ガイドさんの宗教〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉</td></tr> <tr><td>17</td><td>日本語総合力養成 第6課 うやまう〈ガイドさんの宗教〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉</td></tr> <tr><td>18</td><td>日本語総合力養成 第6課 うやまう〈ガイドさんの宗教〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉</td></tr> <tr><td>19</td><td>日本語総合力養成 第6課 うやまう〈ガイドさんの宗教〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉</td></tr> <tr><td>20</td><td>日本語総合力養成 第6課 うやまう〈ガイドさんの宗教〉7.〈話しましょう〉9.〈漢字を練習しましょう〉</td></tr> <tr><td>21</td><td>日本語総合力養成 第7課 ふせぐ〈並ぶ文化〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉</td></tr> <tr><td>22</td><td>日本語総合力養成 第7課 ふせぐ〈並ぶ文化〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉</td></tr> <tr><td>23</td><td>日本語総合力養成 第7課 ふせぐ〈並ぶ文化〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉</td></tr> <tr><td>24</td><td>日本語総合力養成 第7課 ふせぐ〈並ぶ文化〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉</td></tr> <tr><td>25</td><td>日本語総合力養成 第7課 ふせぐ〈並ぶ文化〉復習</td></tr> <tr><td>26</td><td>日本語総合力養成 第8課 もてなす〈ローソクの島〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉</td></tr> <tr><td>27</td><td>日本語総合力養成 第8課 もてなす〈ローソクの島〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉</td></tr> <tr><td>28</td><td>日本語総合力養成 第8課 もてなす〈ローソクの島〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉</td></tr> <tr><td>29</td><td>日本語総合力養成 第8課 もてなす〈ローソクの島〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉</td></tr> <tr><td>30</td><td>日本語総合力養成 第8課 もてなす〈ローソクの島〉復習</td></tr> <tr><td>31</td><td>日本語総合力養成 第9課 よびかける〈一茶の目〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉</td></tr> <tr><td>32</td><td>日本語総合力養成 第9課 よびかける〈一茶の目〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉</td></tr> <tr><td>33</td><td>日本語総合力養成 第9課 よびかける〈一茶の目〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉</td></tr> <tr><td>34</td><td>日本語総合力養成 第9課 よびかける〈一茶の目〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉</td></tr> <tr><td>35</td><td>日本語総合力養成 第9課 よびかける〈一茶の目〉復習</td></tr> <tr><td>36</td><td>日本語総合力養成 第10課 えらぶ〈自らの選択〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉</td></tr> <tr><td>37</td><td>日本語総合力養成 第10課 えらぶ〈自らの選択〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉</td></tr> </tbody> </table>	1	日本語総合力養成 第3課 ならう〈そば屋の先生〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉	2	日本語総合力養成 第3課 ならう〈そば屋の先生〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉	3	日本語総合力養成 第3課 ならう〈そば屋の先生〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉	4	日本語総合力養成 第3課 ならう〈そば屋の先生〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉	5	日本語総合力養成 第3課 ならう〈そば屋の先生〉復習	6	日本語総合力養成 第4課 よみとる〈記事の裏側〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉	7	日本語総合力養成 第4課 よみとる〈記事の裏側〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉	8	日本語総合力養成 第4課 よみとる〈記事の裏側〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉	9	日本語総合力養成 第4課 よみとる〈記事の裏側〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉	10	日本語総合力養成 第4課 よみとる〈記事の裏側〉復習	11	日本語総合力養成 第5課 さばく〈裁判員のもやもや〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉	12	日本語総合力養成 第5課 さばく〈裁判員のもやもや〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉	13	日本語総合力養成 第5課 さばく〈裁判員のもやもや〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉	14	日本語総合力養成 第5課 さばく〈裁判員のもやもや〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉	15	日本語総合力養成 第5課 さばく〈裁判員のもやもや〉復習	16	日本語総合力養成 第6課 うやまう〈ガイドさんの宗教〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉	17	日本語総合力養成 第6課 うやまう〈ガイドさんの宗教〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉	18	日本語総合力養成 第6課 うやまう〈ガイドさんの宗教〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉	19	日本語総合力養成 第6課 うやまう〈ガイドさんの宗教〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉	20	日本語総合力養成 第6課 うやまう〈ガイドさんの宗教〉7.〈話しましょう〉9.〈漢字を練習しましょう〉	21	日本語総合力養成 第7課 ふせぐ〈並ぶ文化〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉	22	日本語総合力養成 第7課 ふせぐ〈並ぶ文化〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉	23	日本語総合力養成 第7課 ふせぐ〈並ぶ文化〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉	24	日本語総合力養成 第7課 ふせぐ〈並ぶ文化〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉	25	日本語総合力養成 第7課 ふせぐ〈並ぶ文化〉復習	26	日本語総合力養成 第8課 もてなす〈ローソクの島〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉	27	日本語総合力養成 第8課 もてなす〈ローソクの島〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉	28	日本語総合力養成 第8課 もてなす〈ローソクの島〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉	29	日本語総合力養成 第8課 もてなす〈ローソクの島〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉	30	日本語総合力養成 第8課 もてなす〈ローソクの島〉復習	31	日本語総合力養成 第9課 よびかける〈一茶の目〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉	32	日本語総合力養成 第9課 よびかける〈一茶の目〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉	33	日本語総合力養成 第9課 よびかける〈一茶の目〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉	34	日本語総合力養成 第9課 よびかける〈一茶の目〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉	35	日本語総合力養成 第9課 よびかける〈一茶の目〉復習	36	日本語総合力養成 第10課 えらぶ〈自らの選択〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉	37	日本語総合力養成 第10課 えらぶ〈自らの選択〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉
1	日本語総合力養成 第3課 ならう〈そば屋の先生〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉																																																																										
2	日本語総合力養成 第3課 ならう〈そば屋の先生〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉																																																																										
3	日本語総合力養成 第3課 ならう〈そば屋の先生〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉																																																																										
4	日本語総合力養成 第3課 ならう〈そば屋の先生〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉																																																																										
5	日本語総合力養成 第3課 ならう〈そば屋の先生〉復習																																																																										
6	日本語総合力養成 第4課 よみとる〈記事の裏側〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉																																																																										
7	日本語総合力養成 第4課 よみとる〈記事の裏側〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉																																																																										
8	日本語総合力養成 第4課 よみとる〈記事の裏側〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉																																																																										
9	日本語総合力養成 第4課 よみとる〈記事の裏側〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉																																																																										
10	日本語総合力養成 第4課 よみとる〈記事の裏側〉復習																																																																										
11	日本語総合力養成 第5課 さばく〈裁判員のもやもや〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉																																																																										
12	日本語総合力養成 第5課 さばく〈裁判員のもやもや〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉																																																																										
13	日本語総合力養成 第5課 さばく〈裁判員のもやもや〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉																																																																										
14	日本語総合力養成 第5課 さばく〈裁判員のもやもや〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉																																																																										
15	日本語総合力養成 第5課 さばく〈裁判員のもやもや〉復習																																																																										
16	日本語総合力養成 第6課 うやまう〈ガイドさんの宗教〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉																																																																										
17	日本語総合力養成 第6課 うやまう〈ガイドさんの宗教〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉																																																																										
18	日本語総合力養成 第6課 うやまう〈ガイドさんの宗教〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉																																																																										
19	日本語総合力養成 第6課 うやまう〈ガイドさんの宗教〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉																																																																										
20	日本語総合力養成 第6課 うやまう〈ガイドさんの宗教〉7.〈話しましょう〉9.〈漢字を練習しましょう〉																																																																										
21	日本語総合力養成 第7課 ふせぐ〈並ぶ文化〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉																																																																										
22	日本語総合力養成 第7課 ふせぐ〈並ぶ文化〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉																																																																										
23	日本語総合力養成 第7課 ふせぐ〈並ぶ文化〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉																																																																										
24	日本語総合力養成 第7課 ふせぐ〈並ぶ文化〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉																																																																										
25	日本語総合力養成 第7課 ふせぐ〈並ぶ文化〉復習																																																																										
26	日本語総合力養成 第8課 もてなす〈ローソクの島〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉																																																																										
27	日本語総合力養成 第8課 もてなす〈ローソクの島〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉																																																																										
28	日本語総合力養成 第8課 もてなす〈ローソクの島〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉																																																																										
29	日本語総合力養成 第8課 もてなす〈ローソクの島〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉																																																																										
30	日本語総合力養成 第8課 もてなす〈ローソクの島〉復習																																																																										
31	日本語総合力養成 第9課 よびかける〈一茶の目〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉																																																																										
32	日本語総合力養成 第9課 よびかける〈一茶の目〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉																																																																										
33	日本語総合力養成 第9課 よびかける〈一茶の目〉5.〈まとめましょう〉6.〈使いましょう〉																																																																										
34	日本語総合力養成 第9課 よびかける〈一茶の目〉7.〈話しましょう〉8.〈漢字を練習しましょう〉																																																																										
35	日本語総合力養成 第9課 よびかける〈一茶の目〉復習																																																																										
36	日本語総合力養成 第10課 えらぶ〈自らの選択〉1.〈新しい言葉〉2.〈一緒に考えましょう〉																																																																										
37	日本語総合力養成 第10課 えらぶ〈自らの選択〉3.〈読みましょう〉4.〈答えましょう〉																																																																										

	38	日本語総合力養成 第10課 えらぶ 〈自らの選択〉 5. 〈まとめましょう〉 6. 〈使いましょう〉
	39	日本語総合力養成 第10課 えらぶ 〈自らの選択〉 7. 〈話しましょう〉 8. 〈漢字を練習しましょう〉
	40	日本語総合力養成 第10課 えらぶ 〈自らの選択〉 復習
	41	日本語総合力養成 第11課 いかす 〈もったいない話〉 1. 〈新しい言葉〉 2. 〈一緒に考えましょう〉
	42	日本語総合力養成 第11課 いかす 〈もったいない話〉 3. 〈読みましょう〉 4. 〈答えましょう〉
	43	日本語総合力養成 第11課 いかす 〈もったいない話〉 5. 〈まとめましょう〉 6. 〈使いましょう〉
	44	日本語総合力養成 第11課 いかす 〈もったいない話〉 7. 〈話しましょう〉 8. 〈漢字を練習しましょう〉
	45	日本語総合力養成 第11課 いかす 〈もったいない話〉 7. 〈話しましょう〉 8. 〈漢字を練習しましょう〉
	46	日本語総合力養成 第12課 つなぐ 〈折り鶴〉 1. 〈新しい言葉〉 2. 〈一緒に考えましょう〉
	47	日本語総合力養成 第12課 つなぐ 〈折り鶴〉 3. 〈読みましょう〉 4. 〈答えましょう〉
	48	日本語総合力養成 第12課 つなぐ 〈折り鶴〉 5. 〈まとめましょう〉 6. 〈使いましょう〉
	49	日本語総合力養成 第12課 つなぐ 〈折り鶴〉 7. 〈話しましょう〉 8. 〈漢字を練習しましょう〉
	50	日本語総合力養成 第12課 つなぐ 〈折り鶴〉 復習
	51	日本語総合力養成 第13課 たのしむ 〈なりわい〉 1. 〈新しい言葉〉 2. 〈一緒に考えましょう〉
	52	日本語総合力養成 第13課 たのしむ 〈なりわい〉 3. 〈読みましょう〉 4. 〈答えましょう〉
	53	日本語総合力養成 第13課 たのしむ 〈なりわい〉 5. 〈まとめましょう〉 6. 〈使いましょう〉
	54	日本語総合力養成 第13課 たのしむ 〈なりわい〉 7. 〈話しましょう〉 8. 〈漢字を練習しましょう〉
	55	日本語総合力養成 第13課 たのしむ 〈なりわい〉 復習
	56	日本語総合力養成 第14課 きたえる 〈健康な社会〉 1. 〈新しい言葉〉 2. 〈一緒に考えましょう〉
	57	日本語総合力養成 第14課 きたえる 〈健康な社会〉 3. 〈読みましょう〉 4. 〈答えましょう〉
	58	日本語総合力養成 第14課 きたえる 〈健康な社会〉 5. 〈まとめましょう〉 6. 〈使いましょう〉
	59	日本語総合力養成 第14課 きたえる 〈健康な社会〉 7. 〈話しましょう〉 8. 〈漢字を練習しましょう〉
	60	日本語総合力養成 第14課 きたえる 〈健康な社会〉 復習
	61	日本語総合力養成 第15課 いきる 〈ひとつの地球〉 1. 〈新しい言葉〉 2. 〈一緒に考えましょう〉
	62	日本語総合力養成 第15課 いきる 〈ひとつの地球〉 3. 〈読みましょう〉 4. 〈答えましょう〉
	63	日本語総合力養成 第15課 いきる 〈ひとつの地球〉 5. 〈まとめましょう〉 6. 〈使いましょう〉
	64	日本語総合力養成 第15課 いきる 〈ひとつの地球〉 7. 〈話しましょう〉 8. 〈漢字を練習しましょう〉
	65	日本語総合力養成 第15課 いきる 〈ひとつの地球〉 復習
授業計画	66	聴解 実戦練習(課題・ポイント・概要理解、発話発現、即時応答)①
	67	聴解 実戦練習(課題・ポイント・概要理解、発話発現、即時応答)②
	68	聴解 実戦練習(課題・ポイント・概要理解、発話発現、即時応答)③
	69	聴解 模擬試験①
	70	聴解 模擬試験②
	71	復習演習①
	72	復習演習②
	73	復習演習③
	74	復習演習④
	75	復習演習⑤
	76	模試と対策① 第1回文字・語彙・文法
	77	模試と対策① 第2回文字・語彙・文法
	78	模試と対策① 第1回聴解
	79	模試と対策① 第2回聴解
	80	模試と対策② 第1回文字・語彙・文法
	81	模試と対策② 第2回文字・語彙・文法
	82	模試と対策② 第1回聴解
	83	模試と対策② 第2回聴解
	84	模試と対策振り返り
	85	模試第1回 言語知識・読解
	86	模試第1回 聴解、言語知識解説
	87	模試第2回 言語知識・読解
	88	模試第2回 聴解、言語知識解説
	89	模試第3回 言語知識・読解
	90	模試第3回 聴解、言語知識解説
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	言語知識(日本語)Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	180時間(6単位)	
授業コマ数	90コマ(1コマ90分)	
授業概要	日本語の言語知識(文字、語彙、文法)を学び、コミュニケーション能力(読解、聴解)を養います。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	ビジネスに必要な日本語コミュニケーション能力が幅広く身に付いている。	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	コミュニケーション能力養成 1女性の生き方①
	2	コミュニケーション能力養成 1女性の生き方②
	3	コミュニケーション能力養成 1女性の生き方③
	4	コミュニケーション能力養成 1女性の生き方④
	5	コミュニケーション能力養成 1女性の生き方⑤
	6	コミュニケーション能力養成 1女性の生き方⑥
	7	コミュニケーション能力養成 1女性の生き方⑦
	8	コミュニケーション能力養成 1女性の生き方⑧
	9	コミュニケーション能力養成 2子どもと教育①
	10	コミュニケーション能力養成 2子どもと教育②
	11	コミュニケーション能力養成 2子どもと教育③
	12	コミュニケーション能力養成 2子どもと教育④
	13	コミュニケーション能力養成 2子どもと教育⑤
	14	コミュニケーション能力養成 2子どもと教育⑥
	15	コミュニケーション能力養成 2子どもと教育⑦
	16	コミュニケーション能力養成 2子どもと教育⑧
	17	コミュニケーション能力養成 3若者の感性①
	18	コミュニケーション能力養成 3若者の感性②
	19	コミュニケーション能力養成 3若者の感性③
	20	コミュニケーション能力養成 3若者の感性④
	21	コミュニケーション能力養成 3若者の感性⑤
	22	コミュニケーション能力養成 3若者の感性⑥
	23	コミュニケーション能力養成 3若者の感性⑦
	24	コミュニケーション能力養成 3若者の感性⑧
	25	コミュニケーション能力養成 振り返り
	26	コミュニケーション能力養成 4仕事への意識①
	27	コミュニケーション能力養成 4仕事への意識②
	28	コミュニケーション能力養成 4仕事への意識③
	29	コミュニケーション能力養成 4仕事への意識④
	30	コミュニケーション能力養成 4仕事への意識⑤
	31	コミュニケーション能力養成 4仕事への意識⑥
	32	コミュニケーション能力養成 4仕事への意識⑦
	33	コミュニケーション能力養成 4仕事への意識⑧
	34	コミュニケーション能力養成 5日本の外国人①
	35	コミュニケーション能力養成 5日本の外国人②
	36	コミュニケーション能力養成 5日本の外国人③
	37	コミュニケーション能力養成 5日本の外国人④

授業計画	38	コミュニケーション能力養成	5 日本の外国人⑤
	39	コミュニケーション能力養成	5 日本の外国人⑥
	40	コミュニケーション能力養成	5 日本の外国人⑦
	41	コミュニケーション能力養成	5 日本の外国人⑧
	42	復習演習①	
	43	復習演習②	
	44	復習演習③	
	45	復習演習④	
	46	文字・語彙・文法問題演習①	
	47	文字・語彙・文法問題演習②	
	48	文字・語彙・文法問題演習③	
	49	文字・語彙・文法問題演習④	
	50	文字・語彙・文法問題演習⑤	
	51	文字・語彙・文法問題演習⑥	
	52	文字・語彙・文法問題演習⑦	
	53	文字・語彙・文法問題演習⑧	
	54	文字・語彙・文法問題演習⑨	
	55	文字・語彙・文法問題演習⑩	
	56	文字・語彙・文法問題演習⑪	
	57	文字・語彙・文法問題演習⑫	
	58	文字・語彙・文法問題演習⑬	
	59	文字・語彙・文法問題演習⑭	
	60	文字・語彙・文法問題演習⑮	
	61	文字・語彙・文法問題演習⑯	
	62	文字・語彙・文法問題演習⑰	
	63	文字・語彙・文法問題演習⑱	
	64	文字・語彙・文法問題演習⑲	
	65	文字・語彙・文法問題演習⑳	
	66	文字・語彙・文法問題演習㉑	
	67	文字・語彙・文法問題演習㉒	
	68	文字・語彙・文法問題演習㉓	
	69	文字・語彙・文法問題演習㉔	
	70	文字・語彙・文法問題演習㉕	
	71	文字・語彙・文法問題演習㉖	
	72	文字・語彙・文法問題演習㉗	
	73	文字・語彙・文法問題演習㉘	
	74	文字・語彙・文法問題演習㉙	
	75	文字・語彙・文法問題演習㉚	
	76	模試と対策①	第1回文字・語彙・文法
	77	模試と対策①	第2回文字・語彙・文法
	78	模試と対策①	第1回聴解
	79	模試と対策①	第2回聴解
	80	模試と対策②	第1回文字・語彙・文法
	81	模試と対策②	第2回文字・語彙・文法
	82	模試と対策②	第1回聴解
83	模試と対策②	第2回聴解	
84	模試と対策振り返り		
85	模試第1回	言語知識・読解	
86	模試第1回	聴解、言語知識解説	
87	模試第2回	言語知識・読解	
88	模試第2回	聴解、言語知識解説	
89	模試第3回	言語知識・読解	
90	模試第3回	聴解、言語知識解説	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践数的 I 数的推理
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と数的処理力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 方程式(方程式、不等式、過不足算)</li> <li>2 方程式(平均算・過不足算)、整数・計算パズル(約数と倍数)</li> <li>3 整数・計算パズル(割り算の余り～覆面算)</li> <li>4 整数・計算パズル(n進法)、割合と比(割合)</li> <li>5 割合と比(比)</li> <li>6 割合と比(売買算)</li> <li>7 割合と比(濃度)</li> <li>8 速さ(速さ)</li> <li>9 速さ(旅人算)</li> <li>10 速さ(通過算、流水算、時計算)</li> <li>11 仕事算(仕事算、給排水算、ニュートン算)</li> <li>12 場合の数(場合の数、順列)</li> <li>13 場合の数(順列、組合せ)</li> <li>14 場合の数(道順)、確率(事象と確率、赤玉白玉、くじ引き)</li> <li>15 確率(赤玉白玉、くじ引き、サイコロ・コイン)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 10題の基礎的な解答力を測定する試験で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅱ 判断推理
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ(1コマ120分)
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と論理的な思考力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 論理</li> <li>2 集合の要素の個数</li> <li>3 順序(順序の決定)</li> <li>4 順序(順序の変動、順序の数値条件)</li> <li>5 対応(対応関係)</li> <li>6 対応(対応の数値条件、スケジュール)</li> <li>7 位置と方位(位置)</li> <li>8 勝ち負け、カード・ゲーム</li> <li>9 ウソの発言、推理・手順</li> <li>10 暗号、家系図</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 10題の基礎的な解答力を測定する試験で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅲ 空間把握・資料解釈
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	24時間
授業コマ数	12コマ(1コマ120分)
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	立体でも平面でも捉えられる力と、資料を読み解く力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 折り紙、回転の軌跡</li> <li>2 正多面体、展開図</li> <li>3 平面図形の構成、サイコロ、見取り図と投影図、積木</li> <li>4 積木、立体の切断、回転体</li> <li>5 一筆書き、平面図形の計量(平方根の計算、三平方の定理)</li> <li>6 平面図形の計量(三平方の定理、相似比、中点連結定理)</li> <li>7 平面図形の計量(底辺分割定理、相似比と面積比)</li> <li>8 平面図形の計量(角度、円周角の定理、接弦定理、円の接線の長さ)</li> <li>9 平面図形の計量(内接円、円弧の長さ)、資料解釈(実数・割合)</li> <li>10 平面図形の計量(扇形の面積)、資料解釈(構成比)</li> <li>11 立体図形の計量(立体の体積、回転体の体積)、資料解釈(指数)</li> <li>12 立体図形の計量(断面積、表面積、体積比)、資料解釈(増加率)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 題の基礎的な解答力を測定する試験で評価
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践数的IV 数的総合
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ(1コマ120分)
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	数的推理の基礎知識を定着させる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 方程式(方程式)</li> <li>2 方程式(不等式)(過不足算)</li> <li>3 方程式(平均算)(年齢算)</li> <li>4 整数・計算パズル(約数と倍数)</li> <li>5 整数・計算パズル(割り算の余り・整数の性質・カレンダー)</li> <li>6 整数・計算パズル(数列・魔方陣)</li> <li>7 整数・計算パズル(虫食算・覆面算・n進法)</li> <li>8 割合と比(割合)</li> <li>9 割合と比(比)</li> <li>10 割合と比(売買算)</li> <li>11 割合と比(濃度)</li> <li>12 速さ(速さ)</li> <li>13 速さ(旅人算・通過算)</li> <li>14 速さ(流水算・時計算)</li> <li>15 仕事算(仕事算)</li> <li>16 仕事算(給排水算・ニュートン算)</li> <li>17 場合の数(場合の数・順列)</li> <li>18 場合の数(組合せ・道順)</li> <li>19 確率(事象と確率・赤玉白玉)</li> <li>20 確率(赤玉白玉・くじ引き・サイコロ・コイン)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践社会科学Ⅰ 政治
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ(1コマ120分)
授業概要	基本的人権など憲法の基礎知識から本試験レベルの実践的知識まで学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 政治の基本理念、国家論</li> <li>2 政治制度論</li> <li>3 基本的人権総論、包括的基本権</li> <li>4 自由権</li> <li>5 社会権</li> <li>6 国会の機構と運営</li> <li>7 内閣の機構と運営</li> <li>8 裁判所の機構と運営</li> <li>9 地方自治</li> <li>10 選挙制度</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践社会科学Ⅱ 経済
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	24時間
授業コマ数	12コマ(1コマ120分)
授業概要	財政政策・外国為替などの経済分野と労働問題などの社会分野の基礎知識と本試験レベルの実践的知識までを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な経済と社会の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経済社会の変容、現代の企業</li> <li>2 現代の市場</li> <li>3 国民所得</li> <li>4 経済成長と景気循環</li> <li>5 通貨制度と金融政策</li> <li>6 財政制度と財政政策</li> <li>7 貿易と外国為替</li> <li>8 日本経済の動向</li> <li>9 国際経済の動向</li> <li>10 社会理論、労働問題</li> <li>11 社会保障、環境問題</li> <li>12 国際関係、現代の諸相</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践人文科学 I 地理
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ(1コマ120分)
授業概要	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験レベルの実践的知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な地理の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 世界の地形</li> <li>2 世界の気候</li> <li>3 世界の農業</li> <li>4 世界の資源</li> <li>5 世界の工業</li> <li>6 地図の特色と利用</li> <li>7 生活と地域</li> <li>8 日本地誌</li> <li>9 世界地誌(アジア、アフリカ)</li> <li>10 世界地誌(ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践人文科学Ⅱ 歴史
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	大和政権から昭和までの日本史と中国の歴史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な日本および中国の歴史の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大和政権と大化の改新</li> <li>2 平安時代</li> <li>3 鎌倉時代</li> <li>4 室町時代</li> <li>5 封建社会の確立</li> <li>6 江戸時代(武断政治、文治政治、三大改革)</li> <li>7 江戸時代(幕末)、明治維新</li> <li>8 立憲体制の確立</li> <li>9 近代文化の発展</li> <li>10 大正、昭和</li> <li>11 中国史(殷～漢)</li> <li>12 中国史(魏晋南北朝～隋、唐)</li> <li>13 中国史(宋、元)</li> <li>14 中国史(明、清)</li> <li>15 中国史(清の崩壊、中華民国)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践自然科学Ⅱ 物理・化学	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	28時間	
授業コマ数	14コマ(1コマ120分)	
授業概要	物理分野は基本的な公式を覚え、運動・熱・電気などの仕組みを学び、化学分野は物質の仕組みや物質の変化を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	一般教養として必要な物理・化学の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	運動の表現
	2	力
	3	運動方程式
	4	エネルギー
	5	運動量、熱
	6	波動、原子
	7	電気
	8	物質の構造①
	9	物質の構造②
	10	物質の状態①
	11	物質の状態②
	12	物質の変化①
	13	物質の変化②
	14	無機化合物
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験で評価	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践言語 I 文理・国語
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	15時間
授業コマ数	8コマ(1コマ120分) ※8コマ目のみ60分
授業概要	文章読解と本試験レベルの実践的な国語を並行して進める
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会人として求められる読解力と国語力を短期間で身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 要旨把握①、四字熟語①</li> <li>2 要旨把握②、四字熟語②</li> <li>3 内容合致①、ことわざ①</li> <li>4 内容合致②、ことわざ②</li> <li>5 文章整除①、文法基礎①</li> <li>6 文章整除②、文法基礎②</li> <li>7 文章の穴埋め①、敬語①</li> <li>8 文章の穴埋め②、敬語②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践演習 I 数的処理
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	24時間
授業コマ数	12コマ(1コマ120分)
授業概要	基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 方程式・不等式・整数・計算パズル</li> <li>2 割合と比</li> <li>3 速さ・仕事算</li> <li>4 場合の数・確率</li> <li>5 論理・集合と要素の個数</li> <li>6 順序・対応</li> <li>7 位置と方位・勝ち負け・カード・ウソの発言</li> <li>8 推理・手順・暗号・家系図</li> <li>9 折り紙・回転の軌跡・正多面体・展開図・平面図形の構成</li> <li>10 サイコロ・見取り図と投影図・積木・立体の切断・回転体・一筆書き</li> <li>11 平面図形の計量</li> <li>12 立体図形の計量・資料解釈</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅱ 社会科学
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	28時間
授業コマ数	14コマ(1コマ120分)
授業概要	政治・経済の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	社会科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 政治の基本理念、政治制度論</li> <li>2 基本的人権①</li> <li>3 基本的人権②</li> <li>4 国会の機構と運営</li> <li>5 内閣の機構と運営</li> <li>6 裁判所の機構と運営</li> <li>7 地方自治、選挙制度</li> <li>8 現代の企業、現代の市場</li> <li>9 国民所得</li> <li>10 通貨制度と金融政策</li> <li>11 財政制度と財政政策</li> <li>12 貿易と外国為替</li> <li>13 社会総合①</li> <li>14 社会総合②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 100問の知識習得状況を測定する試験で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅲ 人文科学
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	24時間
授業コマ数	12コマ(1コマ120分)
授業概要	地理・歴史・倫理の実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	人文科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集、オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 日本史(原始、古代) 2 日本史(中世、近世①) 3 日本史(近世②、近代①) 4 日本史(近代②、現代・通史) 5 地理(自然環境と地図) 6 地理(資源と産業、生活と地域) 7 地理(日本の地理) 8 地理(世界の地理) 9 世界史(東洋世界) 10 世界史(現代世界) 11 倫理(西洋思想) 12 倫理(東洋思想)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅳ 自然科学	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	16時間	
授業コマ数	8コマ(1コマ120分)	
授業概要	自然科学分野の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識の定着	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	生物演習①
	2	生物演習②
	3	地学演習①
	4	地学演習②
	5	物理演習①
	6	物理演習②
	7	化学演習①
	8	化学演習②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践答案練習 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	48時間
授業コマ数	24コマ(1コマ120分)
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	第20回目以降の模擬試験で全問題の半数以上の正解を目標とする
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基礎的なレベルの模擬試験①</li> <li>2 基礎的なレベルの模擬試験②</li> <li>3 基礎的なレベルの模擬試験③</li> <li>4 基礎的なレベルの模擬試験④</li> <li>5 基礎的なレベルの模擬試験⑤</li> <li>6 基礎的なレベルの模擬試験⑥</li> <li>7 基礎的なレベルの模擬試験⑦</li> <li>8 基礎的なレベルの模擬試験⑧</li> <li>9 基礎的なレベルの模擬試験⑨</li> <li>10 基礎的なレベルの模擬試験⑩</li> <li>11 基礎的なレベルの模擬試験⑪</li> <li>12 基礎的なレベルの模擬試験⑫</li> <li>13 基礎的なレベルの模擬試験⑬</li> <li>14 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑭</li> <li>15 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑮</li> <li>16 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑯</li> <li>17 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑰</li> <li>18 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑱</li> <li>19 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑲</li> <li>20 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑳</li> <li>21 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験㉑</li> <li>22 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験㉒</li> <li>23 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験㉓</li> <li>24 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験㉔</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	第1回から第19回までは模擬試験の取り組み姿勢、第20回から第24回までは模擬試験成績で評価
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	実践答案練習Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
授業時間	90時間			
授業コマ数	45コマ(1コマ120分)			
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する			
達成目標	基礎的な内容に実践的な問題を含む50題の模擬試験で30点以上を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験①	31	国家公務員タイプの模擬試験⑫
	2	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験②	32	国家公務員タイプの模擬試験⑬
	3	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験③	33	地方公務員タイプの模擬試験①
	4	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験④	34	地方公務員タイプの模擬試験②
	5	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑤	35	地方公務員タイプの模擬試験③
	6	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑥	36	地方公務員タイプの模擬試験④
	7	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑦	37	地方公務員タイプの模擬試験⑤
	8	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑧	38	地方公務員タイプの模擬試験⑥
	9	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑨	39	地方公務員タイプの模擬試験⑦
	10	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑩	40	地方公務員タイプの模擬試験⑧
	11	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑪	41	地方公務員タイプの模擬試験⑨
	12	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑫	42	地方公務員タイプの模擬試験⑩
	13	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑬	43	地方公務員タイプの模擬試験⑪
	14	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑭	44	地方公務員タイプの模擬試験⑫
	15	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑮	45	地方公務員タイプの模擬試験⑬
	16	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑯		
	17	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑰		
	18	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑱		
	19	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑲		
	20	国家公務員タイプの模擬試験①		
	21	国家公務員タイプの模擬試験②		
	22	国家公務員タイプの模擬試験③		
	23	国家公務員タイプの模擬試験④		
	24	国家公務員タイプの模擬試験⑤		
	25	国家公務員タイプの模擬試験⑥		
	26	国家公務員タイプの模擬試験⑦		
	27	国家公務員タイプの模擬試験⑧		
	28	国家公務員タイプの模擬試験⑨		
	29	国家公務員タイプの模擬試験⑩		
	30	国家公務員タイプの模擬試験⑪		
	成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価		
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある			

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	直前答案練習 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	108時間	
授業コマ数	54コマ(1コマ120分)	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1 国家公務員タイプの模擬試験① 2 模擬試験①の解説 3 国家公務員タイプの模擬試験② 4 模擬試験②の解説 5 国家公務員タイプの模擬試験③ 6 模擬試験③の解説 7 国家公務員タイプの模擬試験④ 8 模擬試験④の解説 9 国家公務員タイプの模擬試験⑤ 10 模擬試験⑤の解説 11 国家公務員タイプの模擬試験⑥ 12 模擬試験⑥の解説 13 国家公務員タイプの模擬試験⑦ 14 模擬試験⑦の解説 15 国家公務員タイプの模擬試験⑧ 16 模擬試験⑧の解説 17 国家公務員タイプの模擬試験⑨ 18 模擬試験⑨の解説 19 国家公務員タイプの模擬試験⑩ 20 模擬試験⑩の解説 21 国家公務員タイプの模擬試験⑪ 22 模擬試験⑪の解説 23 国家公務員タイプの模擬試験⑫ 24 模擬試験⑫の解説 25 国家公務員タイプの模擬試験⑬ 26 模擬試験⑬の解説 27 地方公務員タイプの模擬試験① 28 模擬試験①の解説 29 地方公務員タイプの模擬試験② 30 模擬試験②の解説	31 地方公務員タイプの模擬試験③ 32 模擬試験③の解説 33 地方公務員タイプの模擬試験④ 34 模擬試験④の解説 35 地方公務員タイプの模擬試験⑤ 36 模擬試験⑤の解説 37 地方公務員タイプの模擬試験⑥ 38 模擬試験⑥の解説 39 地方公務員タイプの模擬試験⑦ 40 模擬試験⑦の解説 41 地方公務員タイプの模擬試験⑧ 42 模擬試験⑧の解説 43 地方公務員タイプの模擬試験⑨ 44 模擬試験⑨の解説 45 地方公務員タイプの模擬試験⑩ 46 模擬試験⑩の解説 47 地方公務員タイプの模擬試験⑪ 48 模擬試験⑪の解説 49 地方公務員タイプの模擬試験⑫ 50 模擬試験⑫の解説 51 地方公務員タイプの模擬試験⑬ 52 模擬試験⑬の解説 53 地方公務員タイプの模擬試験⑭ 54 模擬試験⑭の解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	直前答案練習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	102時間	
授業コマ数	51コマ(1コマ120分)	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1 本試験レベルの模擬試験① 2 模擬試験①の解説 3 本試験レベルの模擬試験② 4 模擬試験②の解説 5 本試験レベルの模擬試験③ 6 模擬試験③の解説 7 本試験レベルの模擬試験④ 8 模擬試験④の解説 9 本試験レベルの模擬試験⑤ 10 模擬試験⑤の解説 11 本試験レベルの模擬試験⑥ 12 模擬試験⑥の解説 13 本試験レベルの模擬試験⑦ 14 模擬試験⑦の解説 15 本試験レベルの模擬試験⑧ 16 模擬試験⑧の解説 17 本試験レベルの模擬試験⑨ 18 模擬試験⑨の解説 19 本試験レベルの模擬試験⑩ 20 模擬試験⑩の解説 21 本試験レベルの模擬試験⑪ 22 模擬試験⑪の解説 23 本試験レベルの模擬試験⑫ 24 模擬試験⑫の解説 25 本試験レベルの模擬試験⑬ 26 模擬試験⑬の解説 27 本試験レベルの模擬試験⑭ 28 模擬試験⑭の解説 29 本試験レベルの模擬試験⑮ 30 模擬試験⑮の解説	31 本試験レベルの模擬試験⑯ 32 模擬試験⑯の解説 33 本試験レベルの模擬試験⑰ 34 模擬試験⑰の解説 35 本試験レベルの模擬試験⑱ 36 模擬試験⑱の解説 37 本試験レベルの模擬試験⑲ 38 模擬試験⑲の解説 39 本試験レベルの模擬試験⑳ 40 模擬試験⑳の解説 41 本試験レベルの模擬試験㉑ 42 模擬試験㉑の解説 43 本試験レベルの模擬試験㉒ 44 模擬試験㉒の解説 45 本試験レベルの模擬試験㉓ 46 模擬試験㉓の解説 47 本試験レベルの模擬試験㉔ 48 模擬試験㉔の解説 49 本試験レベルの模擬試験㉕ 50 模擬試験㉕の解説 51 模擬試験(過去問題)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地方公務員試験タイプの模擬試験①</li> <li>2 模擬試験①の解説</li> <li>3 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験①</li> <li>4 模擬試験①の解説</li> <li>5 地方公務員タイプの模擬試験②</li> <li>6 模擬試験②の解説</li> <li>7 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験②</li> <li>8 模擬試験②の解説</li> <li>9 地方公務員タイプの模擬試験③</li> <li>10 模擬試験③の解説</li> <li>11 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験③</li> <li>12 模擬試験③の解説</li> <li>13 地方公務員タイプの模擬試験④</li> <li>14 模擬試験④の解説</li> <li>15 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験④</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員時事対策
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	自然科学から国際問題まで幅広いジャンルの社会時事を学ぶ
授業の進め方	重要な時事ワードを軸にその内容を解説し、問題演習まで行う
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 時事(政治①) 2 時事(政治②) 3 時事(政治③) 4 時事(経済①) 5 時事(経済②) 6 時事(文化①) 7 時事(文化②) 8 時事(文化③) 9 時事(科学①) 10 時事(科学②) 11 時事(科学③) 12 時事(科学④) 13 時事(科学⑤) 14 時事(国際問題①) 15 時事(国際問題②)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員時事研究
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身に付ける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 情報収集と考察 テーマ① 2 情報収集と考察 テーマ② 3 情報収集と考察 テーマ③ 4 情報収集と考察 テーマ④ 5 情報収集と考察 テーマ⑤ 6 情報収集と考察 テーマ⑥ 7 情報収集と考察 テーマ⑦ 8 情報収集と考察 テーマ⑧ 9 情報収集と考察 テーマ⑨ 10 情報収集と考察 テーマ⑩ 11 情報収集と考察 テーマ⑪ 12 情報収集と考察 テーマ⑫ 13 情報収集と考察 テーマ⑬ 14 情報収集と考察 テーマ⑭ 15 情報収集と考察 テーマ⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	レポート100% 提出物の成果で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス文書作成
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	ビジネス文書を作成する上で必要となる知識を学ぶ
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する
達成目標	自身でビジネス文書を作成出来るようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ビジネス文書の基礎</li> <li>2 文字入力の基礎</li> <li>3 ビジネス文書作成 (案内文①)</li> <li>4 ビジネス文書作成 (案内文②)</li> <li>5 ビジネス文書作成 (送付状①)</li> <li>6 ビジネス文書作成 (送付状②)</li> <li>7 ビジネス文書作成 (社内文書①)</li> <li>8 ビジネス文書作成 (社内文書②)</li> <li>9 ビジネス文書作成 (表作成①)</li> <li>10 ビジネス文書作成 (表作成②)</li> <li>11 ビジネス文書作成 (表作成③)</li> <li>12 ビジネス文書作成 (文章と表の組み合わせ①)</li> <li>13 ビジネス文書作成 (文章と表の組み合わせ②)</li> <li>14 ビジネス文書作成 (メール文章・メールの設定)</li> <li>15 効果測定</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公務員キャリアデザイン I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ(1コマ120分)	
授業概要	就職活動に必要な所作を学び、公務員試験合格に向けた面接指導を行う	
授業の進め方	講義で基本的スキルを学び、座学終了後は実践を取り入れて進行する	
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 面接の基本 2 自己分析 3 エントリーシート① 4 エントリーシート② 5 エントリーシート③ 6 効果測定(入退室・自己分析) 7 面接質問項目 8 志望動機 9 面接カードの作成① 10 面接カードの作成② 11 効果測定(全般) 12 集団討論対策① 13 集団討論対策② 14 受験職種研究(職種①) 15 模擬面接(職種①1回目) 16 模擬面接(職種①2回目) 17 模擬面接(職種①3回目) 18 受験職種研究(職種②) 19 模擬面接(職種②1回目) 20 模擬面接(職種②2回目) 21 模擬面接(職種②3回目) 22 受験職種研究(職種③) 23 模擬面接(職種③1回目) 24 模擬面接(職種③2回目) 25 模擬面接(職種③3回目) 26 受験職種研究(職種④) 27 模擬面接(職種④1回目) 28 模擬面接(職種④2回目) 29 模擬面接(職種④3回目) 30 受験職種研究(職種⑤)	31 模擬面接(職種⑤1回目) 32 模擬面接(職種⑤2回目) 33 模擬面接(職種⑤3回目) 34 受験職種研究(職種⑥) 35 模擬面接(職種⑥1回目) 36 模擬面接(職種⑥2回目) 37 模擬面接(職種⑥3回目) 38 受験職種研究(職種⑦) 39 模擬面接(職種⑦1回目) 40 模擬面接(職種⑦2回目) 41 模擬面接(職種⑦3回目) 42 受験職種研究(職種⑧) 43 模擬面接(職種⑧1回目) 44 模擬面接(職種⑧2回目) 45 模擬面接(職種⑧3回目)
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価	
備考	授業順序は前後することがある	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公務員キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ(1コマ120分)	
授業概要	公務員試験合格に向けた面接指導を行う	
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で個人面接を実施・見学、修正を行い反復する	
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1 受験職種研究1 (職種①) 2 受験職種研究2 (職種①) 3 受験職種研究3 (職種①) 4 模擬個人面接1 (職種①) 5 模擬個人面接2 (職種①) 6 模擬個人面接3 (職種①) 7 受験職種研究4 (職種②) 8 受験職種研究5 (職種②) 9 受験職種研究6 (職種②) 10 模擬個人面接4 (職種②) 11 模擬個人面接5 (職種②) 12 模擬個人面接6 (職種②) 13 受験職種研究7 (職種③) 14 受験職種研究8 (職種③) 15 受験職種研究9 (職種③) 16 模擬個人面接7 (職種③) 17 模擬個人面接8 (職種③) 18 模擬個人面接9 (職種③) 19 受験職種研究10 (職種④) 20 受験職種研究11 (職種④) 21 受験職種研究12 (職種④) 22 模擬個人面接10 (職種④) 23 模擬個人面接11 (職種④) 24 模擬個人面接12 (職種④) 25 受験職種研究13 (職種⑤) 26 受験職種研究14 (職種⑤) 27 受験職種研究15 (職種⑤) 28 模擬個人面接13 (職種⑤) 29 模擬個人面接14 (職種⑤) 30 模擬個人面接15 (職種⑤)	31 受験職種研究16 (職種⑥) 32 受験職種研究17 (職種⑥) 33 受験職種研究18 (職種⑥) 34 模擬個人面接16 (職種⑥) 35 模擬個人面接17 (職種⑥) 36 模擬個人面接18 (職種⑥) 37 受験職種研究19 (職種⑦) 38 受験職種研究20 (職種⑦) 39 受験職種研究21 (職種⑦) 40 模擬個人面接19 (職種⑦) 41 模擬個人面接20 (職種⑦) 42 模擬個人面接21 (職種⑦) 43 受験職種研究22 (職種⑧) 44 受験職種研究23 (職種⑧) 45 受験職種研究24 (職種⑧) 46 模擬個人面接22 (職種⑧) 47 模擬個人面接23 (職種⑧) 48 模擬個人面接24 (職種⑧) 49 受験職種研究25 (職種⑨) 50 受験職種研究26 (職種⑨) 51 受験職種研究27 (職種⑨) 52 模擬個人面接25 (職種⑨) 53 模擬個人面接26 (職種⑨) 54 模擬個人面接27 (職種⑨) 55 受験職種研究28 (職種⑩) 56 受験職種研究29 (職種⑩) 57 受験職種研究30 (職種⑩) 58 模擬個人面接28 (職種⑩) 59 模擬個人面接29 (職種⑩) 60 模擬個人面接30 (職種⑩)
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢で評価	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ(1コマ120分)
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習を繰り返す行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身に付ける
教科書	オリジナルテキスト、実戦問題集、模擬試験
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 適性試験パターンⅠの解答方法</li> <li>2 適性試験パターンⅠの練習</li> <li>3 適性試験パターンⅡの解答方法</li> <li>4 適性試験パターンⅡの練習</li> <li>5 適性試験パターンⅢの解答方法</li> <li>6 適性試験パターンⅢの練習</li> <li>7 適性試験練習①</li> <li>8 適性試験練習②</li> <li>9 適性試験練習③</li> <li>10 適性試験練習④</li> <li>11 適性試験練習⑤</li> <li>12 適性試験練習⑥</li> <li>13 適性試験練習⑦</li> <li>14 適性試験練習⑧</li> <li>15 適性試験練習⑨</li> <li>16 適性試験練習⑩</li> <li>17 適性試験練習⑪</li> <li>18 適性試験練習⑫</li> <li>19 適性試験練習⑬</li> <li>20 適性試験練習⑭</li> <li>21 模擬試験(適性試験①)</li> <li>22 模擬試験(適性試験②)</li> <li>23 模擬試験(適性試験③)</li> <li>24 模擬試験(適性試験④)</li> <li>25 模擬試験(適性試験⑤)</li> <li>26 模擬試験(適性試験⑥)</li> <li>27 模擬試験(適性試験⑦)</li> <li>28 模擬試験(適性試験⑧)</li> <li>29 模擬試験(適性試験⑨)</li> <li>30 模擬試験(適性試験⑩)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ(1コマ120分)
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト、実戦問題集、模擬試験
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 適性試験パターンⅠの解答方法</li> <li>2 適性試験パターンⅠの練習</li> <li>3 適性試験パターンⅡの解答方法</li> <li>4 適性試験パターンⅡの練習</li> <li>5 適性試験パターンⅢの解答方法</li> <li>6 適性試験パターンⅢの練習</li> <li>7 適性試験練習①</li> <li>8 適性試験練習②</li> <li>9 適性試験練習③</li> <li>10 適性試験練習④</li> <li>11 適性試験練習⑤</li> <li>12 適性試験練習⑥</li> <li>13 模擬試験(適性試験①)</li> <li>14 模擬試験(適性試験②)</li> <li>15 模擬試験(適性試験③)</li> <li>16 模擬試験(適性試験④)</li> <li>17 模擬試験(適性試験⑤)</li> <li>18 模擬試験(適性試験⑥)</li> <li>19 模擬試験(適性試験⑦)</li> <li>20 模擬試験(適性試験⑧)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員教養論作文対策
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	公務員教養論作文試験対策のレクチャーおよび実践練習を行う
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 論作文の書き方と正しい用紙の使い方</li> <li>2 試験種別作文テーマの傾向</li> <li>3 基本テーマによる論作文</li> <li>4 添削および返却答案の修正</li> <li>5 模範論作文の研究</li> <li>6 論作文練習①</li> <li>7 論作文練習②</li> <li>8 論作文練習③</li> <li>9 論作文練習④</li> <li>10 論作文練習⑤</li> <li>11 論作文練習⑥</li> <li>12 論作文練習⑦</li> <li>13 論作文練習⑧</li> <li>14 論作文練習⑨</li> <li>15 論作文練習⑩</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、提出した論作文の完成度で評価
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実習
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	トレーニング関連の講義から得た知識を活かした実習を行う
授業の進め方	精通者による講義を受け、筋力トレーニング・ストレッチ運動・集団演技などの実習を行う
達成目標	トレーニングを通して、公安職に最低限必要な体力を養う
教科書	なし
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 精通者における講義</li> <li>2 筋力トレーニング・ストレッチ運動</li> <li>3 集団演技①</li> <li>4 集団演技②</li> <li>5 集団演技③</li> <li>6 集団演技④</li> <li>7 集団演技⑤</li> <li>8 集団演技⑥</li> <li>9 集団演技⑦</li> <li>10 集団演技⑧</li> <li>11 集団演技⑨</li> <li>12 集団演技⑩</li> <li>13 集団演技⑪</li> <li>14 集団演技⑫</li> <li>15 球技</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、出席状況で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習・実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	15時間
授業コマ数	8コマ（1コマ120分、5回目のみ60分）
授業概要	京都府行政書士会から講師をお招きし、行政書士資格についての説明を聞いた上、官公庁がどのように行政書士の方と交流があるかを理解する
授業の進め方	京都府行政書士会からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、実習にも参加する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	京都府行政書士会（行政書士）による講義を基にした演習・実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 行政書士に関する知識研究</li> <li>2 行政書士に関するレポートを作成</li> <li>3 行政書士資格試験について体験</li> <li>4 行政書士会講師による講演</li> <li>5 講演会に関する効果測定の実施</li> <li>6 講演を受けてのレポート作成①</li> <li>7 講演を受けてのレポート作成②</li> <li>8 講演を受けてのレポート作成③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅲ	
実務家教員	○	
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	15時間	
授業コマ数	8コマ（1コマ120分、最終コマのみ60分です）	
授業概要	官公庁から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	国家公務員（公安職）の方による講義を基にした演習	
授業計画	1	実務経験者における講義
	2	レポート研究①
	3	レポート研究②
	4	レポート研究③
	5	実務経験者における講義
	6	レポート研究④
	7	レポート研究⑤
	8	レポート研究⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	<b>演習</b>
授業時間	15時間
授業コマ数	8コマ（1コマ120分、最終コマのみ60分です）
授業概要	官公庁から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	地方公務員（公安系）職員の方による講義を基にした演習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地方公務員（公安系）に関する調査・レポート①</li> <li>2 地方公務員（公安系）に関する調査・レポート②</li> <li>3 実務経験者による講演会</li> <li>4 講演会を受けての感想・総評</li> <li>5 グループワーク①</li> <li>6 グループワーク②</li> <li>7 グループワーク③</li> <li>8 グループワーク④</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	職業実務V
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	15時間
授業コマ数	8コマ(1コマ120分、最終コマのみ60分です)
授業概要	官公庁から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、実習にも参加する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	地方公務員(事務系)関係者による講義を基にした演習・実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地方公務員(事務系)に関する調査・レポート①</li> <li>2 地方公務員(事務系)に関する調査・レポート②</li> <li>3 実務経験者による講演会</li> <li>4 講演会を受けての感想・総評</li> <li>5 グループワーク①</li> <li>6 グループワーク②</li> <li>7 グループワーク③</li> <li>8 グループワーク④</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公官庁講話
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ(1コマ120分)
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める
授業の進め方	現役公務員の話聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する
教科書	なし
特記	実務経験者による講義
授業計画	1 職種別ガイダンス① 2 職種別ガイダンス② 3 職種別ガイダンス③ 4 職種別ガイダンス④ 5 職種別ガイダンス⑤ 6 職種別ガイダンス⑥ 7 職種別ガイダンス⑦ 8 職種別ガイダンス⑧ 9 職種別ガイダンス⑨ 10 職種別ガイダンス⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加回数ならびに参加姿勢、授業内レポートの完成度で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公務員倫理	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	15時間	
授業コマ数	8コマ(1コマ120分、最終コマのみ60分です)	
授業概要	実務経験者をお招きし、公務員に関する法令や服務規程を学ぶ	
授業の進め方	実務経験者による講義をもとに、各自研究課題を作成する	
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける	
教科書	なし	
特記	実務経験者による講義を基にした演習	
授業計画	1	公務員制度
	2	公務員服務規程
	3	業務上のマナー
	4	公務員関連の法令研究①
	5	公務員関連の法令研究②
	6	公務員服務規程の研究①
	7	公務員服務規程の研究②
	8	レポート作成
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度で評価	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公共ボランティア実習 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける
教科書	なし
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ボランティアの基礎知識</li> <li>2 自治体とボランティア</li> <li>3 ボランティア実体験①</li> <li>4 ボランティア実体験②</li> <li>5 ボランティア実体験③</li> <li>6 ボランティア実体験④</li> <li>7 ボランティア実体験⑤</li> <li>8 ボランティア実体験⑥</li> <li>9 ボランティア実体験⑦</li> <li>10 ボランティア実体験⑧</li> <li>11 ボランティア実体験⑨</li> <li>12 ボランティア実体験⑩</li> <li>13 ボランティア実体験⑪</li> <li>14 ボランティア実体験⑫</li> <li>15 ボランティアレポート</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業・実習への参加回数・参加姿勢、授業内レポートの完成度で評価
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける
教科書	なし
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ボランティアの基礎知識</li> <li>2 自治体とボランティア</li> <li>3 ボランティア実体験①</li> <li>4 ボランティア実体験②</li> <li>5 ボランティア実体験③</li> <li>6 ボランティア実体験④</li> <li>7 ボランティア実体験⑤</li> <li>8 ボランティア実体験⑥</li> <li>9 ボランティア実体験⑦</li> <li>10 ボランティア実体験⑧</li> <li>11 ボランティア実体験⑨</li> <li>12 ボランティア実体験⑩</li> <li>13 ボランティア実体験⑪</li> <li>14 ボランティア実体験⑫</li> <li>15 ボランティアレポート</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業・実習への参加回数・参加姿勢、授業内レポートの完成度で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	法律研究
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	民法に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	法律関係実務家による講義を基にした実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 法律概論(講義)</li> <li>2 民法の考え方(講義)</li> <li>3 課題①の研究1</li> <li>4 課題①の研究2</li> <li>5 課題②の研究1</li> <li>6 課題②の研究2</li> <li>7 課題③の研究1</li> <li>8 課題③の研究2</li> <li>9 研究発表シナリオ作成①</li> <li>10 研究発表シナリオ作成②</li> <li>11 研究発表準備①</li> <li>12 研究発表準備②</li> <li>13 模擬プレゼンテーション</li> <li>14 研究発表プレゼンテーション①</li> <li>15 研究発表プレゼンテーション②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	行政研究
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究および発表を通じて防災への理解を深める
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	防衛省職員による講義を基にした実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 災害対策の枠組み(講義)</li> <li>2 災害対策の実例(講義)</li> <li>3 課題研究①</li> <li>4 課題研究②</li> <li>5 課題研究③</li> <li>6 課題研究④</li> <li>7 課題研究⑤</li> <li>8 課題研究⑥</li> <li>9 研究発表シナリオ作成①</li> <li>10 研究発表シナリオ作成②</li> <li>11 研究発表準備①</li> <li>12 研究発表準備②</li> <li>13 模擬プレゼンテーション</li> <li>14 研究発表プレゼンテーション①</li> <li>15 研究発表プレゼンテーション②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評で評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	会社経理実務
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	民間企業で経理の実務経験を持つ教員による講義
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経理・総務の年間カリキュラム</li> <li>2 小切手・手形の実務上のポイント</li> <li>3 入出金伝票と現金出納帳</li> <li>4 当座預金出納帳と手形記入帳</li> <li>5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分</li> <li>6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理①</li> <li>7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理②</li> <li>8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③</li> <li>9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④</li> <li>10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤</li> <li>11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥</li> <li>12 源泉所得税(給与)の徴収・納付事務①</li> <li>13 源泉所得税(給与)の徴収・納付事務②</li> <li>14 源泉所得税(給与)の徴収・納付事務③</li> <li>15 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(基礎)①</li> <li>16 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(基礎)②</li> <li>17 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(基礎)③</li> <li>18 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(応用)①</li> <li>19 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(応用)②</li> <li>20 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(応用)③</li> <li>21 個人住民税の徴収及び納付①</li> <li>22 個人住民税の徴収及び納付②</li> <li>23 印紙税の基礎知識</li> <li>24 受取利息の会計処理</li> <li>25 消費税法の概要①</li> <li>26 消費税法の概要②</li> <li>27 消費税の会計処理</li> <li>28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門)①</li> <li>29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門)②</li> <li>30 原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門)③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習 I
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 一般的なビジネス文書の作成① 5 一般的なビジネス文書の作成② 6 一般的なビジネス文書の作成③ 7 シンプルなレポートや報告書の作成① 8 シンプルなレポートや報告書の作成② 9 シンプルなレポートや報告書の作成③ 10 表、画像、図形を使った文書の作成(1)① 11 表、画像、図形を使った文書の作成(1)② 12 表、画像、図形を使った文書の作成(1)③ 13 表、画像、図形を使った文書の作成(1)④ 14 表、画像、図形を使った文書の作成(1)⑤ 15 表、画像、図形を使った文書の作成(1)⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文章の作成と管理①</li> <li>2 文章の作成と管理②</li> <li>3 文章の作成と管理③</li> <li>4 表作成の基本操作①</li> <li>5 表作成の基本操作②</li> <li>6 表作成の基本操作③</li> <li>7 表、画像、図形を使った文書の作成(2)①</li> <li>8 表、画像、図形を使った文書の作成(2)②</li> <li>9 表、画像、図形を使った文書の作成(2)③</li> <li>10 見やすく使いやすい表にする編集操作①</li> <li>11 見やすく使いやすい表にする編集操作②</li> <li>12 見やすく使いやすい表にする編集操作③</li> <li>13 見やすく使いやすい表にする編集操作④</li> <li>14 見やすく使いやすい表にする編集操作⑤</li> <li>15 見やすく使いやすい表にする編集操作⑥</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Word:長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel:目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word:段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel:複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文書の作成と管理①</li> <li>2 文書の作成と管理②</li> <li>3 文書の作成と管理③</li> <li>4 数式・関数を活用した集計表の作成①</li> <li>5 数式・関数を活用した集計表の作成②</li> <li>6 数式・関数を活用した集計表の作成③</li> <li>7 ワークシート間の集計①</li> <li>8 ワークシート間の集計②</li> <li>9 ワークシート間の集計③</li> <li>10 グラフの基本①</li> <li>11 グラフの基本②</li> <li>12 グラフの基本③</li> <li>13 目的に応じたグラフの作成と編集①</li> <li>14 目的に応じたグラフの作成と編集②</li> <li>15 目的に応じたグラフの作成と編集③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文書の作成と管理①</li> <li>2 文書の作成と管理②</li> <li>3 文書の作成と管理③</li> <li>4 データベース機能の利用①</li> <li>5 データベース機能の利用②</li> <li>6 データベース機能の利用③</li> <li>7 データの抽出①</li> <li>8 データの抽出②</li> <li>9 データの抽出③</li> <li>10 ピボットテーブル①</li> <li>11 ピボットテーブル②</li> <li>12 ピボットテーブル③</li> <li>13 マクロによる作業の自動化①</li> <li>14 マクロによる作業の自動化②</li> <li>15 マクロによる作業の自動化③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習 V	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	180時間(6単位)	
授業コマ数	90コマ(1コマ90分)	
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身に付けていく。	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る。	
達成目標	Word: MOS Word2016またはWord2016エキスパートの合格を目指す	
教科書	問題集	
特記		
	1 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1 練習モードの説明
	2 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1 練習モードの練習
	3 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1 練習モードの実践
	4 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1 練習モードの振り返り
	5 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1 本番モードの練習
	6 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1 本番モードのテスト
	7 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1 本番モードの振り返り
	8 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2 練習モードの説明
	9 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2 練習モードの練習
	10 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2 練習モードの実践
	11 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2 練習モードの振り返り
	12 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2 本番モードの練習
	13 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2 本番モードのテスト
	14 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2 本番モードの振り返り
	15 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3 練習モードの説明
	16 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3 練習モードの練習
	17 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3 練習モードの実践
	18 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3 練習モードの振り返り
	19 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3 本番モードの練習
	20 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3 本番モードのテスト
	21 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3 本番モードの振り返り
	22 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4 練習モードの説明
	23 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4 練習モードの練習
	24 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4 練習モードの実践
	25 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4 練習モードの振り返り
	26 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4 本番モードの練習
	27 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4 本番モードのテスト
	28 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4 本番モードの振り返り
	29 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5 練習モードの説明
	30 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5 練習モードの練習
	31 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5 練習モードの実践
	32 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5 練習モードの振り返り
	33 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5 本番モードの練習
	34 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5 本番モードのテスト
	35 MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5 本番モードの振り返り
	36 MOS模擬テストWord2016	実力判定テストの実施

授業計画

37	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	練習モードの実践
38	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	練習モードの振り返り
39	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	本番モードのテスト
40	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	本番モードの振り返り
41	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	練習モードの実践
42	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	練習モードの振り返り
43	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	本番モードのテスト
44	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	本番モードの振り返り
45	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	練習モードの実践
46	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	練習モードの振り返り
47	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	本番モードのテスト
48	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	本番モードの振り返り
49	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	練習モードの実践
50	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	練習モードの振り返り
51	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	本番モードのテスト
52	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	本番モードの振り返り
53	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	練習モードの実践
54	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	練習モードの振り返り
55	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	本番モードのテスト
56	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	本番モードの振り返り
57	MOS模擬テストWord2016	実力判定テストの実施	
58	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	練習モードの実践
59	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	本番モードのテスト
60	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	練習・本番モードの振り返り
61	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	練習モードの実践
62	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	本番モードのテスト
63	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	練習・本番モードの振り返り
64	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	練習モードの実践
65	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	本番モードのテスト
66	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	練習・本番モードの振り返り
67	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	練習モードの実践
68	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	本番モードのテスト
69	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	練習・本番モードの振り返り
70	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	練習モードの実践
71	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	本番モードのテスト
72	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	練習・本番モードの振り返り
73	MOS模擬テストWord2016	実力判定テストの実施	
74	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	本番モードのテスト
75	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	本番モードのテスト
76	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	本番モードのテスト
77	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	本番モードのテスト
78	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	本番モードのテスト
79	MOS模擬テストWord2016	実力判定テストの実施	
80	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	本番モードのテスト
81	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	本番モードのテスト
82	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	本番モードのテスト
83	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	本番モードのテスト
84	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	本番モードのテスト
85	MOS模擬テストWord2016	実力判定テストの実施	
86	演習・復習日		
87	演習・復習日		
88	演習・復習日		
89	演習・復習日		
90	演習・復習日		

成績評価方法  
(試験実施方法)

模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況

備考

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習VI	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	180時間(6単位)	
授業コマ数	90コマ(1コマ90分)	
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身につける	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	Excel : MOS Excel2016またはExcel2016エキスパートの合格を目指す	
教科書	問題集	
特記		
	1 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1 練習モードの説明
	2 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1 練習モードの練習
	3 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1 練習モードの実践
	4 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1 練習モードの振り返り
	5 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1 本番モードの練習
	6 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1 本番モードのテスト
	7 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1 本番モードの振り返り
	8 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2 練習モードの説明
	9 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2 練習モードの練習
	10 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2 練習モードの実践
	11 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2 練習モードの振り返り
	12 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2 本番モードの練習
	13 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2 本番モードのテスト
	14 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2 本番モードの振り返り
	15 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3 練習モードの説明
	16 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3 練習モードの練習
	17 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3 練習モードの実践
	18 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3 練習モードの振り返り
	19 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3 本番モードの練習
	20 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3 本番モードのテスト
	21 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3 本番モードの振り返り
	22 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4 練習モードの説明
	23 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4 練習モードの練習
	24 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4 練習モードの実践
	25 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4 練習モードの振り返り
	26 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4 本番モードの練習
	27 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4 本番モードのテスト
	28 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4 本番モードの振り返り
	29 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5 練習モードの説明
	30 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5 練習モードの練習
	31 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5 練習モードの実践
	32 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5 練習モードの振り返り
	33 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5 本番モードの練習
	34 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5 本番モードのテスト
	35 MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5 本番モードの振り返り
	36 MOS模擬テストExcel2016	実力判定テストの実施

授業計画

37	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	練習モードの実践
38	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	練習モードの振り返り
39	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	本番モードのテスト
40	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	本番モードの振り返り
41	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	練習モードの実践
42	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	練習モードの振り返り
43	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	本番モードのテスト
44	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	本番モードの振り返り
45	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3	練習モードの実践
46	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3	練習モードの振り返り
47	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3	本番モードのテスト
48	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3	本番モードの振り返り
49	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4	練習モードの実践
50	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4	練習モードの振り返り
51	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4	本番モードのテスト
52	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4	本番モードの振り返り
53	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5	練習モードの実践
54	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5	練習モードの振り返り
55	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5	本番モードのテスト
56	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5	本番モードの振り返り
57	MOS模擬テストExcel2016	実力判定テストの実施	
58	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	練習モードの実践
59	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	本番モードのテスト
60	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	練習・本番モードの振り返り
61	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	練習モードの実践
62	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	本番モードのテスト
63	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	練習・本番モードの振り返り
64	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3	練習モードの実践
65	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3	本番モードのテスト
66	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3	練習・本番モードの振り返り
67	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4	練習モードの実践
68	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4	本番モードのテスト
69	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4	練習・本番モードの振り返り
70	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5	練習モードの実践
71	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5	本番モードのテスト
72	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5	練習・本番モードの振り返り
73	MOS模擬テストExcel2016	実力判定テストの実施	
74	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	本番モードのテスト
75	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	本番モードのテスト
76	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3	本番モードのテスト
77	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4	本番モードのテスト
78	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5	本番モードのテスト
79	MOS模擬テストExcel2016	実力判定テストの実施	
80	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	本番モードのテスト
81	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	本番モードのテスト
82	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3	本番モードのテスト
83	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4	本番モードのテスト
84	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5	本番モードのテスト
85	MOS模擬テストExcel2016	実力判定テストの実施	
86	演習・復習日		
87	演習・復習日		
88	演習・復習日		
89	演習・復習日		
90	演習・復習日		

成績評価方法  
(試験実施方法)

模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況

備考

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅶ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	120時間(4単位)	
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)	
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身に着ける	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	PowerPoint : MOS PowerPoint2016またはPowerPoint2016エキスパートの合格を目指す	
教科書	問題集	
特記		
	1	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの説明
	2	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの練習
	3	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの実践
	4	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの振り返り
	5	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードの練習
	6	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードのテスト
	7	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードの振り返り
	8	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの説明
	9	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの練習
	10	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの実践
	11	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの振り返り
	12	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードの練習
	13	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードのテスト
	14	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードの振り返り
	15	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの説明
	16	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの練習
	17	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの実践
	18	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの振り返り
	19	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードの練習
	20	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードのテスト
	21	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードの振り返り
	22	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの説明
	23	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの練習
	24	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの実践
	25	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの振り返り
	26	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 本番モードの練習
	27	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 本番モードのテスト

授業計画

28	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト4	本番モードの振返り
29	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト5	練習モードの説明
30	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト5	練習モードの練習
31	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト5	練習モードの実践
32	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト5	練習モードの振返り
33	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト5	本番モードの練習
34	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト5	本番モードのテスト
35	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト5	本番モードの振返り
36	MOS模擬テストPowerPoint2016	実力判定テストの実施	
37	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト1	練習モードの実践
38	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト1	練習モードの振返り
39	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト1	本番モードのテスト
40	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト1	本番モードの振返り
41	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト2	練習モードの実践
42	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト2	練習モードの振返り
43	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト2	本番モードのテスト
44	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト2	本番モードの振返り
45	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト3	練習モードの実践
46	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト3	練習モードの振返り
47	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト3	本番モードのテスト
48	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト3	本番モードの振返り
49	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト4	練習モードの実践
50	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト4	練習モードの振返り
51	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト4	本番モードのテスト
52	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト4	本番モードの振返り
53	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト5	練習モードの実践
54	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト5	練習モードの振返り
55	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト5	本番モードのテスト
56	MOS模擬テストPowerPoint2016	模擬テスト5	本番モードの振返り
57	MOS模擬テストPowerPoint2016	実力判定テストの実施	
58	演習・復習日		
59	演習・復習日		
60	演習・復習日		

成績評価方法  
(試験実施方法)

模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況

備考

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Excel応用
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	MOS Excel試験に合格するために必要な操作に関する総合的な知識を身につけるための演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ワークシートやブックの作成と管理</li> <li>2 セルやセル範囲のデータの管理</li> <li>3 テーブルの作成</li> <li>4 テーブルの作成</li> <li>5 関数を使用してのデータ集計①</li> <li>6 関数を使用してのデータ集計②</li> <li>7 関数を使用しての条件付き計算①</li> <li>8 関数を使用しての条件付き計算②</li> <li>9 関数を使用しての条件付き計算③</li> <li>10 関数を使用した文字列の整形や変更①</li> <li>11 関数を使用した文字列の整形や変更②</li> <li>12 グラフの作成①</li> <li>13 グラフの作成②</li> <li>14 グラフの書式設定</li> <li>15 オブジェクトの挿入や書式設定</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Word基礎
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文章の作成①</li> <li>2 文章の作成②</li> <li>3 文章内の移動①</li> <li>4 文章内の移動②</li> <li>5 文章の書式設定①</li> <li>6 文章の書式設定②</li> <li>7 文章の書式設定③</li> <li>8 文章の書式設定④</li> <li>9 オプションの設定、表示のカスタマイズ①</li> <li>11 オプションの設定、表示のカスタマイズ②</li> <li>12 オプションの設定、表示のカスタマイズ③</li> <li>13 文章の印刷、保存①</li> <li>14 文章の印刷、保存②</li> <li>15 文章の印刷、保存③</li> <li>16 文章の印刷、保存④</li> <li>17 文字列・段落の挿入①</li> <li>18 文字列・段落の挿入②</li> <li>19 文字列・段落の挿入③</li> <li>20 文字列・段落の挿入④</li> <li>21 文字列・段落の書式設定①</li> <li>22 文字列・段落の書式設定②</li> <li>23 文字列・段落の書式設定③</li> <li>24 文字列・段落の書式設定④</li> <li>25 文字列・段落の書式設定⑤</li> <li>26 文字列・段落の並び替え、グループ化①</li> <li>27 文字列・段落の並び替え、グループ化②</li> <li>28 文字列・段落の並び替え、グループ化③</li> <li>29 文字列・段落の並び替え、グループ化④</li> <li>30 文字列・段落の並び替え、グループ化⑤</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Word応用
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 表の作成</li> <li>2 表の変更①</li> <li>3 表の変更②</li> <li>4 リストの作成、変更①</li> <li>5 リストの作成、変更②</li> <li>6 参照のための情報・記号の作成、管理①</li> <li>7 参照のための情報・記号の作成、管理②</li> <li>8 標準の参考資料作成、管理①</li> <li>9 標準の参考資料作成、管理②</li> <li>10 グラフィック要素の挿入①</li> <li>11 グラフィック要素の挿入②</li> <li>12 グラフィック要素の書式設定①</li> <li>13 グラフィック要素の書式設定②</li> <li>14 SmartArtの挿入、書式設定①</li> <li>15 SmartArtの挿入、書式設定②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Power Point基礎
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 プレゼンテーションの作成①</li> <li>2 プレゼンテーションの作成②</li> <li>3 スライドの挿入、書式設定①</li> <li>4 スライドの挿入、書式設定②</li> <li>5 配布資料、ノートの変更①</li> <li>6 配布資料、ノートの変更②</li> <li>7 配布資料、ノートの変更③</li> <li>8 スライドの並び替え、グループ化①</li> <li>9 スライドの並び替え、グループ化②</li> <li>10 スライドの並び替え、グループ化③</li> <li>11 オプションの変更①</li> <li>12 オプションの変更②</li> <li>13 オプションの変更③</li> <li>14 スライドショーの設定、実行①</li> <li>15 スライドショーの設定、実行②</li> <li>16 スライドショーの設定、実行③</li> <li>17 テキストの挿入、書式設定①</li> <li>18 テキストの挿入、書式設定②</li> <li>19 テキストの挿入、書式設定③</li> <li>20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定①</li> <li>21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定②</li> <li>22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③</li> <li>23 図の挿入、書式設定①</li> <li>24 図の挿入、書式設定②</li> <li>25 図の挿入、書式設定③</li> <li>26 図の挿入、書式設定④</li> <li>27 図形の並び替え、グループ化①</li> <li>28 図形の並び替え、グループ化②</li> <li>29 図形の並び替え、グループ化③</li> <li>30 図形の並び替え、グループ化④</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Power Point応用
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 表の挿入、設定</li> <li>2 グラフの挿入、書式設定①</li> <li>3 グラフの挿入、書式設定②</li> <li>4 SmartArtの挿入、書式設定①</li> <li>5 SmartArtの挿入、書式設定②</li> <li>6 メディアの挿入、管理①</li> <li>7 メディアの挿入、管理②</li> <li>8 画面切り替えの設定①</li> <li>9 画面切り替えの設定②</li> <li>10 アニメーションの設定①</li> <li>11 アニメーションの設定②</li> <li>12 複数のコンテンツの結合①</li> <li>13 複数のコンテンツの結合②</li> <li>14 プレゼンテーションの保護、共有①</li> <li>15 プレゼンテーションの保護、共有②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	働くとは
	2~3	業界研究
	4~5	企業研究
	6~9	志望動機の作り方
	10	書類送付方法
	11	ビジネス電話
	12	ビジネスメール
	13~15	内定後学習
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会人マナー 2 冠婚葬祭マナー 3 贈答マナー 4 会食マナー 5 時事研究 6 ～ グループ討議 14 15 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	